びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部

学生の確保の見通し等を記載した書類

学校法人　藍野大学

目　　次

びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部における学生確保の見通し等　目次

1. 学生の確保の見通し等を記載した書類

1）学生の確保の見通し

（1）入学定員の考え方と定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

① 滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における 18 歳人口・・・P2
の大学進学状況

② 滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における高等学校・・・ P2
及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

③ 社会人に対するニーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2

④ 滋賀県内の理学療法士・作業療法士養成施設・・・・・・・・・・・・・・・・・P4

（2）既設の大学・専門学校の定員未充足に関する原因分析等・・・・・・・・・・・ P4

2）定員充足の根拠となる客観的データの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P6

（1）入学意向調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

（2）高校生対象に行った調査・分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

（3）施設等職員を対象に行った調査・分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P11

3）学生納付金の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13

4）高校生と社会人を対象とした調査実施の目的や根拠となる学生の受け入れ
方針と学生募集方法，入学選抜方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13

（1）学生確保に向けた具体的な取組み（学生募集の方法）・・・・・・・・・・・ P13

（2）入学選抜方法の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P17

2. 人材需要の動向等社会の要請

1）社会的・地域的な人材需要の動向等

①大学の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P20

②滋賀県内の PT・OT 確保の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P20

③地域からの要望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P20

④地域における人材需要の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P21

びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部における学生確保の見通し等

１．学生の確保の見通し等を記載した書類

１）学生の確保の見通し

（１）入学定員の考え方と定員充足の見込み

びわこリハビリテーション専門職大学（以下「本学」という。）では，リハビリテーション学部の入学定員を理学療法学科 80 名，作業療法学科 40 名に設定した。

高齢化の進展に伴い，医療や介護を必要とする人が増加すること，また，地域社会ではこの状況に対応するために医療・介護提供体制の充実を実現していくにあたり，従事するリハビリテーション専門職の確保が課題となっていることを踏まえた上で，地元である滋賀県や近隣の都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における 18 歳人口の大学進学状況，理学療法士・作業療法士の養成を行う私立大学の志願者状況，さらには，第三者による大学第 1 期生の対象となる高等学校 2 年生と社会人を対象としたアンケート調査の結果を勘案し，入学定員の充足が十分に可能であると判断し，既述の入学定員を設定した。

また，日本全国の理学療法士・作業療法士を養成する私立大学の入学定員は図表 1 のとおりであり，他の大学と比較しても，妥当な入学定員であると考える。

次に，卒業後の就職という観点から，現行の滋賀医療技術専門学校の求人状況は，図表 2 のとおりである。平成 29 年度卒業生に対する求人数は減少したものの，それでも理学療法学科に対しては 527 施設・2,940 人，作業療法学科に対しては 555 施設・2,788 人と 1 学年の定員を大きく上回る求人があり，就職先は十分に確保できるものと判断される。また，病院・施設を対象とした採用意向のアンケート調査結果においても，就職先を確保できる結果となっている。

さらには，高齢化の進展に伴い，団塊の世代が 75 歳以上となる 2025（平成 37）年に向けて，各都道府県では地域包括ケアシステムの構築に取り組まれているなど，これに携わる理学療法士・作業療法士に対する需要もより高まることが予測される。

地元である滋賀県（以下「県内」という。）についても，2018（平成 30）年に作成した滋賀県保健医療計画において，地域包括ケアシステムをはじめとする医療・介護提供体制の充実を実現していくにあたり必要となるリハビリテーション専門職は，2025（平成 37）年には 3,000 人の確保を目標としており，人材確保が課題となっている。（図表 3）

本学が，理学療法士・作業療法士を養成する学科を設置することは，以上のような地域が抱える課題に対し貢献できるものであると考える。

また，県内の 18 歳人口の大学進学率が 50%を超える中で，県内には理学療法士・作業療法士を養成する大学が皆無であり，志望者は他府県の大学に進学せざるを得ない状況である。このことから，県内に理学療法士・作業療法士を養成する学科を設置することは県内の 18 歳人口の進学に貢献できるものと考える。

① 滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における 18 歳人口の大学進学状況

滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における 18 歳人口の進学に関する状況は，文部科学省の学校基本調査よると，図表 4 のとおりである。

大学等進学者の割合は，55%以上であり，大学等への進学意欲は高いものである。

② 滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における高等学校及び中学校の在籍者数による中長期的な見通し

平成 29 年度の学校基本調査によると，本学の開設年度に受験対象となる滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における高等学校に在籍している 1 年生の生徒は,合計で 135,136 人、開設 2 年目に受験対象となる中学 3 年生は 136,618 人となっている。

また，開設 3 年目に受験対象となる中学 2 年生は 133,231 人，完成年度に受験対象となる中学 1 年生は 130,133 人となっている。（図表 5）

現在，高等学校への進学率は 97%を超えており，今後，滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）の大学受験対象者が大きく減少することはなく，中長期的な確保の見通しがあるものと思われる。

③ 社会人に対するニーズ

a）社会人の学び直しに対する意識

社会人の学び直しに対する意識はどのようなものか，内閣府大臣官房政府広報室が実施した世論調査報告書（平成 27 年 12 月調査）によると，まず，「学び直したい学習の内容」であるが，「医療・福祉」は，「外国語に関すること」に次いで，2 番目（27.0%）に関心が高い。（資料 1．P1，P3，P4）

次に,「学び直しの実施状況」について,「学んだことがある（現在学んでいる）」という者が 19.1%で，「学んだことはないが，今後は学んでみたい」という者が 30.3%である。両方合わせると 49.4%になり，調査対象者数の約半分が学び直しに対する関心を持っており，意識が高いことがわかる。（資料 1．P1，P5，P6）

また，「学び直したいと考えた理由」であるが，学校を出て一度社会人になった後に，学校において「学んだことがある（現在学んでいる）」，「学んだことはないが，今後は学んでみたい」と答えた者（817 人）が考える理由の上位は，「教養を深めるため」（51.8%），「今後の人生を有意義にするため」（48.8%），「就職や転職のために必要性を感じたため」（28.4%）「現在または学んだ当時に就いていた職業において必要性を感じたため」（25.1%），「他の人との親睦を深めたり，友人を得たりするため」（21.2%）となっている。

特に，「就職や転職のために必要性を感じたため」とあることについては，社会人が知識や技術を構築する場を求めていることが推察できる。（資料 1. P1，P7，P8）

b）医療専門職の年収等に関する考察と福祉施設介護員・ホームヘルパーからのスキルアップ

理学療法士・作業療法士の平均年収を厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の結果を基に作成するとともに，関連する他の職種と比較してみた。（図表 6）

理学療法士・作業療法士の平成 29 年における平均年収は，405 万円である。看護師は夜勤もあるため，当然のことながら高収入となる。（平成 29 年 平均年収 478 万円）

その点，理学療法士・作業療法士は，看護師より年収は下回るが，勤務時間の制約は軽減されるため，家庭との時間や個人の能力開発などの時間を持てることから考えると，医療専門職の内でも選択しやすい職種と言える。

次に介護関連職種と比較してみると，福祉施設介護員・ホームヘルパーとは年収に約 70 万円の大きな格差がある。また，福祉施設介護員がスキルアップを目指す資格の一つとして介護支援専門員（ケアマネージャー）がある。しかし，その資格を取得したとしても，23 万円の格差がある。

このことから，福祉施設介護員としての知識・技術を活かしながら，さらなるスキルアップ及びより安定した生活を目指すならば，理学療法士・作業療法士の資格取得は有効であると判断され，ニーズはあるものと考える。

また，社会人が学び直しに取り組む上で，懸念されることは学費の負担であるが，独立行政法人日本学生支援機構や都道府県の奨学金制度や政府の社会人の学び直しに対する助成の PR，並びに大学独自の奨学金制度を拡充することにより，社会人の学び直しに対する機運を高めていきたいと考える。

加えて，地域包括ケアシステム構築に向けて，リハビリテーション人材の需要は高まることが想定されるが，学生は，高齢者施設よりも病院への就職を希望する傾向がある。その背景としては，対象者の年齢が若ければ回復力も高く，年配者よりも早く治療効果を実感できることにある。また、それがセラピストとしての自信に繋がる。

そのため，結果として，高齢者施設へのリハビリテーション人材の供給は不足していることが考えられる。

このような状況において，高齢者施設の理解・協力の下，高齢者施設が雇用する福祉施設介護員・ホームヘルパーをスキルアップさせ，リハビリテーション人材を確保していくという流れを創り出し，高齢者施設のリハビリテーション人材供給に繋げていく。

P11 (3) で述べるように受験意向調査 (資料 2－2) については，「受験したい」と回答した人は 230 人（37%）で，この 230 人のみを抽出して，入学意向を示した人数をみると，全体で 207 人（90%）が，受験して合格したら入学したいと回答している。さらに詳細にみていくと，「理学療法学科に入学したい」と回答した人は 139 人，現在の職種別では，介護福祉士 29 人，ケアマネージャー10 人、作業療法士 8 人，看護師 8 人の順で多かった。「作業療法学科に入学したい」と回答した人は 69 人，現在の職業別では，介護福祉士 15 人，教員 13 人，医療事務 5 人，理学療法士 2 人の順で多かった。この結果の分析から，理学療法学科と

作業療法学科に共通していたのは，介護福祉士が最も多かったこと，すでに何らかの資格を取得している人が多く，ダブルライセンスを目指している人が多かったことである。

④　滋賀県内の理学療法士・作業療法士養成施設

滋賀県内の理学療法士・作業療法士養成施設は，本学の設置母体である学校法人藍野大学が設置している滋賀医療技術専門学校のみである。

しかし，滋賀医療技術専門学校については，平成 31 年度生の募集を停止していることから，滋賀県内における理学療法士・作業療法士養成施設は皆無である。

（2）既設の大学・専門学校の定員未充足に関する原因分析等

基本計画書の「既設大学等の状況」欄に記載のとおり，藍野大学および藍野大学短期大学部は定員を充足しているが，滋賀医療技術専門学校については，理学療法学科が 0.71 倍，同校作業療法学科が 0.74 倍となり，入学定員を下回る状況である。このことに伴い，次のとおり原因の分析，学生確保の見通し等について述べる。

①定員未充足の原因分析

○滋賀医療技術専門学校

過去 2 年（平成 31 年度は学生募集停止）の滋賀医療技術専門学校理学療法学科・作業療法学科における入学定員充足状況は，次のとおりである。

・理学療法学科（入学定員：80 人）

年　度	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
平成 29 年度	81	80	64	61	0.76
平成 30 年度	86	85	59	54	0.67
				平　均	0.71

・作業療法学科（入学定員：40 人）

年　度	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員充足率
平成 29 年度	35	34	34	33	0.82
平成 30 年度	32	30	29	27	0.67
				平　均	0.74

滋賀医療技術専門学校の理学療法学科（入学定員 40 人）・作業療法学科（入学定員 40 人）は，1996（平成 8）年に設置されたが，当時は同分野の大学もなく，入学定員も充足されていた。

その後，諸般の事情により，2009（平成 21）年 4 月より，3 年制の理学療法学科（入学定員 40 人）・作業療法学科（入学定員 40 人）で養成事業を行うこととなった。

それ以降の学生確保の状況について述べると，理学療法学科は入学定員を充足することができていた。しかし，作業療法学科については，全国的な傾向である

が，作業がどのように治療に結びつくのかなど職種内容がわかりにくい等の理由により，定員未充足の状況が続くこととなった。

それに伴い，理学療法学科において，作業療法学科の定員未充足分の収入を補うことを念頭に，2012（平成 24）年 4 月より理学療法学科の入学定員を 80 人（1 クラス 40 人の定義による）に変更した。

理学療法学科については，際どい状況ではあるが，入学定員を充足するだけの志願者数はいる。しかし，近年においては，入学試験の成績が一定の基準から大きく離れている受験者が多くなってきており，合格者を増やすことも困難になり，80 人の入学定員充足には至っていない。

滋賀医療技術専門学校の学生募集において，このような状況が起きている背景としては，大学進学率の向上と 2002（平成 14）年度以降の相次ぐ同分野の大学・学部の設置（私立大学：京都府 2 校・大阪府 11 校・岐阜県 1 校・三重県 1 校）がある。

18 歳人口の進学については，滋賀県及び近隣の都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における大学等への進学率と専修学校専門課程への進学率を比較すると，図表 4 のとおりで，専修学校専門課程よりも大学等への進学が望まれていることがわかる。滋賀医療技術専門学校を受験し合格しても，実際には入学しなかった受験生が毎年数名～10 名程度存在する。これまでに直接事情を聞くことが可能だった辞退者にヒアリングしたところ，「佛教大学または京都橘大学にも合格したので『大学』に行きたい，しかも京都の大学は自宅通学できるので」という辞退理由であった。これらのことから，本学が設置されれば，現役高校生の入学希望者は，滋賀医療技術専門学校の時よりも増加すると見通しを立てている。大学進学率の向上と結びつくものではないが，「日本は学歴社会である」と考える人々がまだいることも事実であり，大学・短大を上位に、専門学校を下位にみる序列意識が根強く存在していると思われる。

さらに，滋賀医療技術専門学校を含めて，既述の大学が理学療法士・作業療法士の資格を取得できる学校であることは，第三者も理解できるが，それぞれの学校の特色や違いは明確ではない。

そのため，志願者においては，偏差値や大学の規模等（大学全体の定員規模や学部・学科数，大学所在地周辺の賑わい等）を指標にした大学選びが行われているものと推測する。

このような状況において，学生確保がままならない学校は，教育内容の工夫やアメニティーの充実，情報発信に一層の努力や工夫が求められるが，滋賀医療技術専門学校については，それを行う力量が不足していたことが定員未充足の原因と考える。

②今後の在り方

専門職大学への移行を目的に，2019（平成 31）年度生からの学生募集を停止している。

2）定員充足の根拠となる客観的データの概要

（1）入学意向調査の概要

「藍野専門職大学」（仮称）設置に関するニーズ調査　結果報告書（資料 1－1　高校生対象調査　施設等職員対象調査）は，「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」に対する進学需要を確認するために，2018 年 7 月 2 日から 2018 年 9 月 7 日の期間にアンケート調査を実施した。

公正性を担保するために第 3 者機関に調査を依頼した。同様の調査実績のある「進研アド」を選んだ。

入学意向調査で高校生 2 年生を対象にした理由は，AO 入試，推薦入試，一般入試を受験する生徒を想定したからである。一方，施設における多職種を対象としたのは，社会人推薦入試を想定したからである。本学が想定した社会人推薦入試の対象者とは，以下に示すとおりである。

本学が入学を想定する社会人

①キャリアアップ及びスキルアップを目的としたリハビリテーションと関連の深い周辺領域の職種
介護福祉士，介護支援専門員，社会福祉士，特別支援学校教員，アスレティックトレーナー，福祉施設職員、医療事務職員等

②資格の多重取得を目的とした看護師，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士等の医療職

③キャリアチェンジを目的とした全く異なる職種からの転職者

この中の①と②に属する者は，本学が社会人入学者として想定した主な職種であり，その多くが医療・介護・福祉関係の施設，特別支援学校等で働いているため，これらを総称して「施設等職員」と表現した。また，③については，あらゆる職種が考えられ，且つ，ごく少数であるため，調査は困難と判断した。そのような経緯から，社会人を対象とした調査結果報告書のタイトルが「施設等職員に対する入学意向調査」となった。

なお、調査終了後の 2019 年 3 月の補正申請で大学名及び学部名を変更したため，本学の大学名での調査ではなくなるが，調査時に対象者に配布したリーフレットには，藍野専門職大学（仮称、設置構想中），また，学部名についても同様に「臨床リハビリテーション学部」（仮称、設置構想中）と記していることから，大学名や学部名から想起される内容や職業へのイメージへの影響は少ないと考えている。

（2）高校生対象に行った調査・分析

①アンケート調査に関する一般的事項

調査は、本学が学生確保における主要なエリア（近畿地方と中部地方・北陸地方の一部）に所在する高校の進路指導課に対し依頼し，承諾が得られた 54 校に送付し，高校留置き調査を行った。

回収状況

依頼校数 54 校，9,490 人に対し，回収数が 3,817 人（回収率 40.2%）であった。

性別は，男性 47.2%、女性 52.2%であった。

高校卒業後の希望進路

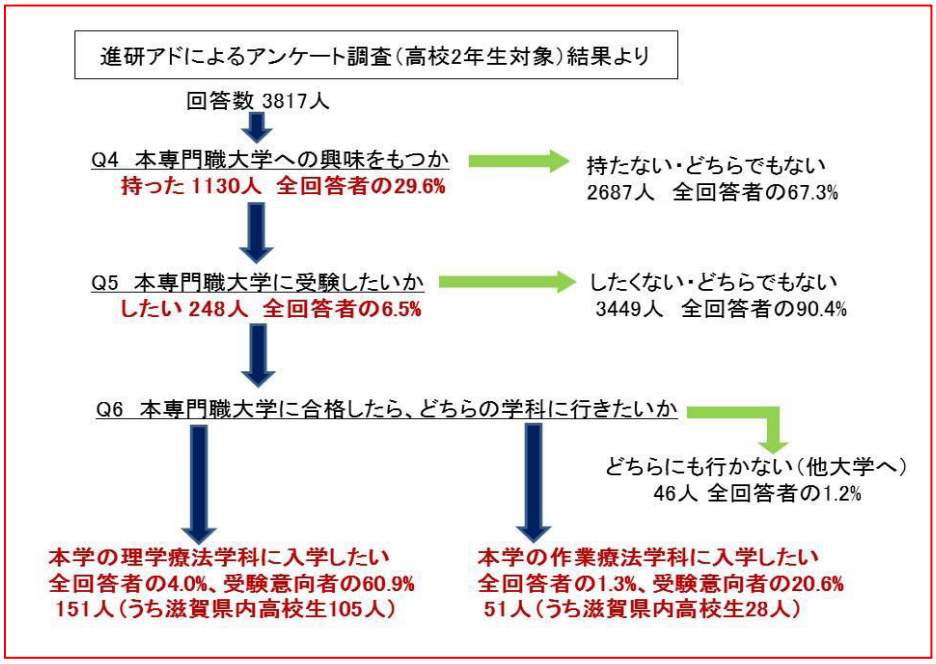
高校卒業後の希望進路では，複数回答の質問形式で，就職（22.8%），その他（2.4%），無回答（0.8%）となり，これらを合計すると 26.0%，つまりそれ以外の 74.0%は，進学希望を示していると考えられる。進学先の希望は，国公立大学 32.6%，私立大学 36%，専門職大学 6.0%，短期大学 11.7%，専修学校・専門学校 31.8%であった。

興味のある学問系統

興味のある学問系統について「看護学」の 13%にならび，医療技術・リハビリテーション学」は 12.5%，「スポーツ・体育・健康科学」12.1%と上位の比率をしめしていて，高校生にとって関心が高いと言える。

②調査結果から本学への受験意向・入学意向を分析

調査結果から本学への受験意向・入学意向に関する結果は下図のとおりである。



まず，興味度に関する質問に対して，設置構想中の本専門職大学に「興味をもった」と答えた人は 29.6%，次に「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）への受験意向に関する質問に対して，「受験したいと思う」と回答した人は 248 人（6.5%）であった。この 248 人のみを抽出して，本専門職大学に合格した場合の入学意向を聞いたところ，「臨床リハビリテーション学部理学療法学科に入学したい」151 人（60.9%、全回答者の 4.0%）で，「臨床リハビリテーション学部作業療法学科に入学したい」51 名（20.6%、全回答者の 1.3%）であった。入学希望しない（すなわち、他大学に行く）と答えた生徒は 46 名であった。本学の理学療法学科 80 人，作業療法学科 40 人の定員に対し，入学定員以上（理学療法学科 1.89 倍，作業療法学科 1.28 倍）の実数を得ることができた。

本学近隣の滋賀県・湖北・湖東・湖南・甲賀地区における高校生と中学生（本学設置 5 年後まで）の人口推移に関する表を以下に示す。18 歳人口が数年先まで維持されていることが分かる。上記の調査結果で得られた比率をもとに計算すると，この地域から理学療法でおよそ 500 人，作業療法で 160 人が，本学受験を希望し，更に入学意向を表明していることになる。なお、これらの地域の中で、特に東近江市に南接する滋賀県湖南地域は、全国的に稀な，18 歳人口増加地域である。

計算式：入学意向者予測値＝（対象地域の高校 2 年生人口）×（本学への受験意向・入学意向者比率）

理学療法学科　　12,464 人×4.0%＝498.6 人

作業療法学科　　12,464 人×1.3%＝162.0 人

滋賀県湖北・湖東・湖南地域の高等学校・中学校生徒数（開設5年目までを想定）

平成30年5月1日現在

単位：人

高等学校

区分	学校数		全日制												専攻科	別科
			本科													
	計	全日制	計			1学年			2学年			3学年				
			計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		
大津市	13	10	9,725	4,947	4,778	3,278	1,667	1,611	3,278	1,676	1,602	3,169	1,604	1,565	－	－
彦根市	6	5	4,797	2,832	1,965	1,617	957	660	1,584	932	652	1,596	943	653	－	－
長浜市	5	4	3,058	1,475	1,583	992	471	521	1,058	514	544	1,008	490	518	－	－
近江八幡市	4	4	3,461	1,832	1,629	1,184	634	550	1,187	631	556	1,090	567	523	－	－
草津市	6	5	4,674	2,400	2,274	1,621	817	804	1,564	835	729	1,489	748	741	－	－
守山市	3	3	2,292	1,159	1,133	804	394	410	767	407	360	721	358	363	－	－
栗東市	2	2	1,414	618	796	486	216	270	459	186	273	469	216	253	－	－
甲賀市	4	4	1,942	1,043	899	676	355	321	633	345	288	633	343	290	－	－
野洲市	1	1	437	238	199	160	93	67	139	74	65	138	71	67	－	－
湖南市	2	2	1,113	507	606	361	157	204	381	157	224	371	193	178	－	－
東近江市	4	3	2,264	1,148	1,116	791	399	392	738	389	349	735	360	375	－	－
米原市	2	2	1,186	667	519	391	214	177	401	198	203	394	255	139	－	－
日野町	1	1	470	228	242	160	87	73	158	71	87	152	70	82	－	－
竜王町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
愛荘町	1	1	345	138	207	121	54	67	117	46	71	107	38	69	－	－
豊郷町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
甲良町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
多賀町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	54	47	37,178	19,232	17,946	12,642	6,515	6,127	12,464	6,461	6,003	12,072	6,256	5,816	－	－
						専門職大学開設2年目対象			専門職大学開設年度対象							

出所:「平成30年度 学校基本調査(滋賀県/第26表　高等学校　学校数、学級数および学年別生徒数)」より、抽出し作成

平成30年5月1日現在

中学校

単位：人

区　分	学校数			生徒数											
				計			1学年			2学年			3学年		
	計	本校	分校	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
大津市	18	18	－	8,771	4,467	4,304	2,810	1,440	1,370	2,901	1,450	1,451	3,060	1,577	1,483
彦根市	7	7	－	3,055	1,575	1,480	994	513	481	1,000	518	482	1,061	544	517
長浜市	12	12	－	3,348	1,720	1,628	1,090	562	528	1,158	592	566	1,100	566	534
近江八幡市	4	4	－	2,061	1,020	1,041	700	361	339	656	322	334	705	337	368
草津市	6	6	－	3,363	1,752	1,611	1,098	564	534	1,152	597	555	1,113	591	522
守山市	4	4	－	2,685	1,378	1,307	865	443	422	900	453	447	920	482	438
栗東市	3	3	－	2,112	1,132	980	688	402	286	721	364	357	703	366	337
甲賀市	6	6	－	2,475	1,300	1,175	799	422	377	806	420	386	870	458	412
野洲市	3	3	－	1,377	750	627	441	246	195	502	265	237	434	239	195
湖南市	4	4	－	1,450	763	687	459	223	236	487	256	231	504	284	220
東近江市	9	9	－	3,154	1,610	1,544	1,021	521	500	1,079	556	523	1,054	533	521
米原市	7	7	－	1,057	552	505	349	181	168	342	182	160	366	189	177
日野町	1	1	－	548	265	283	178	82	96	187	90	97	183	93	90
竜王町	1	1	－	320	184	136	119	70	49	78	42	36	123	72	51
愛荘町	2	2	－	644	322	322	222	117	105	217	106	111	205	99	106
豊郷町	1	1	－	215	98	117	72	37	35	74	28	46	69	33	36
甲良町	1	1	－	179	89	90	45	24	21	64	26	38	70	39	31
多賀町	1	1	－	200	110	90	74	40	34	55	35	20	71	35	36
	90	90	－	37,014	19,087	17,927	12,024	6,248	5,776	12,379	6,302	6,077	12,611	6,537	6,074
							専門職大学 開設5年目対象			専門職大学 開設4年目対象			専門職大学 開設3年目対象		

出所：「平成30年度 学校基本調査（滋賀県/第17表　中学校　学校数、学級数および学年別生徒数）」より、抽出し作成

③ 学生確保の見通しを裏付ける他の判断材料

滋賀医療技術専門学校の実績

滋賀医療技術専門学校の実績から考えると，ここ 3 年間の平均で，理学療法学科の志願者数が 87 名であり，単純にみると本専門職大学の入学定員を充足する。滋賀医療技術専門学校では，成績不良者を避けるために入学許可を 7 割程度に絞っているが，「理学療法士になりたいが、専門学校だからという理由から進学先として検討にならない場合も多いため，大学になればもっと成績の良い受験者数が増える」と予想する高校進路指導者も多い。また、滋賀医療技術専門学校を受験し合格しても，実際には入学しなかった受験生が毎年数名～10 名程度存在する。これまでに直接事情を聞くことが可能だった辞退者にヒアリングしたところ，「佛教大学または京都橘大学にも合格したので『大学』に行きたい，しかも京都の大学は自宅通学できるので」という辞退理由であった。これらのことから，本学が設置されれば，現役高校生の入学希望者は、滋賀医療技術専門学校の時よりも増加すると見通しを立てている。

通学手段に関する地域事情

地域の特性として，世帯当たりの車保有台数の多いこと，高校卒業時に免許取得する人が多いことから，駅まで自家用車・バイクで行き，そこから JR などで長時間通学する学生も多い。

前身の滋賀医療技術専門学校では，約 35%の生徒が自家用車にて通学している状況である。友人同士で乗り合うケースや 2 輪バイクで通学する生徒も考慮すると，約半

数の生徒が公共交通機関以外の方法で通学していることになる。実際に，学校まで最寄りの JR 能登川駅から通学バスで約 30 分かかるため，車やバイクを利用することで学校まで最短距離で移動でき，通学にかかる時間を大幅に短縮できる。本学は、学生の通学に係る負担を減らすために自動車通学ができるように学生が利用できる駐車場を用意している。

競合大学との関係

京都・大阪北部・三重県隣接地域の 11 大学リハビリテーション系学部における志願者倍率は，各大学のホームページによると，理学療法学科の倍率 2.9～19.8%、作業療法学科の倍率 1.4～19.9%となっており，競合大学同学科の入学定員は充足していることから，4 年制大学への進学需要は，供給を超えていることが分かる。さらに，競合する可能性のある在京都の大学に比べ，本学の学費は 4 年間合計で 520 万円であり，競合大学と比較して 97 万円以上安価であり，進学先を選択する際には，経済的負担が少ないという点は優位に働くと考える。

競合の志願者倍率

理学療法学科

大学名	所在地	入学定員	2016 年		2017 年		2018 年	
			志望者数	志願倍率	志望者数	志願倍率	志望者数	志願倍率
佛教大学	京都市中京区	40	1,153	28.8	952	23.8	616	15.4
京都橘大学	京都市山科区	66	986	14.9	1,154	17.5	1,307	19.8
藍野大学	大阪府茨木市	80	469	5.9	263	3.3	230	2.9
大和大学	大阪府吹田市	40	645	16.1	689	17.2	724	18.1
大阪人間科学大学	大阪府摂津市	60	374	6.2	307	5.1	242	4.0
大阪保健医療大学	大阪市北区	70	306	4.4	195	2.8	217	3.1
森ノ宮医療大学	大阪市住之江区	60	792	13.2	722	12.0	712	11.9
大阪電気通信大学	大阪府四条畷市	40	99	2.5	71	1.8	116	2.9
中部学院大学	岐阜県関市	60	191	3.2	134	2.2	276	4.6
鈴鹿医療科学大学	三重県鈴鹿市	40	251	6.3	264	6.6	276	6.9

作業療法学科

大学名	所在地	入学定員	2016 年		2017 年		2018 年	
			志望者数	志願倍率	志望者数	志願倍率	志望者数	志願倍率
佛教大学	京都市中京区	40	490	12.3	423	10.6	429	10.7
京都橘大学	京都市山科区	40	—	—	—	—	796	19.9
藍野大学	大阪府茨木市	40	161	4.0	97	2.4	75	1.9
大和大学	大阪府吹田市	40	417	10.4	448	11.2	489	12.2
大阪保健医療大学	大阪市北区	30	89	3.0	75	2.5	41	1.4
森ノ宮医療大学	大阪市住之江区	40	244	6.1	381	9.5	305	7.6

○学費の状況

びわこリハビリテーション専門職大学（本学）

リハビリテーション学部理学療法学科・作業療法学科　　単位：千円

区分	入学金	授業料（年額）	実験実習費	施設設備費	合　計
初年度	400	900	100	200	1,600
2 年次以降	－	900	100	200	1,200
				4 年間の合計	5,200

類似の大学の学費（出所：各大学のホームページより抽出）

単位：千円

大学名	区分	入学金	授業料（年額）	施設設備費など	合　計	本学との差異
佛教大学	初年度	170	1,380	400	1,950	＋350
	2 年次以降	－	1,380	400	1,780	＋580
				4 年間の合計	7,290	+2,090
京都橘大学	初年度	250	1,200	280	1,730	＋130
	2 年次以降	－	1,200	280	1,480	＋280
				4 年間の合計	6,170	+970
大和大学	初年度	180	1,150	400	1,730	＋130
	2 年次以降	－	1,150	400	1,550	＋350
				4 年間の合計	6,380	+1,180
森ノ宮医療大学	初年度	250	1,200	280	1,730	＋130
	2 年次以降	－	1,200	280	1,480	＋280
				4 年間の合計	6,170	+970

（3）施設等職員を対象に行った調査・分析

調査は、滋賀県を中心とした近畿エリアの施設等に依頼し，承諾が得られた 47 施設へ調査票を送付し，郵送にて回収した。依頼数は 47 施設 959 人に対して、回収数 622 人（回収率 64.9%）であった。

①調査の一般的事項・対象者属性

勤務地は、滋賀県（87.5%）が約 9 割を占め，次いで京都府（9.6%）となり，本学への通学が可能な範囲に所在する施設が大半であった。対象者の性別は，男性 33.1%，女性 65.9%で，回答者の年齢は，20 代（25.9%），30 代（30.5%），40 代（22.7%），50 代（16.6%）となり，20 代から 50 代の両性の意向を反映している。なお，回答者の最終学歴は，四年制大学 29.9%，次いで高等学校 22.5%，専門学校 22.0%の順で多かった。

②「学び直しへの関心」及び「本専門職大学への魅力度」について

資格取得や専門知識・スキルアップのために大学や専門学校に入学し，「学び直し」することに関心があるかという質問に対し，「関心がある」と回答した人は 59.2%であった。前述した本学が想定する社会人入学者を対象は，予想通り「学び直しへの関心」がある結果となった。

「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の特色に対する魅力度について，A~E すべての項目について，「とても魅力を感じる」、「ある程度魅力を感じる」と回答した人が 8 割

を超えている。対象者が、本学の領域に関心の高い人であるため，魅力度は高くなると予測していたが，想定を上回る高い結果であり，本学の特色に加え，社会人においても専門職大学という新しい制度への期待は大きく，結果を押し上げるほうへ影響したと考えた。

③調査結果での本学への受験意向・入学意向

受験意向については，「受験したい」と回答した人は 230 人（37%）であった。

この 230 人のみを抽出して，入学意向を示した人数をみると，全体で 207 人（90%）が，受験して合格したら入学したいと回答している。さらに詳細にみていくと，「理学療法学科に入学したい」と回答した人は 139 人（60.4%）、現在の職種別では，介護福祉士 29 人，介護支援専門員 10 人，作業療法士 8 人，看護師 8 人の順で多かった。「作業療法学科に入学したい」と回答した人は 69 人（30.0%），現在の職業別では，介護福祉士 15 人，教員 13 人，医療事務職員 5 人，理学療法士 2 人の順で多かった。

この結果から，理学療法学科と作業療法学科に共通していたのは，介護福祉士が最も多かったこと，すでに何らかの資格を取得している人が多く，多重資格取得を目指している人が多かったことである。違いは，理学療法学科では看護師と介護支援専門員が多いこと，作業療法学科は教員（特別支援学校），医療事務職員が多いことであった。

本調査では，「受験したい」と回答した人 230 人（理学療法学科 139 人，作業療法学科 69 人）であったが，対象者の年齢は 20 代から 50 代であり，学び直しの時期やタイミングは，就学するための条件が整わないと難しいと思われ，受験のタイミングには幅があると捉えるほうが妥当と考え，下方修正する必要があるが，「学び直したい」というニーズが高いこと，受験までこぎつければ，合格したら入学する意欲が高い集団が存在し，長期にわたり一定数の入学者は確保できると想定している。

④調査を裏付ける他の判断材料

前身の滋賀医療技術専門学校の直近 3 年間の社会人入試・学士入試の状況は下表の通りである。社会人（社会人の経験を持つ者＋大卒の者）の受験者数（社会人入試と学士入試受験者数の合計）の平均は，19.7 人（PT11.3 人、OT8.3 人）で，合格者すれば全員必ず入学している。

滋賀医療技術専門学校　社会人入試・学士入試状況

	理学療法学科			作業療法学科		
	受験者	合格者	入学者	受験者	合格者	入学者
2018 年	8	4	4	5	3	3
2017 年	11	8	8	9	9	9
2016 年	15	6	6	11	11	11

これらの結果をもとに，本学が社会人枠として想定した理学療法学科 8 名程度，作業療法学科 4 名程度の入学者の確保の見通しは立っているものと考える。

3）学生納付金の考え方

学生納付金の設定については，収入全体において，学生納付金が占める割合は約80%と考えられることから，金額の設定を重視し，支出として多くなる人件費及び教育研究経費を十分に賄い，収支均衡を図ることを第一義とした。

次に，想定される競合大学の学生納付金と比較した。（P11 参照）

4 年間でかかる学生納付金の平均総額は 6,619,091 円で，本学においては，平均総額より低く設定し，5,200,000 円（入学金 400,000 円・授業料 900,000 円・実験実習費 100,000 円・施設設備費 200,000 円【年額】）とした。それにより，保護者や社会人入学者の経済的軽減を図ることができ，より多くの志願者を確保するとともに，入学定員を充足できるものと考えている。

4）高校生と社会人を対象とした調査実施の目的や根拠となる学生の受け入れ方針と学生募集方法，入学選抜方法について

今回，学生確保の見込みについて，計量的な数値から確認することを目的として，第三者の調査機関に依頼し，滋賀県及び京都府，和歌山県，福井県，岐阜県，三重県に所在する高等学校の 2 年生（54 校・9,490 人）並びに滋賀県及び京都府，兵庫県に所在する施設等職員（47 施設・959 枚）に対する入学意向調査を実施したが，高校生と社会人（施設等職員）を対象とした調査実施の目的や根拠となる本学の学生の受け入れ方針と学生募集方法、入学選抜方法の関係性・適切性について述べる。

18 歳人口の急激な減少に加え，長く続いた経済不況及び国民の多くが景気のよさを実感できていない昨今の経済状況に起因する「私大離れ現象」「地元志向の高まり」等，私立大学を取り巻く環境は一段と厳しさを増し，「大学全入時代」に突入している。こうした社会環境のもとで，大学が自らの社会的使命をより高度に達成していくためには，何よりもまず高等教育機関としての内実の強化・充実が前提となるが，同時に豊かな可能性を持った優秀な学生を迎え入れることが重要であり，そのためには，自らの個性と魅力を積極的にアピールする広報活動の充実と，公正で合理的な入学者選抜制度の確立が不可欠となっている。このような認識の下，本学では，個性に応じた多様な選抜制度を計画している。

（1）学生確保に向けた具体的な取組み（学生募集の方法）

学部・学科で行う教育目標等と教育内容・方法，教育研究環境等に係る情報について，とりわけ受験生に正確に把握してもらうこと，さらに，アドミッション・ポリシー並びに入学選抜方法等に係る入試情報について，学部・学科と受験生の双方にとって必要かつ的確な情報を提供することにより，本学を第一志望とする受験生を増やすべく，以下のような学生募集活動を展開する。また，受験生・入学生が本学における教育研究活動に対して興味・関心を示している内容と，各学科が用意しているカリキュラム及び教育研究内容との間に齟齬が生じないよう，高校訪問や施設訪問，学外ガイダンス等の機会

において，具体的な教育内容，研究等について丁寧に説明していく。

学生確保に向けた取り組み（学生募集の方法）としては，学生募集に関するパンフレット等の配布をはじめ，自校のホームページやオープンキャンパスの充実，広報誌媒体（電子媒体を含む）への掲出などの多くのメディアを使用した広報活動を行う。

また，志願者（高校生・社会人）確保の窓口となりうる高等学校や施設に対し，継続的な訪問を実施し，情報提供を行うとともに，継続的な志願者の紹介に繋がるように関係構築に努める。

具体的な取り組みについては、次のとおり実施していく。

①パンフレット・ポスター

本学の学部・学科の特長が理解できるパンフレットを作成し，高等学校や施設の訪問，進学ガイダンス等で配付する。紙媒体は，志願者・高等学校教員・保護者に対し対面で説明する際にも，本学の情報をよく見てもらうことができ，さらに保存性も高いため，効果的に活用することができるツールである。

また，人の視覚にダイレクトに訴え、印象を残すためにポスターを作成する。ポスターは，高等学校や施設に配付し，本学の存在，学科の内容及び特長を簡単にわかりやすく伝わるつくりにする。

②ホームページ・ソーシャルメディア

近年の情報入手の手段は，インターネットを介する者が多いことは言うまでもないが，インターネットにつなぐ情報通信機器の保有状況として，スマートフォンの保有状況が 2010（平成 22）年以降，爆発的に普及している。総務省の「通信利用動向調査」によると，2016（平成 28）年にはスマートフォンの保有率（世帯数）は 71.8%となっている。（図表 7）また，個人の保有率について述べると，20 代・30 代が 90%を超え，13 歳～19 歳までの保有率は 80%を超えている。（図表 8）

このように，スマートフォンというインターネット利用端末が低年齢層まで普及している状況ことからも，インターネットを介した情報入手が更に促進されることは明らかである。

以上のことから，ホームページは，高校生や社会人に対し，本学の学部・学科の魅力や最新情報を伝えていくための最も有効な手段と言える。ホームページにおいては，学部・学科の特長，オープンキャンパス，入学選抜の内容は勿論のこと，就学に関することや就職・国家試験の状況に関することなど，本学での四年間の学生生活を深く理解してもらえるよう高校生や社会人が必要とする内容を構築する。

また，10 代・20 代のスマーフォンの利用内容において，最も多いものがソーシャルメディアである。（図表 9）このことから，本学においても，学部・学科の教育研究活動やイベント活動などの取り組みをソーシャルメディア（「Instagram」，「LINE」など）を通じて，魅力を発信していく。

③高校訪問・施設訪問

本学では，これまで滋賀医療技術専門学校において培ってきた滋賀県をはじめとする高等学校との繋がりを活用し，高校生や進路指導担当教員との対話を重視した学生募集活動を実施し，学科の教育内容や特色を直接伝えていく。

また，高齢者施設等の施設訪問を通して，福祉施設介護員・ホームヘルパーからの学び直しやステップアップを目指す者に対し、待遇の違い（図表 6）を含め PR を行う。

④進学情報誌・進学情報サイトへの掲出

志願者が，新しい大学を発見することができる手段として進学情報誌・進学情報サイトがある。潜在的志願者に情報を届けることで学科への興味を喚起し，志願者になり得る資料請求者を増加させるために有効な媒体である。

専門学校での状況や当法人が設置する大学の状況を検証し，効果的なものを選び積極的に掲出し，資料請求者の母集団の拡大に繋げる。

⑤校内ガイダンスへの参画

高等学校（専門業者の委託含む。）からの要請により，生徒の進路学習の一環として校内で実施される進学ガイダンスは，学年別や希望分野別など様々な方向性で実施されている。その中で直接生徒に職種や大学の魅力を伝えることができるため，最大限に利用し，特色や魅力が伝わるよう説明方法にも工夫を凝らしていく。

⑥会場進学ガイダンス

会場進学ガイダンスは専門業者が主催しているものであるが，進学に対する目的意識の高い高校生が多く参加している。また，高等学校として，生徒が将来的に就きたいと考える職種に必要な能力を身につけるためにどのような学校があり，どのような学びが行われているのかを学ぶ機会として，貸し切りバス等により学年全体で来場するケースもある。

この有効的な機会に積極的に参加し，学生募集担当と教育職員の協働により，対面する生徒への情報伝達効果が最大限になるように努める。

⑦オープンキャンパス・入試説明会

5 月から 9 月にかけてオープンキャンパスを年間 6～7 回程度，高等学校の学事などを考慮した生徒が参加しやすい日程で開催する。また，10 月に入試説明会を開催する。

オープンキャンパスの主な実施内容は，大学・学部・学科の紹介，職種を理解するための模擬授業・実技体験，入試・奨学金説明，施設見学，各種相談となるが，運営スタッフに在学生を加え，進学希望者・保護者や家族との懇談の機会を設け，イメージの現実性を高めてもらう。

オープンキャンパスは，本学への進学を選択肢の一つとして考える者や保護者・家族と直接対面して接することができる貴重な機会であるため，本学の学部・学科

の特色や魅力を具体的かつ最大限に伝えていく。

入試説明会は，オープンキャンパス参加者よりも，本学への進学意志が高いことが想定されることから，本学が育成する人材像，本学が求める人材像などを具体的に説明し，医療専門職になりたいという意志をより具体性をもって高めてもらえるようにする。

開設予定年度の入学対象者に対する PR については，本学がスタートをする上で重要なポイントとなるため，以下のようにオープンキャンパス等を実施し，本学の認知度を向上させる。

年月日	名　称	開催場所等
2019.4.27	医療健康フォーラム （専門職大学制度の説明等）	八日市商工会議所
2019.7.15	学校説明会（高等学校教員向け）	GNET しが（近江八幡市）
2019.7.21	学校説明会（高校生・一般向け）	GNET しが（近江八幡市）
2019.8.3	学校説明会（高校生・一般向け）	滋賀県立文化産業交流会館 （米原市）
2019.8.25	オープンキャンパス	本学
2019.9.14	オープンキャンパス （又は入試説明会）	本学
2019.10.26	オープンキャンパス （又は入試説明会）	本学
2019.11.16	オープンキャンパス	本学
2019.12.8	オープンキャンパス	本学

⑧看板を用いた広告掲出

JR の最寄り駅や利用者が多い駅において，本学の看板広告を掲出し，進学を考える者を含む列車の乗降客の目に繰り返し情報を発信することで，地域社会における本学の存在認知を高めていく。

また，広告内容についても，適宜変更し，効果的な情報浸透を図る。

⑨公開講座

地域の生涯学習振興の促進に寄与するとともに，本学の研究成果を社会に還元することを目的として，公開講座を開催する。

人々の生活における身近な話題をテーマとし，多くの来場を図るとともに，地域社会における本学の存在認知を高めていく。

（2）入学者選抜方法の概要

入学者選抜，本学のアドミッション・ポリシーに見合う，医療専門職業人としての目的意識が明確で，学習意欲の高い，大学教育を受けるにふさわしい能力をもった人材を選考するために実施するものである。

入学試験にも多様性をもたせ，受験者を多面的・総合的に評価する目的で，アドミッション・オフィス（AO）入試，並びに推薦入試として，学業成績・人物ともに優れ，心身ともに健康であることを出身学校長が保証することを前提とした「指定校推薦入試」や「公募制推薦入試」，推薦書等で社会人としての豊かな経験・自らの強み・学び直しの意欲・適正を選考する「社会人推薦入試」，併せて，学力試験を課し適正を選考する「一般入試」の 5 つの入試区分で選考を行う。なお，指定校推薦入試の選定基準は，原則として，本学に通学可能な地域に所在し，本学への入学希望のニーズが高い生徒がいる高校とし，約 20～30 校に指定校推薦枠を設ける。この選定は，前身の滋賀医療技術専門学校における指定校からの入学実績，卒業実績を参考にして行う。

また，推薦入試の入試区分を「指定校推薦入試」，「公募制推薦入試」及び「社会人推薦入試」の 3 つすることにより，受験生にとって，本学の入試区分がより分かりやすくなり，多様な選抜方法から選ぶことができるようになること，本学にとっては，アドミッション・ポリシーに見合う学生を異なる選抜方法から多面的に評価し，選考できる点でメリットがあると考える。

一方、一般試験の学力試験の実施方法を　国語総合、コミュニケーション英語Ⅰ及びⅡから 1 科目選択、数学Ⅰ、物理基礎及び生物基礎から 1 科目選択する 2 科目としていたが、入試による選択科目の試験の難易度を統一することは難しく、より多様な人材を確保するために以下の通り変更する。コミュニケーション能力を評価する文系科目（国語総合、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱから出題）と職業に直結する知識を評価する理系科目（数学Ⅰ、物理基礎、生物基礎から出題）に分け、それぞれで出題された問題の中から、受験者が（科目ではなく）問題単位で選択して回答する方式とする。この変更により、1 科目を得意とする者、複数科目をまんべんなく得意とする者を選抜したい。

以上の、変更を踏まえ、募集定員をリハビリテーション学部理学療法学科は 80 名、リハビリテーション学部作業療法学科は 40 名として、AO 入試、指定校推薦入試、公募制推薦入試、社会人推薦入試、一般入試の 5 つの区分で実施する。募集人員の想定は、次の通りで、AO 入試では、理学療法学科 8 名、作業療法学科 4 名とし、推薦入試では、全体の募集定員の 4 割とし、指定校推薦入試（理学療法学科 16 名程度、作業療法学科は 8 名程度)、公募制推薦入試（理学療法学科 8 名程度、作業療法学科は 4 名程度)、社会人推薦入試（理学療法学科 8 名程度、作業療法学科は 4 名程度）を想定している。また、複数の入試区分を設けているため、合否の判定は多面的かつ合理的な根拠をもって公正に行われるように配慮する。

各入試区分の概要と選考の方法は次の通りである。

AO 入試

調査書とエントリーシート、グループディスカッションを通して、学力試験では測ることができない学生の意欲・適性をもとに判定する。部活動などの活動業績やボランティア活動、検定資格なども評価し、選考する。このグループディスカッションは、与えられたテーマをもとにディスカッションさせて AP2 から AP4 の項目ごとに評価する。

指定校推薦入試

本学が指定する高等学校の卒業見込者で、学業成績・人物ともに極めて優れ、心身ともに健康であると出身学校長が責任を持って推薦できる者について、高校長からの推薦書、調査書、志願理由書、個人面接を行い、選考する。AP 各項目が判断できるように推薦書や志願理由書には記載内容を指示する。

公募制推薦入試

高等学校の卒業見込の者、または、前年 3 月に卒業した者で、学業成績・人物面における優等性について高校長の推薦のもとに、調査書、志願理由書、グループディスカッション、個別面接を行い、選考する。AP 各項目が判断できるように推薦書や志願理由書には記載内容を指示する。

社会人推薦入試

入学時において社会人経験を 1 年以上有する者（パートタイム・アルバイトの実務経験を含む）で、社会人としての豊かな経験と学び直しの意欲・適性を自己推薦書（AP 各項目が判断できるように推薦書や志願理由書には記載内容を指示する。）、個別面接、小論文（課題を読んで、それに対応して論じさせる。）をもとに選考する。

一般入試

志願理由書と学力試験をもとに選考する。学力試験は、文系科目（国語総合、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱから出題）と理系科目（数学Ⅰ、物理基礎、生物基礎から出題）に分ける。文系科目は、コミュニケーション能力や理解力・表現力を見極めるためのもので、理系科目はリハビリテーション専門職にとって重要な理系の基礎知識を問うものである。いずれも出題全問を提示し、問題ごとに選択できる方式とし（選択数は 1 科目分）、得意な科目が単科目突出型か、まんべんなく複数科目得意型か、多様な人材を確保する。

（2）入学者選抜の具体的な方法

理学療法学科

入試区分	AO 入試	推薦入試			一般入試
		指定校 推薦入試	公募制 推薦入試	社会人 推薦入試	
募集人数	8 名	32 名			40 名
専願/併願	専願	専願	併願	専願	併願
選抜方法	①調査書 ②エントリーシート ③グループディスカッション	①推薦書（学校長による） ②調査書 ③志願理由書 ④個人面接	①推薦書（学校長による） ②調査書 ③志願理由書 ④グループディスカッション ⑤個人面接	①自己推薦書 ③個人面接 ④小論文	①志願理由書 ②学力試験 文系科目（国語総合、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱから出題） 理系科目（数学Ⅰ、物理基礎、生物基礎から出題） ※両科目とも出題から、選択して回答

作業療法学科

入試区分	AO 入試	推薦入試			一般入試
		指定校 推薦入試	公募制 推薦入試	社会人 推薦入試	
募集人数	4 名	16 名			20 名
専願/併願	専願	専願	併願	専願	併願
選抜方法	①調査書 ②エントリーシート ③グループディスカッション	①推薦書（学校長による） ②調査書 ③志願理由書 ④個人面接	①推薦書（学校長による）②調査書 ③志願理由書 ④グループディスカッション ⑤個人面接	①自己推薦書 ②個人面接 ③小論文	①志願理由書 ②学力試験 文系科目（国語総合、コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱから出題） 理系科目（数学Ⅰ、物理基礎、生物基礎から出題） ※両科目とも出題から、選択して回答

なお、この入学者選抜方法は、高大接続改革の一環としての大学入学共通テストが導入されるまでを想定しており、その後は試験実施方法等については見直しを行う予定である。

２．人材需要の動向等社会の要請

１）社会的・地域的な人材需要の動向等

①大学の必要性

滋賀県内における理学療法士・作業療法士養成施設は，平成 30 年 4 月現在、当法人が設置する滋賀医療技術専門学校 1 校である。その滋賀医療技術専門学校についても，地域のニーズに応えうる質の高い理学療法士・作業療法士の育成を目的とした藍野専門職大学への改組という意味合いから，平成 31 年度生の学生募集は停止している。

地元である滋賀県（以下「県内」という。）については，2018（平成 30）年に作成した滋賀県保健医療計画において，地域包括ケアシステムをはじめとする医療・介護提供体制の充実を実現していくにあたり必要となるリハビリテーション専門職は，2025（平成 37）年には 3,000 人の確保を目標とし，人材確保が課題となっている。このことから，理学療法士・作業療法士を充足し，滋賀県が掲げる目標を達成するためには，地域に根ざした養成施設を置く必要がある。

また，近年，理学療法士は整形外科疾患の患者に限らず，脳卒中発症後患者の急性期リハビリテーションや糖尿病患者の運動療法等，様々な疾患をもつ患者への対応が期待されている。また，作業療法士については，言語聴覚士とともに摂食・嚥下チームのチームメンバーとしての役割が期待されている。このように，患者のリハビリテーションに対するニーズが多様化し，その対応が求められており，教育プログラムの改善・充実及び実習指導者の養成が必要とされており，これらのことを確実に履行していくためには，豊富な人的・物的な研究資源を持つ大学が中心になって取り組む必要があると考える。

②滋賀県内の PT・OT 確保の状況

滋賀県では，図表 10 より，「平成 28 年度 病院報告」及び「平成 28 年度 介護サービス施設・事業所調査」において，理学療法士が 893.6 人，作業療法士が 460.5 人，病院・施設等で従事していることが示されている。

しかし，対人口 10 万人で見た場合，他府県の水準と比較して十分な水準とは言えない。今後の高齢化の進展や疾病構造の変化，リハビリテーションの対象疾患の拡大，予防に向けた取り組みの充実に伴い，国と同様に必要な人材の確保が必要になるものと考えられる。

③地域からの要望

滋賀県では，2025（平成 37）年を見据えた医療福祉の推進という観点から，2014（平成 26）年 9 月より医療福祉拠点機能の調査検討を進められてきたが，滋賀県においても，後期高齢者人口の急増が見込まれる中で，地域包括ケアシステムを支える医療福祉専門職の養成確保が喫緊の課題であり、その人材養成機能として、家庭や地域で県民が自立した生活を送るための地域リハビリテーションの強化も重ねて重要な課題となっている。滋賀県では，こうした支援を担うリハビリテーション専門職が、

2025（平成 37）年に約 3,000 人が必要と推計されており，現状の 1,200 人と比較して 1,800 人が不足する見通しである。そのため，リハビリテーション専門職を中心とした医療福祉専門職を養成するための高等教育機関の設置が滋賀県にとって急務であるとの考えより，平成 30 年 10 月 22 日付けで，滋賀県知事から文部科学大臣に対し，藍野専門職大学（現、びわこリハビリテーション専門職大学）設置認可申請について，要望書の提出がなされた。（資料 4）

また，本学の設置予定地である東近江市では，2017（平成 29）年 10 月 1 日時点での高齢者人口は 29,114 人で、高齢化率は 25.3%と全国水準より低いものの、確実に高齢化は進行し、2025（平成 37）年には 28.0%に達することが見込まれている。このような中で、東近江市では、誰もが可能な限り住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスが切れ目なく包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を目指し、実現に必要な取組が始められている。しかしながら、これらの取組を実現させていく上で、重要な課題は，地域包括ケアシステムを支える医療福祉専門職の養成確保と地域リハビリテーションの強化となっていることから，平成 30 年 10 月 23 日付けで，東近江市長から文部科学大臣に対し，藍野専門職大学（現、びわこリハビリテーション専門職大学）設置認可申請について，要望書の提出がなされた。（資料 5）

この他，公益社団法人滋賀県理学療法士会並びに一般社団法人滋賀県作業療法士会からも，滋賀県内における医療機関・高齢者施設等の運営において，理学療法士・作業療法士の確保は喫緊の課題となっていることから，地域医療に貢献するリハビリテーション専門職の安定的な供給，地域医療活動の円滑な推進と発展を期待し，公益社団法人滋賀県理学療法士会 平成 30 年 10 月 15 日付け，一般社団法人滋賀県作業療法士会 平成 30 年 10 月 22 日付けで要望書が提出された。（資料 6，7）

④地域における人材需要の見通し

びわこリハビリテーション専門職大学の設置計画を進める上で，地域社会の人材需要や卒業後の具体的な進路の見通しについて検証するために，滋賀県をはじめ近隣の都道府県に所在する病院・施設（218 病院・施設）を対象として，リハビリテーション職員の充足状況及び理学療法士・作業療法士の養成やそれを養成する大学の必要性，本学の理学療法学科・作業療法学科の卒業生に対する採用意向などに関する調査を行なった。（資料 2－3）

なお，調査時における大学名は「藍野専門職大学」であった。

○病院・施設採用担当者対象調査

調 査 対 象	病院・施設の採用担当者
調 査 方 法	郵送調査
調 査 時 期	2018（平成 30）年 7 月 2 日（月）～2018（平成 30）年 8 月 22 日（水）
調査実施機関	株式会社 進研アド

調査の結果，滋賀県をはじめとする都道府県において，調査に回答した病院・施設の理学療法士・作業療法士の充足状況（資料 2－3．P3）については，理学療法士で「若干不足している」が 55.5%で最も多い。また，「不足している」が 19.3%，「非常に不足している」が 0.8%であり，若干～非常に不足していると回答した病院・施設が，調査票回収件数 119 件の 75.6%を占めている。作業療法士では「若干不足している」が 34.5%，「不足している」が 24.4%，「非常に不足している」が 13.4%であり，若干～非常に不足していると回答した病院・施設が，調査票回収件数 119 件の 72.3%を占めている。この結果がそのまま反映されているものと考えられるが，理学療法学科の社会的必要性は，調査票回収件数 119 件の 90.8%にあたる 108 件の病院・施設が必要性を認め，作業療法学科の社会的必要性は，調査票回収件数 119 件の 94.1%にあたる 112 件の病院・施設が必要性を認めている。

次に調査に回答した病院・施設の「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度を見ると，「とても魅力を感じる」および「ある程度、魅力を感じる」と回答された特色で高いのは，「A．滋賀県初の専門職大学であり，教育・研究・施設などは 4 年制大学の水準を満たしながら，より一層実践的な教育を行い，医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」「B．専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん，社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」，「職業倫理観」「コミュニケーション能力」，「チームとして支え合う精神」を養います。」が同率で 96.6%（「とても魅力を感じる」+「ある程度、魅力を感じる」）である。

また，「とても魅力を感じる」の割合でみると，全ての項目で 4 割を超えているが、特に「C．滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として，近隣の病院や施設，自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4 年間の学びを通して，卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけけられます。」では 52.1%と，最も高い。

「理学療法学科」の特色である「F．臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では，理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターシップを行い，実践力と応用力を育てます。」に対する魅力度は 90.8%である。

「作業療法学科」の特色である「G．臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では，知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに，地域社会から学ぶ機会を多く設け，広い視野で生活を捉え，その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に対する魅力度は 92.4%である。

具体的な本学の理学療法学科・作業療法学科を卒業する学生の採用意向については，「理学療法学科」卒業生に対する採用意向（資料 2－3. P5）が調査票回収件数の 89.1%にあたる 106 件の病院・施設が「採用したいと思う」と回答しており，「作業療法学科」卒業生に対する採用意向（資料 2－3．P8）が調査票回収件数の 83.2%にあたる 112 件の病院・施設が「採用したいと思う」と回答しており，両学科共に入学定員を上回る採用意向が伺える。

また、理学療法学科・作業療法学科の卒業生を毎年何名程度の採用を想定している

か聞いたところ，調査に回答した病院・施設の全体合計で「理学療法学科」では 189 名程度，「作業療法学科」では 203 名程度であった。このことより，安定した人材需要があることも伺え，卒業後の進路は十分に見通しがあるものと考えられる。（資料 2－3．P5，P8）（備考：調査実施後に学部名を臨床リハビリテーション学部からリハビリテーション学部に変更）

以上

図　　表

びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部

学生の確保の見通し等　図表

目　　次

びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部における学生確保の
見通し等 図表

図表 1 － 理学療法士・作業療法士養成校　私立大学入学定員・・・・・・・・・・・・P1

図表 2 － 滋賀医療技術専門学校　求人状況（過去 3 年）・・・・・・・・・・・・・・・P1

図表 3 － 滋賀県におけるリハビリテーション人材確保の現状と目標・・・・・・・・P1

図表 4 － 滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における・・・・・・P2
18 歳人口の大学進学状況

図表 5 － 滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）の・・・・・・・・・・P2
高等学校・中学校の在籍者数

図表 6 － 理学療法士・作業療法士　平均年収推移（他職種比較）平成 25～29 年・・・P3

図表 7 － 我が国の情報通信機器の保有状況の推移（世帯）・・・・・・・・・・・・・・P3

図表 8 － スマートフォン個人保有率の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4

図表 9 － インターネットの利用項目別の利用時間（経年年代別 : 10～20 代）・・・・ P4

図表 10 － 滋賀県におけるリハビリテーション専門職数・・・・・・・・・・・・・・・P5

びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部における学生確保の見通し等　図表

図表 1

平成 30 年度　理学療法士養成校　私立大学入学定員

全国

30 名	35 名	38 名	40 名	45 名	50 名
2 校	2 校	1 校	29 校	1 校	3 校

60 名	65 名	70 名	80 名	120 名
14 校	1 校	2 校	28 校	1 校

出所：公益社団法人 日本理学療法士協会ホームページより抽出

平成 29 年度　作業療法士養成校　私立大学入学定員

全国

25 名	30 名	35 名	40 名	50 名	54 名
1 校	4 校	1 校	47 校	1 校	1 校

60 名	80 名
3 校	3 校

出所：一般社団法人 日本作業療法士協会ホームページより抽出

図表 2　滋賀医療技術専門学校　求人状況（過去 3 年）

	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	件　数	人　数	件　数	人　数	件　数	人　数
理学療法学科	583	2,989	594	4,233	527	2,940
作業療法学科	626	3,179	608	3,960	555	2,788

図表 3　滋賀県におけるリハビリテーション人材確保の現状と目標

（数値目標）

目標項目	現状値	目標値（H35）	備考
県内で従事するリハビリテーション専門職の確保	1,908 人	3,000 人（H37）	県の推計による
地域リハビリテーションの中核を担う人材の育成	0 人	60 人	
個別ケースレベルの地域ケア会議にリハビリテーション専門職を活用する市町の増加	16 市町（H28）	19 市町	

出所：平成 30 年（2018 年）3 月　滋賀県保健医療計画（P215）より抜粋

図表 4　滋賀県及び近隣都道府県（京都府・大阪府・岐阜県）における 18 歳人口の大学進学状況

滋賀県

卒業年月	卒業者数	大学等進学者	専修学校進学者
平成 27 年 3 月	12,360 人	6,865 人（55.5%）	2,049 人（16.6%）
平成 28 年 3 月	12,656 人	6,958 人（55.0%）	2,114 人（16.7%）
平成 29 年 3 月	12,884 人	7,206 人（55.9%）	2,171 人（16.9%）

京都府

卒業年月	卒業者数	大学等進学者	専修学校進学者
平成 27 年 3 月	22,966 人	15,249 人（66.4%）	3,155 人（13.7%）
平成 28 年 3 月	22,813 人	15,161 人（66.5%）	3,128 人（13.7%）
平成 29 年 3 月	23,480 人	15,547 人（66.2%）	3,217 人（13.7%）

大阪府

卒業年月	卒業者数	大学等進学者	専修学校進学者
平成 27 年 3 月	73,852 人	43,896 人（59.4%）	11,155 人（15.1%）
平成 28 年 3 月	74,413 人	45,013 人（60.5%）	10,949 人（14.7%）
平成 29 年 3 月	75,858 人	45,292 人（59.7%）	11,410 人（15.0%）

岐阜県

卒業年月	卒業者数	大学等進学者	専修学校進学者
平成 27 年 3 月	18,477 人	10,357 人（56.1%）	2,556 人（13.8%）
平成 28 年 3 月	18,029 人	9,941 人（55.1%）	2,406 人（13.3%）
平成 29 年 3 月	18,379 人	10,279 人（55.9%）	2,419 人（13.2%）

※1.（ ）内は，高等学校卒業者数に占める割合

※2. 専修学校進学者数は専門課程のみを記載

出所：文部科学省「学校基本調査　高等学校（全日制・定時制）卒業後の状況調査」より抽出

図表 5　滋賀県及び近隣都道府県（滋賀県・京都府・大阪府・岐阜県）の高等学校・中学校の在籍者数

平成 29 年度

	高校 1 年	中学 3 年	中学 2 年	中学 1 年
滋賀県	13,605	14,298	14,001	13,722
京都府	24,090	22,977	22,581	22,165
大阪府	78,724	79,353	77,250	75,659
岐阜県	18,717	19,990	19,399	18,587
合　計	135,136	136,618	133,231	130,133
本学への受験対象	開学初年度	開学 2 年目	開学 3 年目	完成年度

出所：文部科学省「平成 29 年度 学校基本調査　学年別生徒数」（中学校・高等学校）より抽出

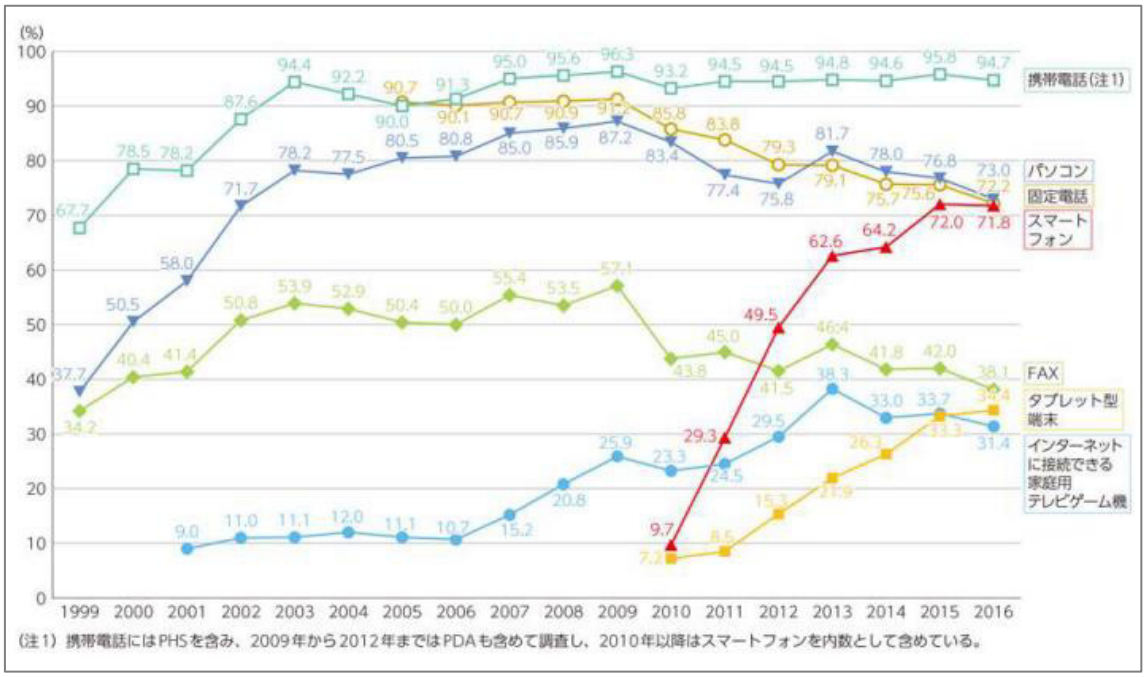
図表 6　理学療法士・作業療法士　平均年収推移（他職種比較）平成 25～29 年　　単位：万円

職　　種	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
理学療法士・作業療法士	397	390	405	407	405
看護師	472	473	478	481	478
介護支援専門員(ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰ)	367	372	371	376	377
福祉施設介護員	307	309	316	322	330
ホームヘルパー	289	293	304	305	333

※1. 企業規模 10 人以上で算出
※2. 1 万円未満を四捨五入している。

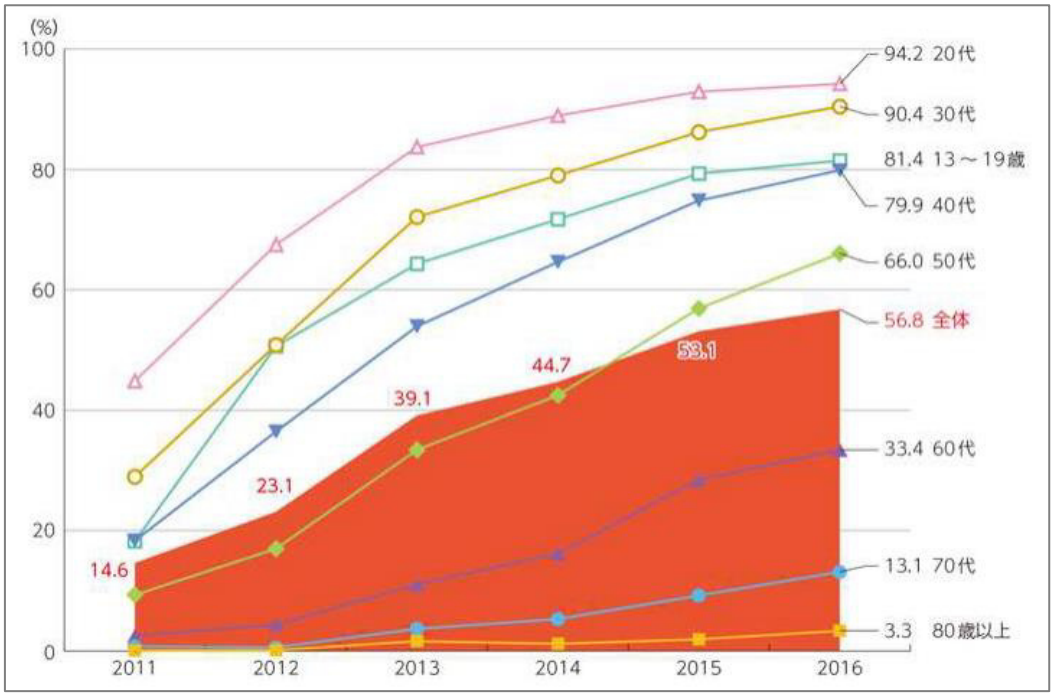
出所：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」（平成 25～29 年）より作成

図表 7　我が国の情報通信機器の保有状況の推移（世帯）



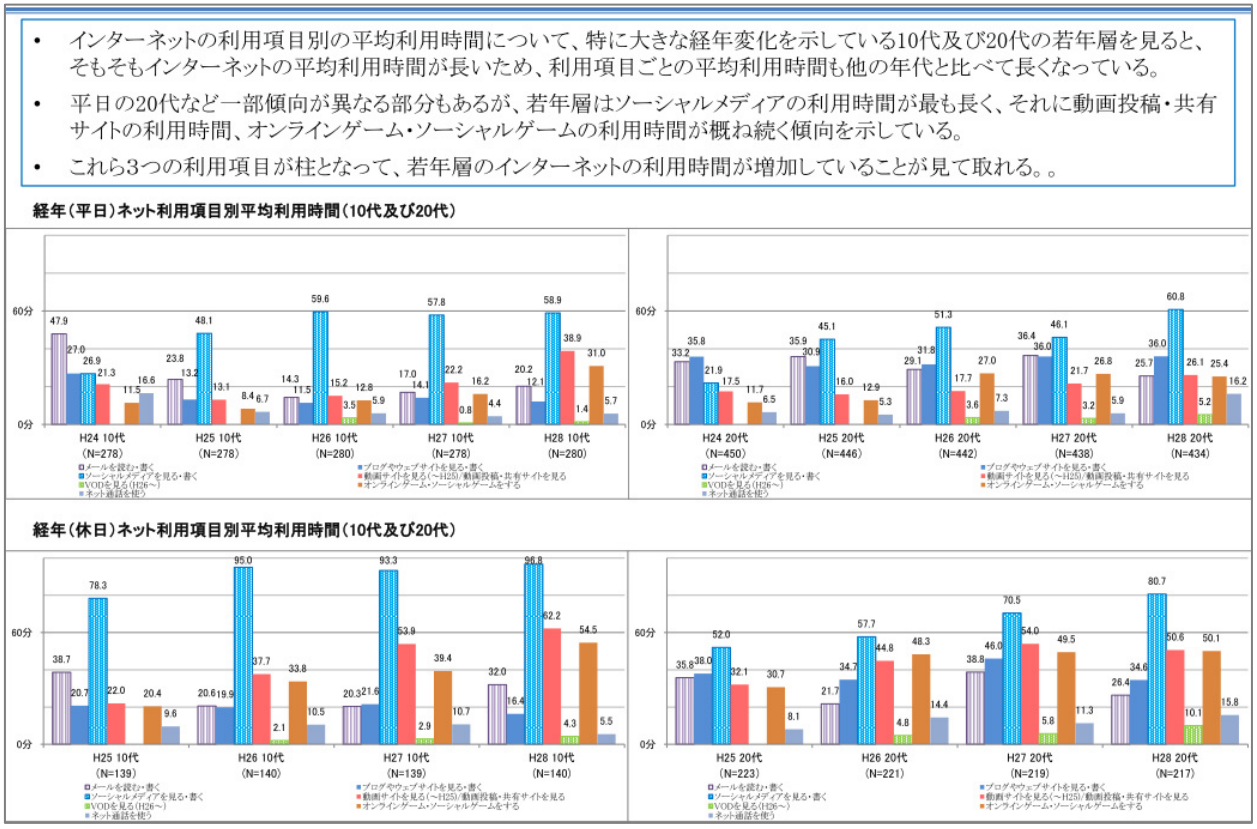
出所：総務省「通信利用動向調査」

図表 8　スマートフォン個人保有率の推移



出所：総務省「通信利用動向調査」

図表 9　インターネットの利用項目別の利用時間（経年年代別：10～20 代）



出所：総務省 情報通信政策研究所「平成 28 年 情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」
＜概要＞（平成 29 年 7 月）

図表 10　滋賀県におけるリハビリテーション専門職数

病院に従事するリハビリテーション専門職数

	滋賀		全国	
	常勤換算数	対人口 10 万人	常勤換算数	対人口 10 万人
理学療法士	677.6	48.0	74,235.6	58.5
作業療法士	346.5	24.6	43,884.1	34.6
言語聴覚士	121.9	8.7	15,123.2	12.0

出所：平成 28 年度「病院報告」（厚生労働省）

介護保険サービス施設・事業所に従事するリハビリテーション専門職数

	滋賀		全国	
	常勤換算数	対人口 10 万人	常勤換算数	対人口 10 万人
理学療法士	216	15.3	32,082	25.3
作業療法士	114	8.1	17,281	13.7
言語聴覚士	19	1.4	3,418	2.7

出所：平成 28 年度「介護サービス施設・事業所調査」（厚生労働省）

出所：平成 30 年（2018 年）3 月　滋賀県保健医療計画（P210）より抜粋

添　付　資　料

びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部

学生の確保の見通し等　添付資料

目　　次

びわこリハビリテーション専門職大学 リハビリテーション学部における学生確保の
見通し等 添付資料

資料１　社会人の学び直しについて

資料２－１　「藍野専門職大学」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書
【高校生対象調査】

資料２－２　「藍野専門職大学」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書
【施設等職員対象調査】

資料２－３　「藍野専門職大学」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書
【病院・施設採用担当者対象調査】

資料２－４　藍野専門職大学 臨床リハビリテーション学部 リーフレット
「藍野専門職大学」（仮称）設置に関するニーズ調査時において対象者に配付した本学資料

資料３　平成 29 年度学校基本調査（確定値）の公表について

資料４　藍野専門職大学の設置に係る要望
滋賀県知事　三日月　大造

資料５　藍野専門職大学リハビリテーション学部設置に係る要望について
滋賀県東近江市長　小椋　正清

資料６　藍野専門職大学リハビリテーション学部の設置に係る要望書
公益社団法人　滋賀県理学療法士会　会長　平岩　康之

資料７　藍野専門職大学リハビリテーション学部設置に係る要望
一般社団法人　滋賀県作業療法士会　会長　宮内　吉則

資　　料　　1

１．社会人の学び直しについて

（１）学び直したい学習の内容

機会があれば再び学びたいと思うものはあるか聞いたところ，「外国語に関すること」を挙げた者の割合が 31.3%と最も高く，以下，「医療や福祉（保育，介護など）に関すること」（27.0%），「日本や世界の歴史・地理に関すること」（26.6%）などの順となっている。なお，「特にない」と答えた者の割合が 18.3%となっている。（複数回答，上位３項目）

都市規模別に見ると，「日本や世界の歴史・地理に関すること」を挙げた者の割合は中都市で高くなっている。

性別に見ると，「外国語に関すること」，「医療や福祉（保育，介護など）に関すること」を挙げた者の割合は女性で，「日本や世界の歴史・地理に関すること」を挙げた者の割合は男性で，それぞれ高くなっている。

年齢別に見ると，「外国語に関すること」を挙げた者の割合は 20 歳代から 40 歳代で，「医療や福祉（保育，介護など）に関すること」を挙げた者の割合は 30 歳代，50 歳代で，「日本や世界の歴史・地理に関すること」を挙げた者の割合は 40 歳代で，それぞれ高くなっている。（図１２，表１２）

（２）学び直しの実施状況

学校を出て一度社会人となった後に，大学，大学院，短大，専門学校などの学校において学んだことがあるか聞いたところ，「学んだことがある，学んでみたい」とする者の割合が 49.4%（「学んだことがある（現在学んでいる）」19.1%＋「学んだことはないが，今後は学んでみたい」30.3%），「学んだことはなく，今後も学びたいとは思わない」と答えた者の割合が 46.1%，「社会人となった経験がなく，在学中である」と答えた者の割合が 2.1%となっている。

都市規模別に見ると，「学んだことがある，学んでみたい」とする者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると，大きな差異は見られない。

年齢別に見ると，「学んだことがある，学んでみたい」とする者の割合は 30 歳代から 50 歳代で，「学んだことはなく，今後も学びたいとは思わない」と答えた者の割合は 70 歳以上で，それぞれ高くなっている。（図１３，表１３）

ア　学び直したいと考えた理由

学校を出て一度社会人になった後に，学校において「学んだことがある（現在学んでいる）」，「学んだことはないが，今後は学んでみたい」と答えた者（817 人）に，学びたいと考えた理由を聞いたところ，「教養を深めるため」を挙げた者の割合が 51.8%，「今後の人生を有意義にするため」を挙げた者の割合が 48.8%と高く，以下，「就職や転職のために必要性を感じたため」（28.4%），「現在または学んだ当時に就いていた職業において必要性を感じたため」（25.1%），「他の人との親睦を深めたり，友人を得たりするため」（21.2%）などの順となっている。（複数回答，上位５項目）

性別に見ると，「現在または学んだ当時に就いていた職業において必要性を感じたため」を挙げた者の割合は男性で高くなっている。（図１４，表１４）

（３）学び直しやすくするための取組

社会人が大学などの教育機関で学びやすくするためには，どのような取組が必要だと思うか聞いたところ，「学費の負担などに対する経済的な支援」を挙げた者の割合が 46.1%と最も高く，以下，「就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充」(35.0%),「土日祝日や夜間における授業の拡充」(34.0%),「学び直しに関する情報を得る機会の拡充」(29.8%),「学び直しに対する理解を高めるための企業などへの働きかけ」(28.0%）などの順となっている。(複数回答，上位５項目)

都市規模別に見ると,「土日祝日や夜間における授業の拡充」を挙げた者の割合は大都市で高くなっている。

性別に見ると,「学費の負担などに対する経済的な支援」,「就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充」,「学び直しに関する情報を得る機会の拡充」を挙げた者の割合は女性で高くなっている。

年齢別に見ると,「学費の負担などに対する経済的な支援」を挙げた者の割合は 20 歳代から 50 歳代で,「就職や資格取得などに役立つ社会人向けプログラムの拡充」を挙げた者の割合は 20 歳代，30 歳代で,「土日祝日や夜間における授業の拡充」を挙げた者の割合は 20 歳代から 40 歳代で,「学び直しに対する理解を高めるための企業などへの働きかけ」を挙げた者の割合は 30 歳代から 50 歳代で，それぞれ高くなっている。

出所：内閣府大臣官房政府広報室ホームページ
「教育・生涯学習に関する世論調査」（平成 28 年 2 月）より抜粋

図１２　学び直したい学習の内容

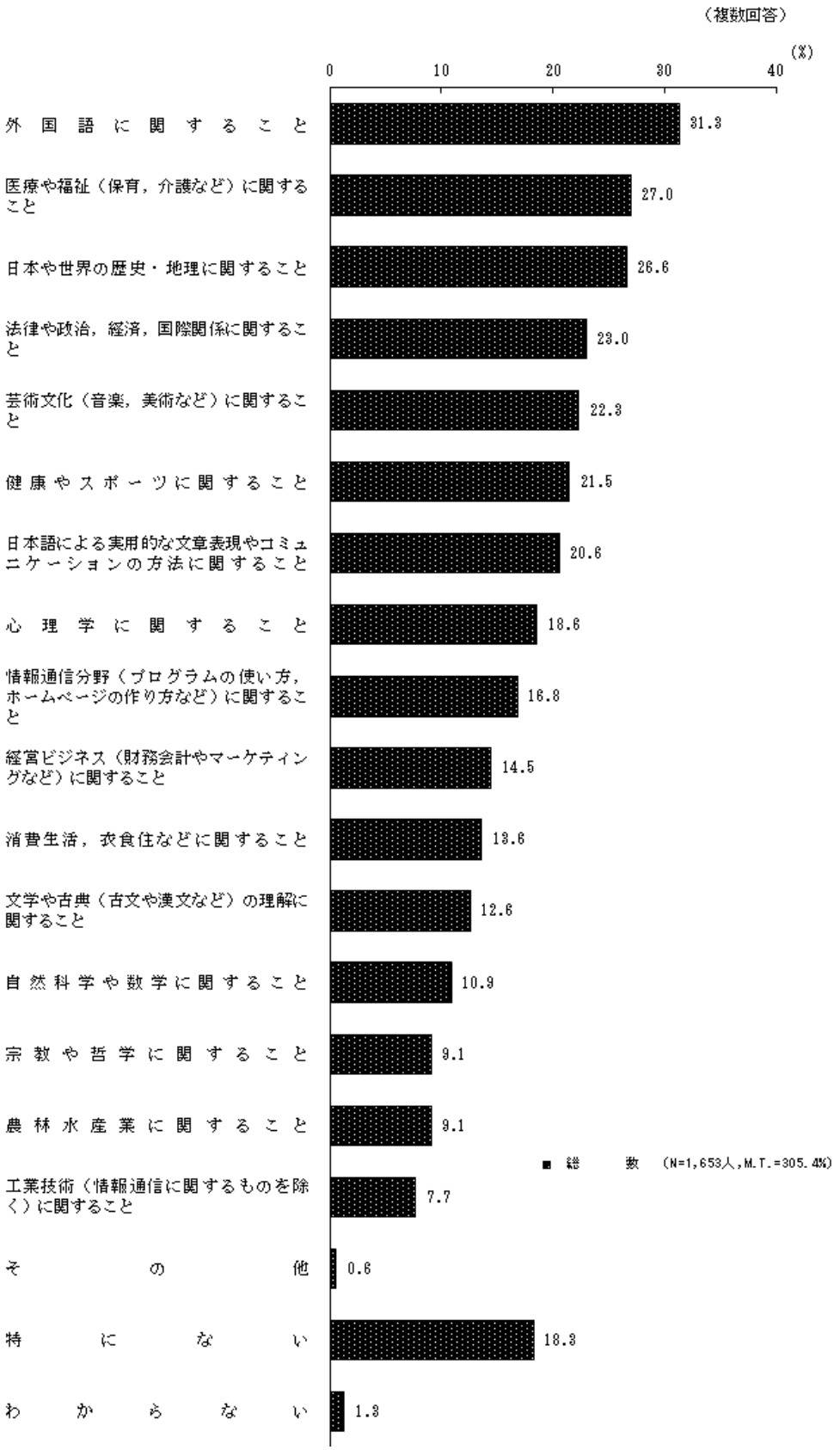


表12学び直したい学習の内容

（複数回答）

	該当者数	外国語に関すること	医療や福祉（保育、介護など）に関すること	日本や世界の歴史・地理に関すること	法律や政治、経済、国際関係に関すること	芸術文化（音楽、美術など）に関すること	健康やスポーツに関すること	日本語による実用的な文章表現やコミュニケーションの方法に関すること	心理学に関すること	情報通信分野（プログラムの使い方、ホームページの作り方など）に関すること	経営ビジネス（財務会計やマーケティングなど）に関すること	消費生活、衣食住などに関すること	文学や古典（古文や漢文など）の理解に関すること	自然科学や数学に関すること	宗教や哲学に関すること	農林水産業に関すること	工業技術（情報通信に関するものを除く）に関すること	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,653	31.3	27	26.6	23	22.3	21.5	20.6	18.6	16.8	14.5	13.6	12.6	10.9	9.1	9.1	7.7	0.6	18.3	1.3	305.4
〔都市規模〕																					
大都市	424	34.7	24.1	27.8	26.2	25.5	18.2	21.5	21.5	15.8	14.9	13.9	14.9	12.7	13.2	10.1	9	0.5	18.6	1.4	324.3
東京都区部	94	42.6	21.3	34	28.7	27.7	21.3	24.5	18.1	17	13.8	8.5	13.8	12.8	16	11.7	10.6	2.1	17	1.1	342.6
政令指定都市	330	32.4	24.8	26.1	25.5	24.8	17.3	20.6	22.4	15.5	15.2	15.5	15.2	12.7	12.4	9.7	8.5	－	19.1	1.5	319.1
中都市	655	31.3	29.6	29.5	23.2	23.1	22.9	21.4	18.9	18	13.4	12.4	14.2	11.9	9.3	8.2	7.2	0.6	14.5	0.6	310.2
小都市	414	30.2	27.3	22.7	21.5	18.6	23.4	18.4	15.7	17.1	14.7	15.2	8	8.7	5.8	9.4	8.5	1	23.2	1	290.3
町村	160	25.6	23.8	21.3	17.5	20.6	19.4	21.3	16.9	13.1	16.9	13.1	12.5	8.1	6.3	8.8	4.4	－	20	5	274.4
〔性〕																					
男性	760	27.1	20.5	29.7	27	18.2	24.6	17.6	15.3	18.3	19.3	8.6	12	14.1	11.1	13.3	13.8	0.9	17.2	0.9	309.5
女性	893	34.9	32.6	23.9	19.6	25.9	18.8	23.2	21.4	15.5	10.3	17.8	13.2	8.3	7.5	5.5	2.5	0.3	19.1	1.7	301.9
〔年齢〕																					
20～29歳	144	45.8	27.8	26.4	36.1	31.3	19.4	34	30.6	22.9	26.4	19.4	9	14.6	10.4	9	13.9	－	5.6	0.7	383.3
30～39歳	220	48.6	33.6	30.9	35	20.9	17.7	31.4	26.8	28.2	27.7	18.2	15.5	14.5	12.3	10	10.9	0.5	6.4	－	389.1
40～49歳	303	43.9	29.4	32	30.4	23.1	19.5	26.1	28.1	23.8	20.1	12.9	9.6	9.2	9.6	5.9	8.9	0.7	8.6	1	342.6
50～59歳	263	34.2	35.7	27.8	19.8	27	27.4	20.2	21.3	19.8	17.5	12.5	14.8	15.2	10.3	13.3	7.2	0.8	11	－	335.7
60～69歳	334	21.9	24.9	27.2	14.4	21.9	22.2	16.2	13.2	9.3	5.4	12.9	14.4	9.9	8.1	11.4	5.7	0.9	24	1.2	264.7
70歳以上	389	12.6	17.2	18.5	15.2	16.5	21.3	9.5	4.9	6.9	3.9	10.5	11.8	6.9	6.7	6.2	4.6	0.5	37.3	3.6	214.7
〔従業上の地位〕																					
雇用者	795	38.4	29.4	28.8	26.5	22	20.9	26	23.5	21	19.2	12.8	11.6	12.6	10.1	9.8	9.9	0.6	11.1	0.6	335
自営業主	120	25.8	27.5	29.2	24.2	28.3	28.3	16.7	16.7	17.5	24.2	14.2	14.2	12.5	15.8	20	9.2	1.7	17.5	－	343.3
家族従業者	37	37.8	29.7	40.5	27	27	29.7	29.7	13.5	24.3	16.2	10.8	16.2	8.1	8.1	16.2	5.4	2.7	16.2	－	359.5
無職	701	24	24.1	22.8	18.5	21.4	20.5	14.7	13.6	11.4	7.3	14.4	13.4	9	7	6	5	0.3	26.7	2.4	262.5
主婦	393	29.5	30.3	22.6	16.8	23.9	20.9	16.5	16.5	11.2	5.9	19.8	14.8	8.7	4.6	4.1	2.5	0.3	23.4	1.8	274
主夫	27	18.5	18.5	33.3	33.3	22.2	22.2	7.4	14.8	14.8	7.4	11.1	22.2	11.1	18.5	14.8	7.4	－	37	3.7	318.5
その他の無職	281	16.7	16	22.1	19.6	17.8	19.9	12.8	9.3	11.4	9.3	7.1	10.7	9.3	9.3	7.8	8.2	0.4	30.2	3.2	240.9
〔職業〕																					
管理・専門技術・事務職	409	44.3	31.5	31.1	29.8	24.7	19.3	27.9	25.9	20.5	19.6	14.9	15.2	14.2	14.7	10.3	8.6	0.5	9	－	361.9
管理職	53	39.6	20.8	37.7	24.5	26.4	26.4	11.3	5.7	15.1	13.2	5.7	18.9	11.3	9.4	18.9	7.5	1.9	7.5	－	301.9
専門・技術職	144	44.4	38.2	29.9	29.9	29.2	20.8	32.6	27.8	20.1	17.4	15.3	18.1	16.7	16	13.2	11.1	－	8.3	－	388.9
事務職	212	45.3	29.7	30.2	31.1	21.2	16.5	28.8	29.7	22.2	22.6	17	12.3	13.2	15.1	6.1	7.1	0.5	9.9	－	358.5
販売・サービス・保安職	270	37.8	32.6	33	26.7	25.9	24.4	23.7	23.3	23	23.7	13	12.6	10	10	10.7	7	0.7	11.1	0.4	349.6
農林漁業職	28	14.3	17.9	32.1	21.4	10.7	21.4	10.7	3.6	7.1	10.7	14.3	3.6	7.1	7.1	42.9	3.6	－	28.6	－	257.1
生産・輸送・建設・労務職	243	25.5	22.6	22.2	20.6	18.5	24.7	23	16.9	19.8	16.9	9.1	7.4	12.8	5.3	10.3	15.2	1.6	16.5	1.6	290.5
無回答	2	50	50	－	－	－	－	50	50	50	－	50	－	－	－	－	－	－	－	－	300

出所：内閣府大臣官房政府広報室「世論調査報告書」（平成27年12月）

図１３　学び直しの実施状況

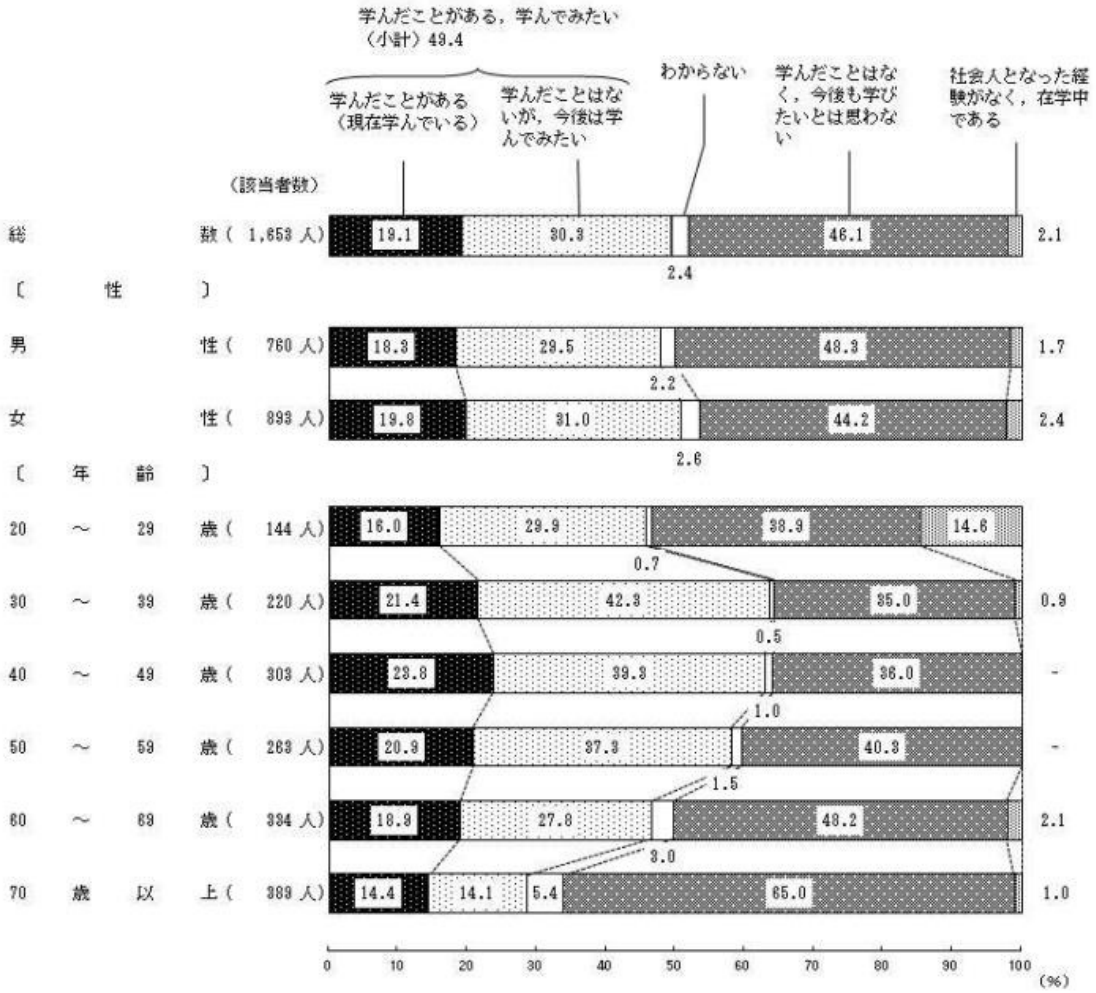


表13学び直しの実施状況

	該当者数	学んだことがある、学んでみたい（小計）	学んだことがある（現在学んでいる）	学んだことはないが、今後は学んでみたい	学んだことはなく、今後も学びたいとは思わない	社会人となった経験がなく、在学中である	わからない
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,653	49.4	19.1	30.3	46.1	2.1	2.4
〔都市規模〕							
大都市	424	54.2	22.4	31.8	42.7	2.1	0.9
東京都区部	94	51.1	16	35.1	46.8	2.1	－
政令指定都市	330	55.2	24.2	30.9	41.5	2.1	1.2
中都市	655	48.1	17.3	30.8	48.4	2.1	1.4
小都市	414	45.4	17.1	28.3	48.1	1.7	4.8
町村	160	52.5	23.1	29.4	40.6	2.5	4.4
〔性〕							
男性	760	47.8	18.3	29.5	48.3	1.7	2.2
女性	893	50.8	19.8	31	44.2	2.4	2.6
〔年齢〕							
20～29歳	144	45.8	16	29.9	38.9	14.6	0.7
30～39歳	220	63.6	21.4	42.3	35	0.9	0.5
40～49歳	303	63	23.8	39.3	36	－	1
50～59歳	263	58.2	20.9	37.3	40.3	－	1.5
60～69歳	334	46.7	18.9	27.8	48.2	2.1	3
70歳以上	389	28.5	14.4	14.1	65	1	5.4
〔従業上の地位〕							
雇用者	795	56.7	21.3	35.5	41.6	0.8	0.9
自営業主	120	56.7	25.8	30.8	41.7	－	1.7
家族従業者	37	45.9	8.1	37.8	43.2	－	10.8
無職	701	40.1	16.1	24	52.1	4	3.9
主婦	393	46.1	16.3	29.8	48.3	1.5	4.1
主夫	27	29.6	22.2	7.4	66.7	－	3.7
その他の無職	281	32.7	15.3	17.4	55.9	7.8	3.6
〔職業〕							
管理・専門技術・事務職	409	64.3	27.6	36.7	34	0.2	1.5
管理職	53	56.6	22.6	34	41.5	－	1.9
専門・技術職	144	70.8	39.6	31.3	27.8	0.7	0.7
事務職	212	61.8	20.8	41	36.3	－	1.9
販売・サービス・保安職	270	58.9	20.7	38.1	39.3	1.1	0.7
農林漁業職	28	35.7	10.7	25	57.1	－	7.1
生産・輸送・建設・労務職	243	42	11.9	30	56	0.8	1.2
無回答	2	100	100	－	－	－	－

図１４　学び直したいと考えた理由

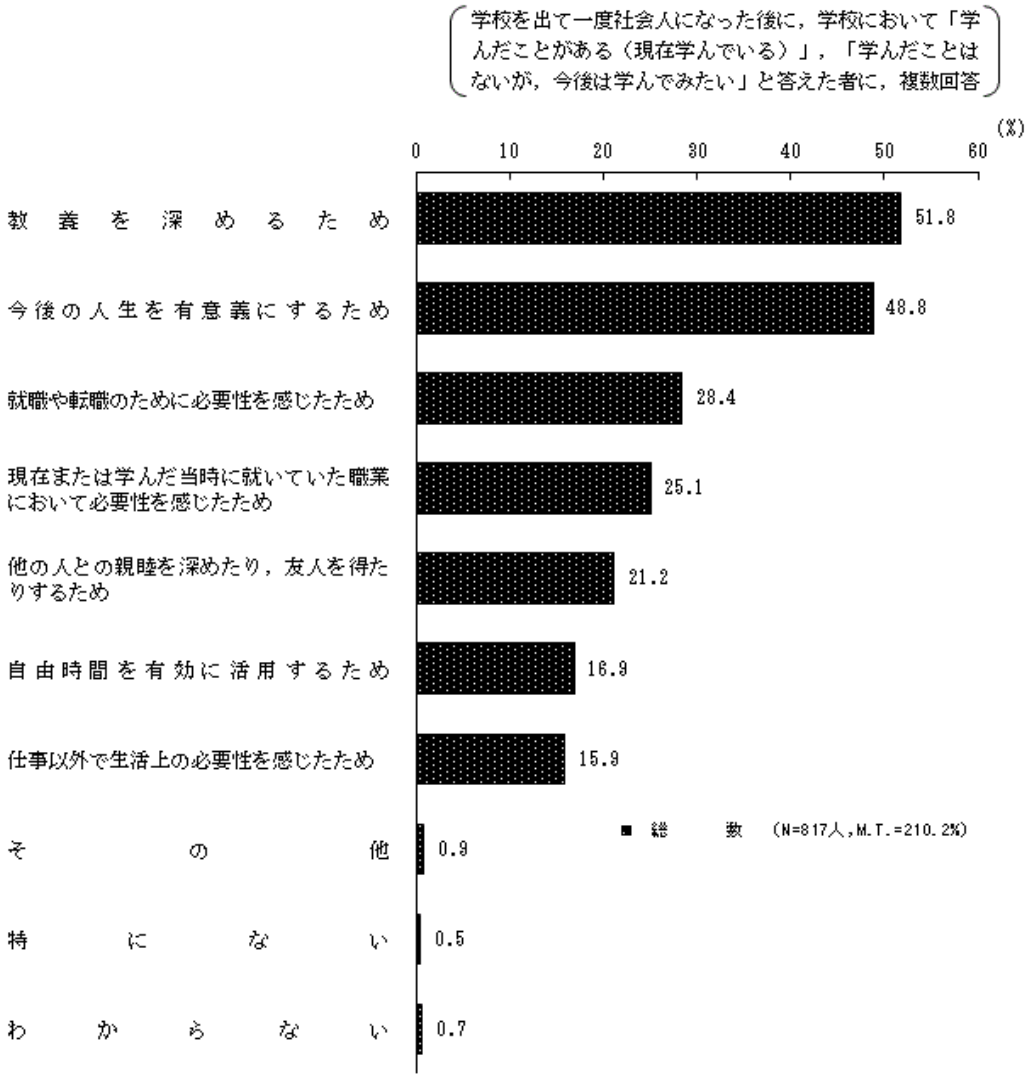


表14学び直したいと考えた理由

学校を出て一度社会人になった後に、学校において「学んだことがある（現在学んでいる）」、「学んだことはないが、今後は学んでみたい」と答えた者に、複数回答

	該当者数	教養を深めるため	今後の人生を有意義にするため	就職や転職のために必要性を感じたため	現在または学んだ当時に就いていた職業において必要性を感じたため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	自由時間を有効に活用するため	仕事以外で生活上の必要性を感じたため	その他	特にない	わからない	計(M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	817	51.8	48.8	28.4	25.1	21.2	16.9	15.9	0.9	0.5	0.7	210.2
〔都市規模〕												
大都市	230	53.5	48.7	30.4	24.3	20.9	18.7	12.6	0.4	0.9	－	210.4
東京都区部	48	66.7	35.4	22.9	25	16.7	16.7	4.2	－	2.1	－	189.6
政令指定都市	182	50	52.2	32.4	24.2	22	19.2	14.8	0.5	0.5	－	215.9
中都市	315	54	50.2	27.9	26.3	18.4	16.8	16.8	1	－	0.3	211.7
小都市	188	49.5	45.7	29.3	28.2	25	16	17.6	1.1	－	2.1	214.4
町村	84	44	51.2	22.6	15.5	23.8	14.3	17.9	1.2	2.4	1.2	194
〔性〕												
男性	363	49.6	46	25.9	30.3	18.7	14.9	16.3	1.4	0.8	0.8	204.7
女性	454	53.5	51.1	30.4	20.9	23.1	18.5	15.6	0.4	0.2	0.7	214.5
〔年齢〕												
20～29歳	66	45.5	42.4	39.4	30.3	22.7	9.1	19.7	－	1.5	1.5	212.1
30～39歳	140	48.6	49.3	46.4	29.3	17.1	12.9	13.6	－	0.7	2.1	220
40～49歳	191	54.5	46.6	36.6	33.5	19.4	8.9	17.3	1	－	－	217.8
50～59歳	153	58.8	51	24.2	19	21.6	15	19	－	－	0.7	209.2
60～69歳	156	50	55.1	12.2	18.6	23.1	27.6	14.7	1.9	0.6	－	203.8
70歳以上	111	47.7	44.1	13.5	19.8	25.2	27.9	11.7	1.8	0.9	0.9	193.7
〔従業上の地位〕												
雇用者	451	48.8	47.7	34.1	31.9	19.5	12.2	14.9	0.7	0.2	0.9	210.9
自営業主	68	52.9	57.4	19.1	23.5	25	19.1	16.2	2.9	－	1.5	217.6
家族従業者	17	82.4	41.2	23.5	17.6	29.4	11.8	23.5	5.9	－	－	235.3
無職	281	54.4	49.1	21.7	14.9	22.4	24.2	17.1	0.4	1.1	0.4	205.7
主婦	181	58	53	22.1	14.4	23.8	22.7	16	－	0.6	－	210.5
主夫	8	37.5	62.5	12.5	37.5	－	37.5	12.5	－	－	－	200
その他の無職	92	48.9	40.2	21.7	14.1	21.7	26.1	19.6	1.1	2.2	1.1	196.7
〔職業〕												
管理・専門技術・事務職	263	52.9	49.8	27	36.1	15.6	12.9	12.5	0.8	－	1.1	208.7
管理職	30	33.3	36.7	26.7	33.3	6.7	10	13.3	3.3	－	－	163.3
専門・技術職	102	56.9	50	28.4	39.2	11.8	7.8	12.7	－	－	1	207.8
事務職	131	54.2	52.7	26	34.4	20.6	17.6	12.2	0.8	－	1.5	219.8
販売・サービス・保安職	159	53.5	53.5	37.1	25.8	25.8	15.1	17	2.5	0.6	－	230.8
農林漁業職	10	10	30	10	20	10	20	20	－	－	10	130
生産・輸送・建設・労務職	102	43.1	40.2	37.3	24.5	26.5	9.8	19.6	－	－	1	202
無回答	2	50	50	100	－	－	－	－	－	－	－	200

出所：内閣府大臣官房政府広報室「世論調査報告書」（平成27年12月調査）

資　　料　　２　－　１

資料２－１

「藍野専門職大学」（仮称）
設置に関するニーズ調査
結果報告書

【高校生対象調査】

平成30年９月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

高校生対象　調査概要

1. 調査目的

2020年4月開設予定の「藍野専門職大学」設置構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		福井県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、和歌山県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数	9,490人 （依頼校数54校）
	回収数 ＜回収率＞	3,817人 （回収校数32校） ＜40.2%＞
調査時期		2018年7月2日（月）～2018年9月7日（金）
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査	
①藍野専門職大学への進学ニーズについて ・性別 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・興味のある学問系統 ・「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度 ・「藍野専門職大学」への興味度 ・「藍野専門職大学」への受験意向 ・「藍野専門職大学」への入学意向	②「専門職大学」制度について ・「専門職大学」の認知 ・「専門職大学」への進学意向 ③進路選択行動・意識について ・進路相談相手 ・進学先候補の学校を知ったきっかけ ・進学先選択時の重視点

※調査実施時点では、学部名を「臨床リハビリテーション学部」とすることを検討していたため、本報告書内でも学部名は「臨床リハビリテーション学部」と記載している。
調査対象者に対しては、名称や内容は構想中のものであり、変更の可能性があることを明記した上で、（仮称）と表記して調査を行っており、また、学部名称の変更も「臨床リハビリテーション学部」から「リハビリテーション学部」と、学部名から想起される学問内容や職業イメージが大幅に変動するものではないことから、「リハビリテーション学部」の調査結果としての読み替えは可能と考える。

高校生対象　調査結果まとめ

①藍野専門職大学への進学ニーズについて

高校生対象　調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」に対する進学需要を確認するための調査として設計し、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」の主な学生募集エリアと想定される近畿地方、中部地方に所在する高校から54校を抽出しその高校に在籍する高校2年生に調査を実施した。

- 本調査の回答者は3,817人。
- 回答者の性別は「男性」が47.2%、「女性」が52.2%。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が91.1%、「私立」が8.9%。
- 回答者の在籍高校所在地は、藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」が最も多く54.7%。隣接する「岐阜県」が11.6%で続く。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス（文系コース）」が35.4%、「理系クラス（理系コース）」が21.5%である。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統（Q1、Q2）

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」が36.0%で最も多く、次いで「国公立大学に進学」が32.6%、「専門学校・専修学校に進学」が31.8%であった。また、この時点で「専門職大学に進学」と回答した人も6.0%みられた。
  今後、私立専門職大学への進学を検討する可能性が高いと考えられる私立大学、専門学校・専修学校への進学志望者が多いことから、藍野専門職大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「教員養成・教育学」「経済・経営・商学」（14.1%）、「看護学」（13.6%）が上位。
  「臨床リハビリテーション学部」の学問内容と関連する「医療技術・リハビリテーション学（理学療法、作業療法など含む）」は12.5%。

高校生対象　調査結果まとめ

「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度（Q3）

- 「藍野専門職大学」の特色（A～E）に対する魅力度（※）は、全ての項目で7割前後。
- 最も魅力度が高いのは、「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」で、71.5%である。
  次に高いのは、「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」の70.5%。
- 「理学療法学科」の特色である「F. 臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。」に対する魅力度は69.2%である。
- 「作業療法学科」の特色である「G. 臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に対する魅力度は66.4%である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と
回答した人の合計値＝数表中の「魅力を感じる・計」の値

「藍野専門職大学」への興味度（Q4）

- 今回の調査を通じて、藍野専門職大学に「興味をもった」人は、29.6%である。

高校生対象　調査結果まとめ

※回答者には、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験意向・入学意向等を質問する前に、同封した「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」のリーフレットを読むように依頼している。このリーフレットには、専門職大学と大学の違いや、藍野専門職大学の特色、類似の内容が学べる近隣の四年制大学が明記されている。
回答者は、リーフレット記載の上記内容に目を通した上で「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験・入学意向に回答していることから、リーフレット記載の近隣大学や、アンケート回答以前から自身の進学先候補として検討していた大学・専門学校等と「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」を比較検討した上で、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験意向・各学科への入学意向の有無を回答していると考えられる。

「藍野専門職大学」への受験意向（Q5）

- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」と答えた人は、6.5%（248人）である。

「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部 理学療法学科」への入学意向（Q6）

- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」と答えた248人のうち、「理学療法学科へ入学したいと思う」と入学意向を示した人は、60.9%（151人）であり、予定している入学定員80人を上回る入学意向者数がみられた。
- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」かつ「理学療法学科へ入学したいと思う」と回答した151人の県別内訳をみると、地元の「滋賀県」が69.5%（105人）で最も多い。
- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」と答えた248人のうち、「作業療法学科へ入学したいと思う」と入学意向を示した人は、20.6%（51人）であり、予定している入学定員40人を上回る入学意向者数がみられた。
- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」かつ「作業療法学科へ入学したいと思う」と回答した51人の県別内訳をみると、地元の「滋賀県」が54.9%（28人）で最も多い。
- また、滋賀県からの回答者全体でみると、藍野専門職大学を「受験したいと思う」かつ「理学療法学科へ入学したいと思う」と回答した人の割合は5.0%（2089人中、105人）、藍野専門職大学を「受験したいと思う」かつ「作業療法学科へ入学したいと思う」と回答した人の割合は1.3%（2089人中、28人）みられた。

高校生対象　調査結果まとめ

「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部 理学療法学科」への入学意向（Q6）

- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」と答えた248人のうち、「理学療法学科へ入学したいと思う」と入学意向を示した人は、60.9%（**151人**）であり、予定している入学定員80人を上回る入学意向者数がみられた。

以下は属性別の結果である。

◇性別

- 「女性」より「男性」の方が入学意向が高く、「男性」の入学意向は71.1%（142人中、**101人**）で予定している入学定員数を上回っている。

◇高校所在地別

- 藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」の高校在籍者からの入学意向は65.6%（160人中、**105人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- ◇高校卒業後の希望進路別

- 調査票冒頭のQ1回答時点で、「専門職大学に進学」を考えていると回答した人の入学意向は61.8%（34人中、**21人**）であった。
  また、Q1回答時点では「私立大学に進学」を考えていると回答した人の入学意向は70.0%（110人中、**77人**）、「専門学校・専修学校に進学」を考えていると回答した人の入学意向は61.2%（103人中、**63人**）であった。
  当初から専門職大学への進学を視野にいれていた層だけでなく、もともとは私立大学への進学や専門学校・専修学校への進学を検討していた層においても、今回の調査を通じて「専門職大学」への進学に対する関心が高まり、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部　理学療法学科」への入学意向につながったものと考えられる。
  このことから、現時点で私立大学や専門学校・専修学校への進学を検討している層も、藍野専門職大学の学生募集ターゲットになり得ると考えられる。

高校生対象　調査結果まとめ

◇興味のある学問系統別

- 藍野専門職大学の「臨床リハビリテーション学部」の学問内容と関連する「医療技術・リハビリテーション学」に興味のある人の入学意向は71.1％（128人中、**91人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。
  また、「スポーツ・体育・健康科学」に興味のある人の入学意向も76.7％（60人中、**46人**）と高い。

◇「藍野専門職大学」の特色に対する魅力別

- 「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」に魅力を感じている人からの入学意向は61.1％（239人中、**146人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」に魅力を感じている人からの入学意向は61.7％（235人中、**145人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」に魅力を感じている人からの入学意向は61.3％（240人中、**147人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」に魅力を感じている人からの入学意向は61.8％（238人中、**147人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

高校生対象　調査結果まとめ

- 「E. 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。」に魅力を感じている人からの入学意向は62.0％(237人中、**147人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇「理学療法学科」の特色に対する魅力別

- 「F. 臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。」に魅力を感じている人からの入学意向は61.4％(236人中、**145人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇「藍野専門職大学」への興味度別

- 藍野専門職大学に「興味をもった」と答えた人からの入学意向は62.2％(233人中、**145人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

高校生対象　調査結果まとめ

「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部 作業療法学科」への入学意向（Q6）

- 藍野専門職大学を「受験したいと思う」と答えた248人のうち、「作業療法学科へ入学したいと思う」と入学意向を示した人は、20.6%（**51人**）であり、予定している入学定員40人を上回る入学意向者数がみられた。

以下は属性別の結果である。

◇性別

- 「男性」より「女性」の入学意向が高く、「女性」の入学意向は31.4%（105人中、**33人**）である。

◇高校所在地別

- 藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」の高校在籍者からの入学意向は17.5%（160人中、**28人**）である。

◇高校卒業後の希望進路別

- 調査票冒頭のQ1回答時点で、「専門職大学に進学」を考えていると回答した人の入学意向は17.6%（34人中、**6人**）であった。
  また、Q1回答時点では「私立大学に進学」を考えていると回答した人の入学意向は19.1%（110人中、**21人**）、「短期大学に進学」を考えていると回答した人の入学意向は37.9%（29人中、**11人**）、「専門学校・専修学校に進学」を考えていると回答した人の入学意向は23.3%（103人中、**24人**）であった。
  当初から専門職大学への進学を視野にいれていた層だけでなく、もともとは私立大学への進学や短期大学、専門学校・専修学校への進学を検討していた層においても、今回の調査を通じて「専門職大学」への進学に対する関心が高まり、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部　作業療法学科」への入学意向につながったものと考えられる。
  このことから、現時点で私立大学や短期大学、専門学校・専修学校への進学を検討している層も、藍野専門職大学の学生募集ターゲットになり得ると考えられる。

高校生対象　調査結果まとめ

◇興味のある学問系統別

- 藍野専門職大学の「臨床リハビリテーション学部」の学問内容と関連する「医療技術・リハビリテーション学」に興味のある人の入学意向は24.2％（128人中、**31人**）。また、「看護学」に興味のある人からの入学意向は30.9％（55人中、**17人**）、「教員養成・教育学」に興味のある人からの入学意向は28.6％（35人中、**10人**）と比較的高い。

◇「藍野専門職大学」の特色に対する魅力別

- 「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」に魅力を感じている人からの入学意向は20.1％（239人中、**48人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」に魅力を感じている人からの入学意向は20.0％（235人中、**47人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」に魅力を感じている人からの入学意向は20.4％（240人中、**49人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」に魅力を感じている人からの入学意向は19.7％（238人中、**47人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

高校生対象　調査結果まとめ

- 「E. 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。」に魅力を感じている人からの入学意向は19.8％（237人中、**47人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇「作業療法学科」の特色に対する魅力別

- 「G. 臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に魅力を感じている人からの入学意向は20.9％（235人中、**49人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇「藍野専門職大学」への興味度別

- 藍野専門職大学に「興味をもった」と答えた人からの入学意向は20.6％（233人中、**48人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

高校生対象　調査結果まとめ

②「専門職大学」制度について

高校生対象　調査結果まとめ

「専門職大学」の認知（Q8）

- 今回の調査以前に、「「専門職大学」について、大学や専門学校との違いなど、具体的な内容まで知っていた」は4.3%、「大学や専門学校との違いなど具体的な内容は知らなかったが、「専門職大学」という名前は聞いたことがあった」は19.9%で、「専門職大学」の認知度は2割程度であった。

「専門職大学」への進学意向（Q9）

- 今回の調査を通じて、「専門職大学を第一希望の進学先として考えたい」と思った回答者は3.2%、「第一希望ではないが、進学先候補の1つとして検討したい」は32.7%みられた。
  両者を合わせると、「専門職大学」への進学に関心をもった人の割合は3割強。
- 調査票冒頭のQ1で高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取した時には、「専門職大学に進学」と回答した人は6.0%のみであったことと比較すると、今回の調査に回答する中で、「専門職大学」への理解が深まり、回答者の「専門職大学への進学」に対する関心が高まったと考えられる。
- 「専門職大学」への進学に「興味がある（専門職大学を第一希望＋進学先候補の1つ）」と回答した人における、藍野専門職大学を「受験したいと思う」かつ「理学療法学科へ入学したいと思う」と回答した人の割合は9.8%（1,373人中、**134人**）みられた。また、藍野専門職大学を「受験したいと思う」かつ「作業療法学科へ入学したいと思う」と回答した人の割合は3.4%（1,373人中、**46人**）みられた。

高校生対象　調査結果まとめ

③進路選択行動・意識について

高校生対象　調査結果まとめ

進路相談相手（Q10）

- 進路相談相手を複数回答で聴取すると、「母親」（69.9％）が最も高く、突出している。次いで、「同じ学年の友達」が42.7％、「高校の担任の先生」が33.4％と続く。

進学先候補の学校を知ったきっかけ（Q11）

- 進学先候補の学校を知ったきっかけを複数回答で聴取すると、「インターネットで興味のあるキーワードを検索したらその学校のホームページが出てきた」が31.1％と最も高い。次いで「保護者から聞いて」（22.9％）、「色々な学校の情報が載っているインターネットの進学情報サイトを見て」（20.8％）と続く。

進学先選択時の重視点（Q12）

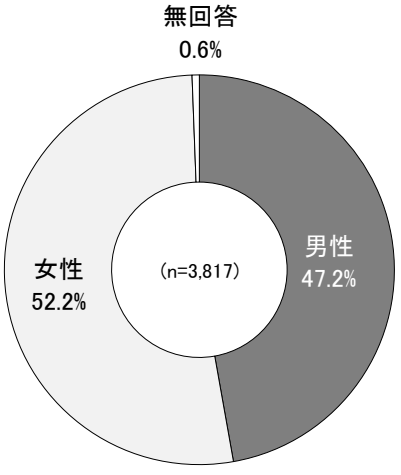
- 進学先選択時の重視点を複数回答で聴取すると、「就職率が高い」が43.8％で最も高い。次いで「学費が安い」（39.1％）、「専門分野についての知識をわかりやすく教えてくれる」（34.8％）と続く。

高校生対象　調査結果

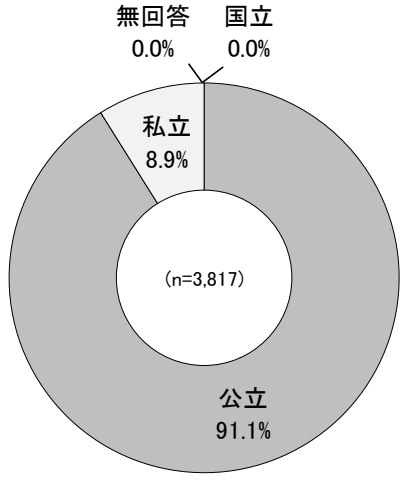
①藍野専門職大学への進学ニーズについて

回答者の属性（性別／高校種別／高校所在地／所属クラス）

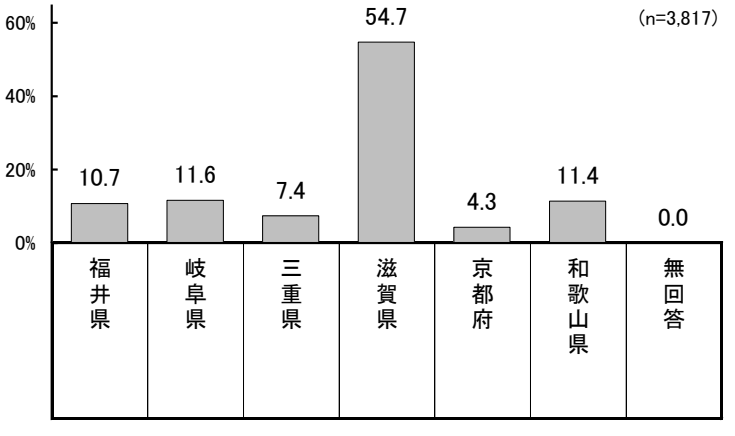
■性別



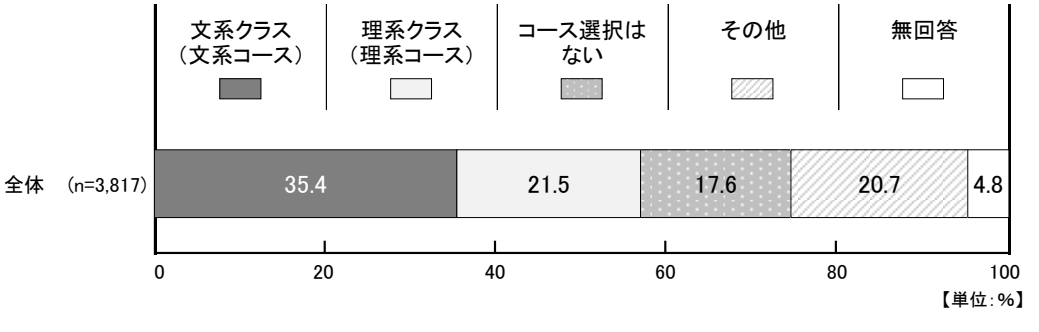
■高校種別



■高校所在地



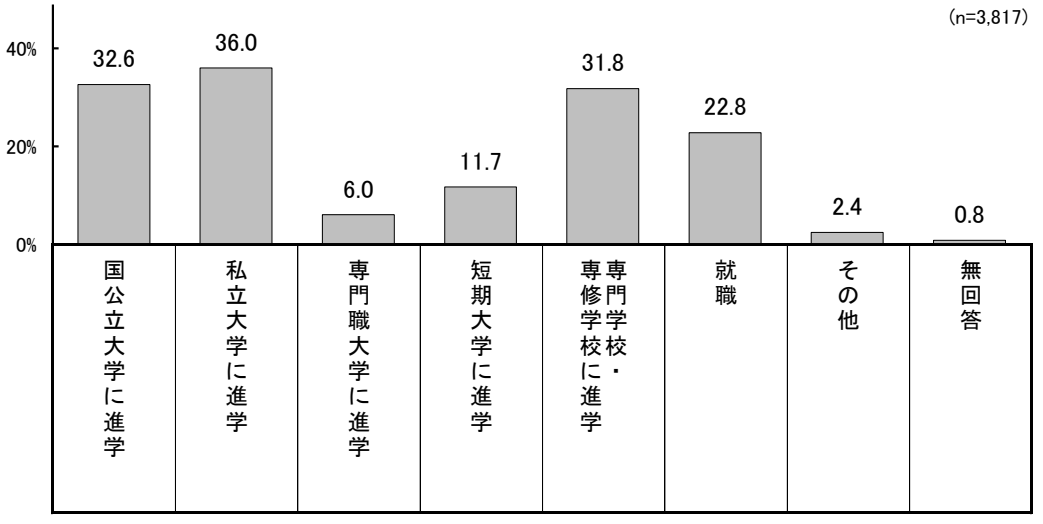
■所属クラス



高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

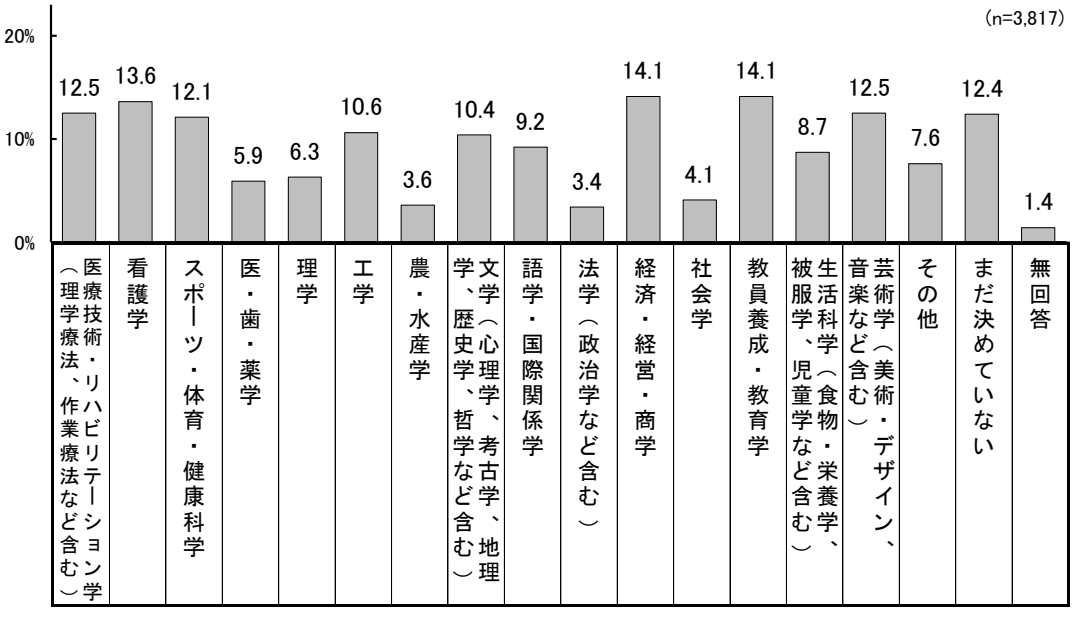
■高校卒業後の希望進路 （複数回答）

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（いくつでも）



■興味のある学問系統 （複数回答）

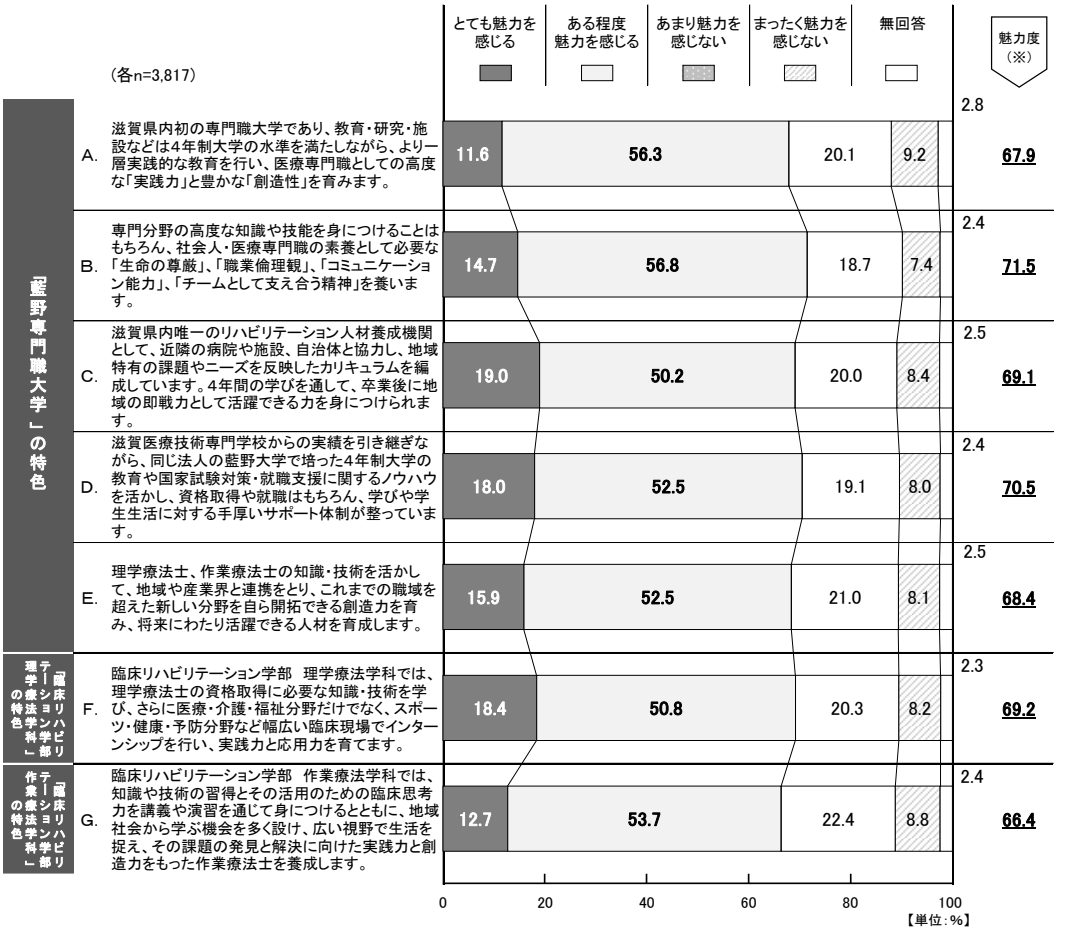
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。（いくつでも）
（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。）



「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度／「藍野専門職大学」への興味度

■「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

Q3.「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

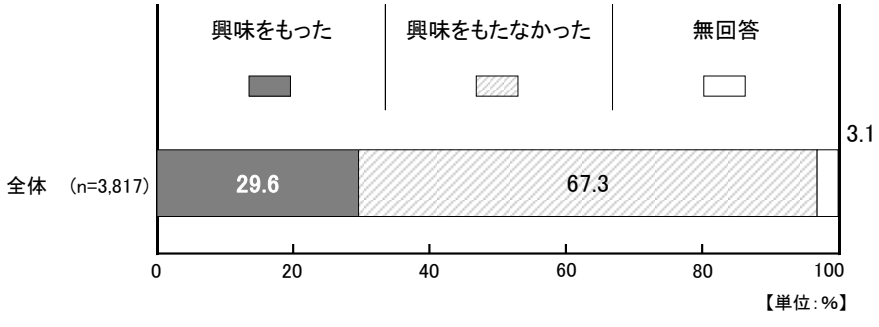


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

■「藍野専門職大学」への興味度

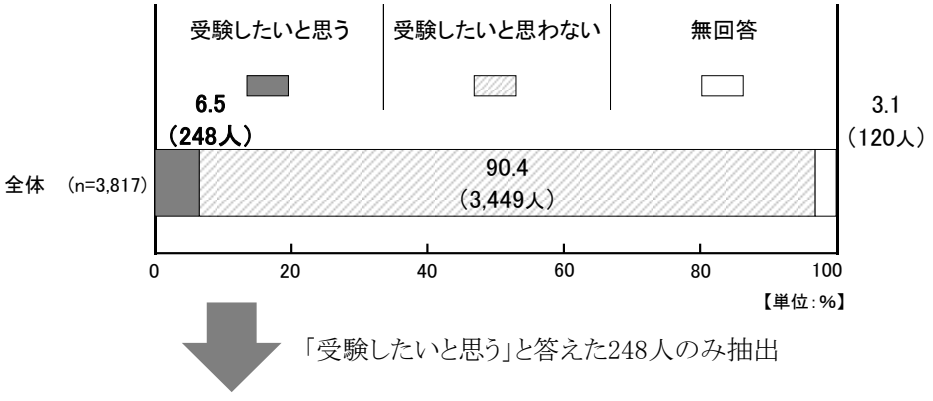
Q4. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）に興味をもちましたか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「藍野専門職大学」への受験意向／入学意向

■「藍野専門職大学」への受験意向

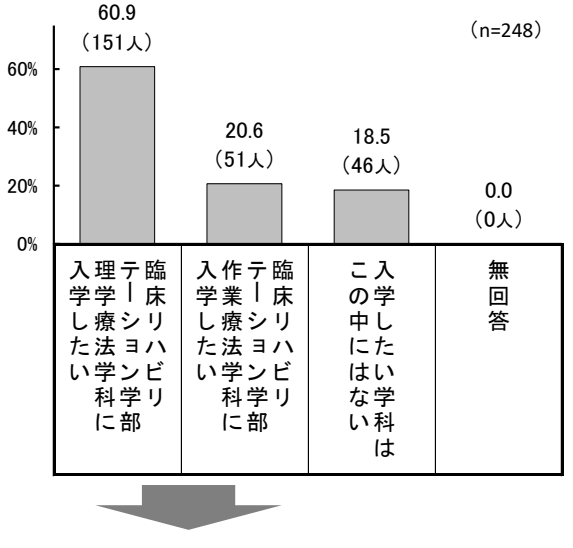
Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた248人のみ抽出

■「藍野専門職大学」への入学意向

Q6. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



■学科ごとの入学意向者における、県別内訳

	標本数	福井県	岐阜県	三重県	滋賀県	京都府	和歌山県	
「藍野専門職大学」を受験したい　かつ「理学療法学科」に入学したい	151	10.6	7.3	3.3	69.5	4.0	5.3	%
		16	11	5	105	6	8	人数
「藍野専門職大学」を受験したい　かつ「作業療法学科」に入学したい	51	15.7	13.7	2.0	54.9	5.9	7.8	%
		8	7	1	28	3	4	人数

参考）全回答者、滋賀県の回答者を母数とした場合の各学科への入学意向率

■参考）全回答者、滋賀県の回答者を母数とした場合の、藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」への受験かつ入学意向率

Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）
Q6. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

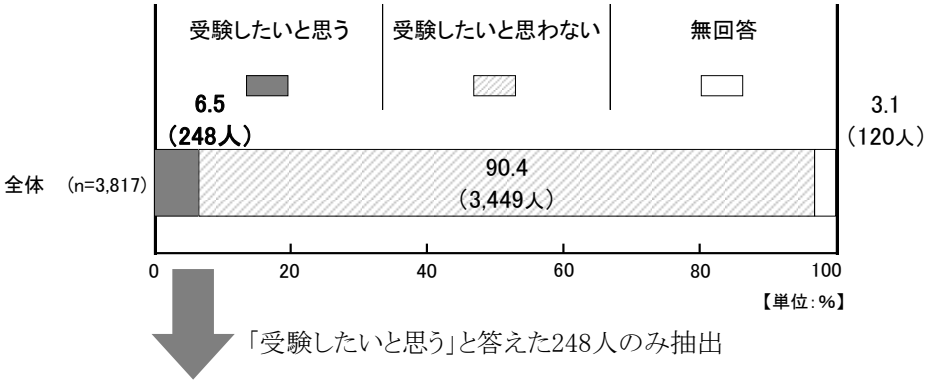
※以下の数表では、回答者全体、および、滋賀県の回答者における
Q5で「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と回答し、かつ、
Q6で「臨床リハビリテーション学部　理学療法学科に入学したい」または
「臨床リハビリテーション学部　作業療法学科に入学したいと回答した人数の割合を示す。

	標本数	藍野専門職大学を受験したいかつ臨床リハビリテーション学部理学療法学科に入学したい	藍野専門職大学を受験したいかつ臨床リハビリテーション学部作業療法学科に入学したい	
全体	3,817	4.0	1.3	%
		151	51	人数
滋賀県	2,089	5.0	1.3	%
		105	28	人数

「藍野専門職大学」への受験意向／「理学療法学科」への入学意向

■「藍野専門職大学」への受験意向

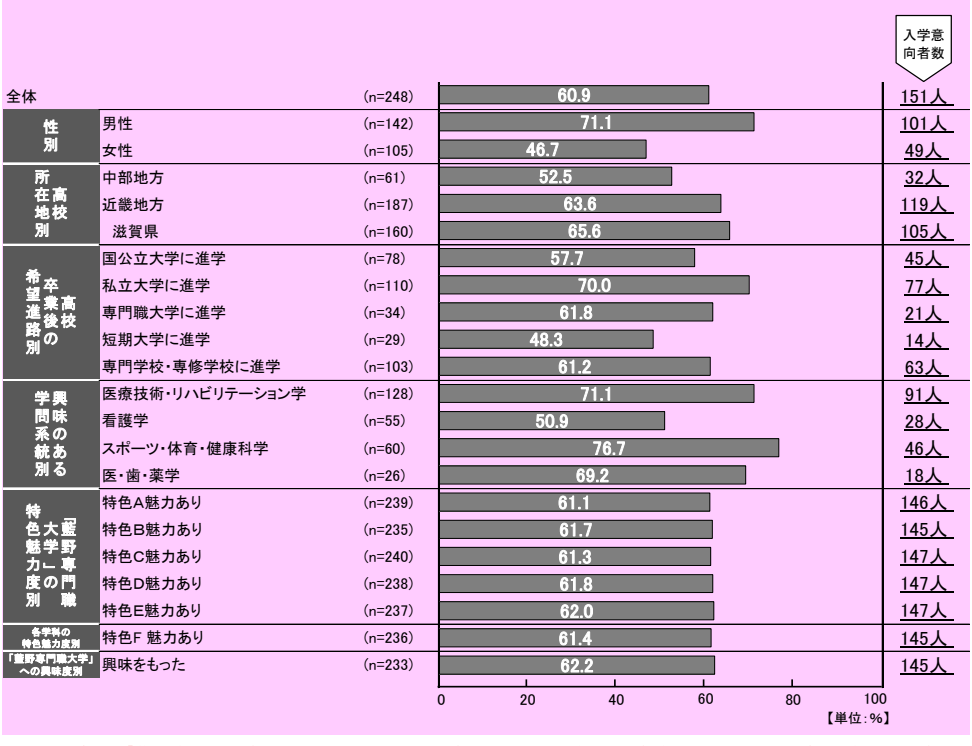
Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



■「理学療法学科」への入学意向

Q6. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

＜属性別＞　※Q5の「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と答えた248人のうち、Q6の「臨床リハビリテーション学部　理学療法学科に入学したい」と答えた人の属性別回答状況

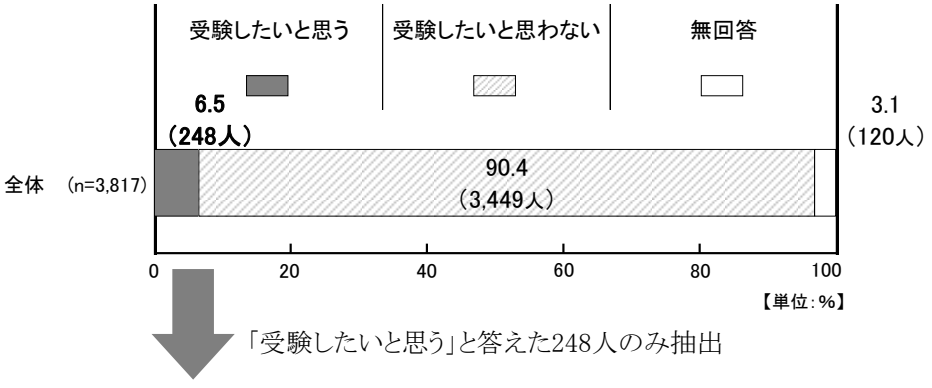


※回答者は、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験意向・入学意向等を回答する前に、専門職大学と大学の違いや、藍野専門職大学の特色、類似の内容が学べる近隣の四年制大学が明記された「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」のリーフレットに目を通している。このことから、回答者は、リーフレット記載の近隣大学や、アンケート回答以前から自身の進学先候補として検討していた大学・専門学校等と「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」を比較検討した上で、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験意向・各学科への入学意向を回答していると考えられる。

「藍野専門職大学」への受験意向／「作業療法学科」への入学意向

■「藍野専門職大学」への受験意向

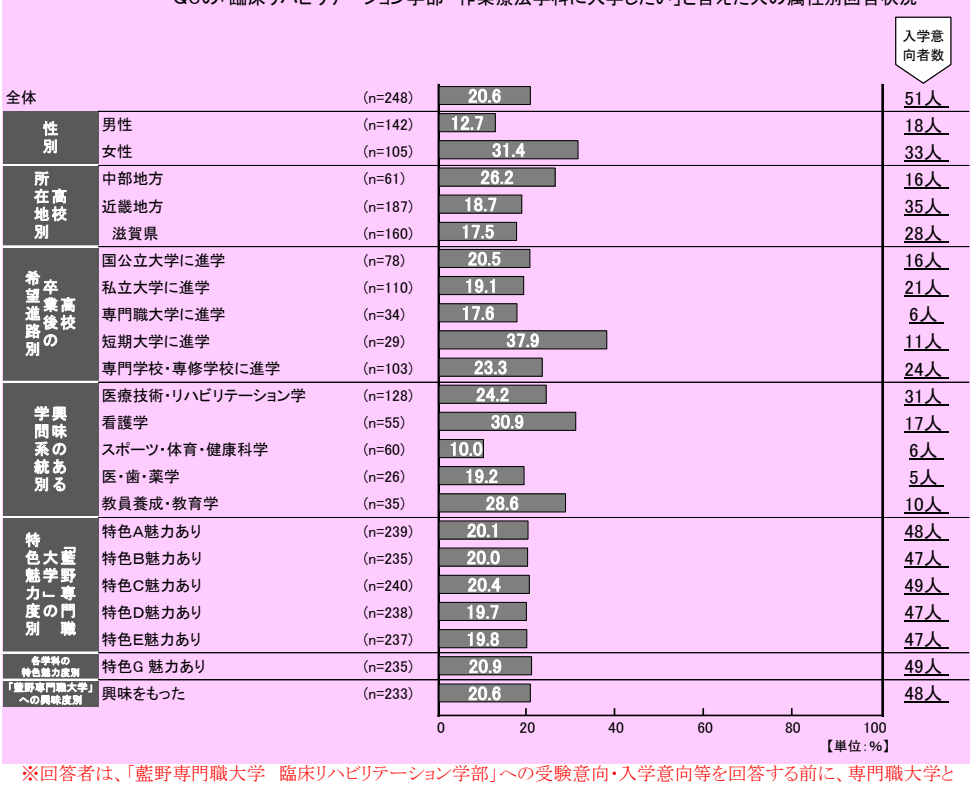
Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



■「作業療法学科」への入学意向

Q6. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

＜属性別＞　※Q5の「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と答えた248人のうち、Q6の「臨床リハビリテーション学部　作業療法学科に入学したい」と答えた人の属性別回答状況



※回答者は、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験意向・入学意向等を回答する前に、専門職大学と大学の違いや、藍野専門職大学の特色、類似の内容が学べる近隣の四年制大学が明記された「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」のリーフレットに目を通している。このことから、回答者は、リーフレット記載の近隣大学や、アンケート回答以前から自身の進学先候補として検討していた大学・専門学校等と「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」を比較検討した上で、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」への受験意向・各学科への入学意向を回答していると考えられる。

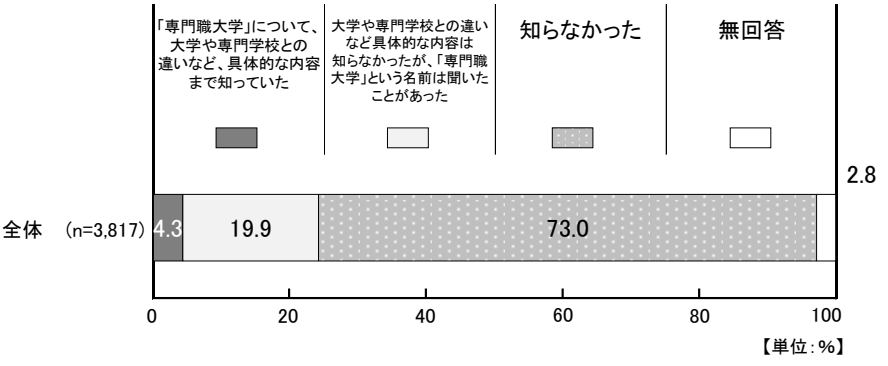
高校生対象　調査結果

②「専門職大学」制度について

「専門職大学」の認知／進学意向

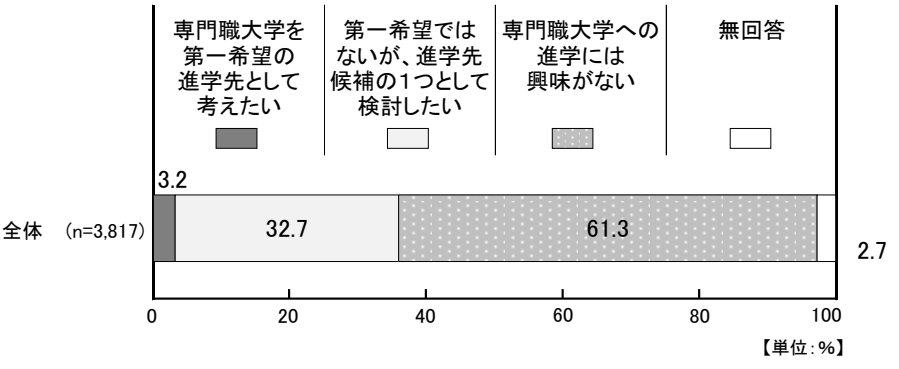
■「専門職大学」の認知

Q8. あなたは、このアンケートに回答する以前は、「専門職大学」という新しい学校制度について知っていましたか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



■「専門職大学」への進学意向

Q9. 現時点で、あなたは、「専門職大学」に進学することにどの程度興味がありますか。
現在のあなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「専門職大学」の認知／進学意向

■参考)「専門職大学」への進学意向別
藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部
「理学療法学科」「作業療法学科」への受験かつ入学意向率

Q5. あなたは、「藍野専門職大学」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)
Q6. あなたは、「藍野専門職大学」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

※以下の数表では、回答者全体、および、「専門職大学」への進学意向別における
Q5で「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と回答し、かつ、
Q6で「臨床リハビリテーション学部　理学療法学科に入学したい」または
「臨床リハビリテーション学部　作業療法学科に入学したいと回答した人数の割合を示す。

		標本数	藍野専門職大学を受験したいかつ臨床リハビリテーション学部理学療法学科に入学したい	藍野専門職大学を受験したいかつ臨床リハビリテーション学部作業療法学科に入学したい	
全体		3,817	4.0	1.3	%
			151	51	人数
「専門職大学」への進学意向別	進学に興味あり	1,373	9.8	3.4	%
			134	46	人数
	専門職大学を第一希望	124	22.6	6.5	%
			28	8	人数
	進学先候補の1つ	1,249	8.5	3.0	%
			106	38	人数

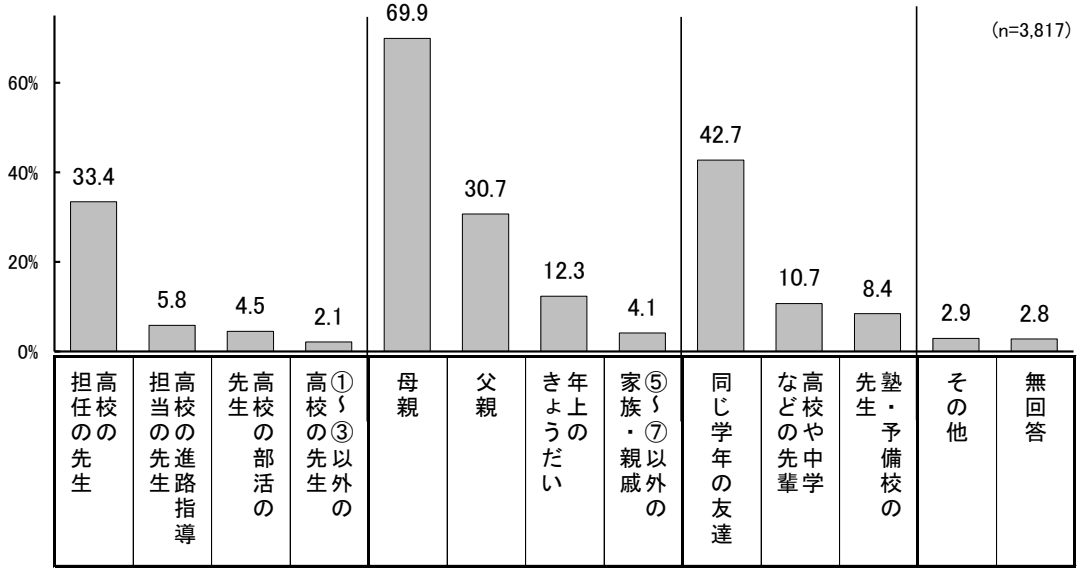
高校生対象　調査結果

③進路選択行動・意識について

進路相談相手

■進路相談相手

Q10.あなたは、高校卒業後の進路について考えたり悩んだりしたとき、誰に相談することが多いですか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

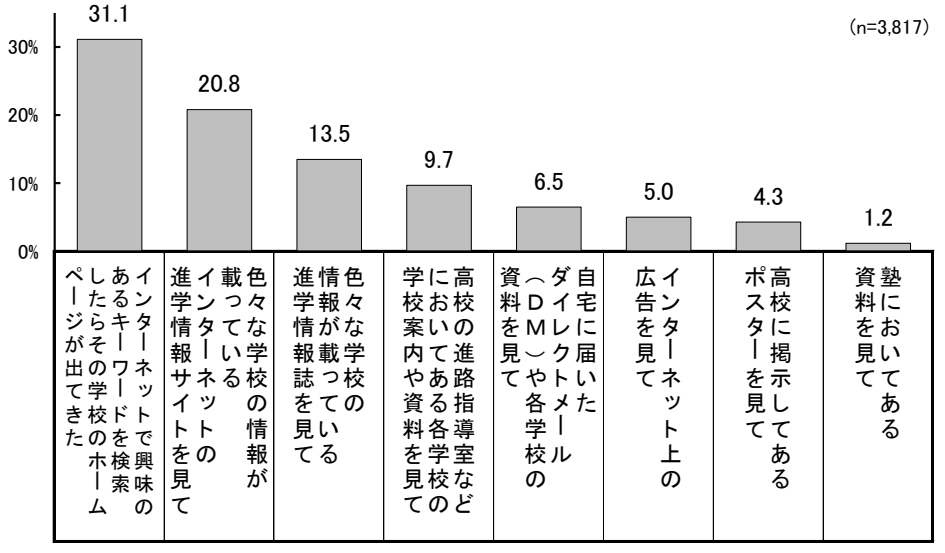


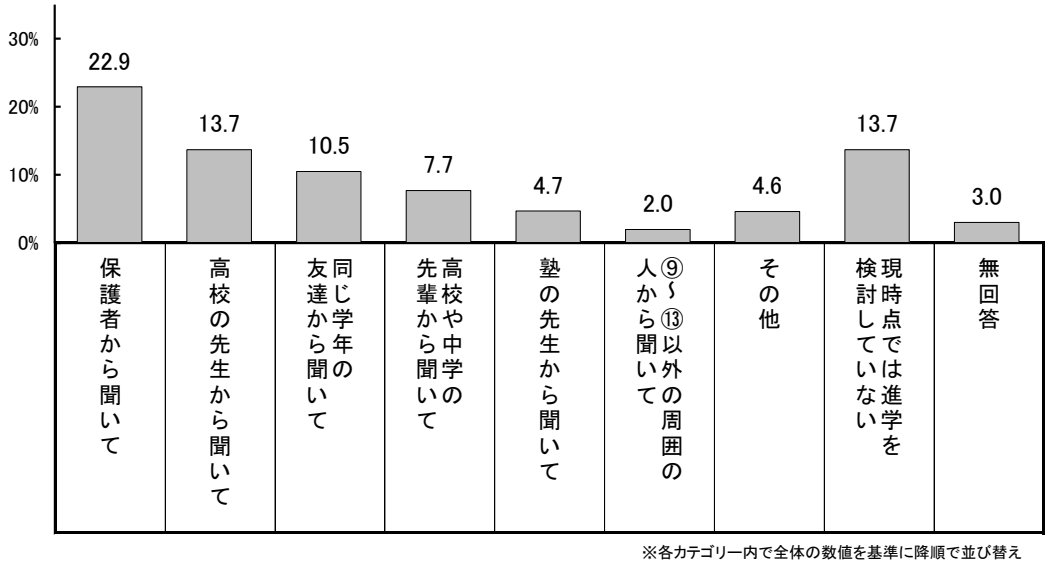
※各カテゴリー内でソート

進学先候補の学校を知ったきっかけ

■進学先候補の学校を知ったきっかけ

Q11.あなたが現在進学を検討している学校を知ったきっかけはなんですか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



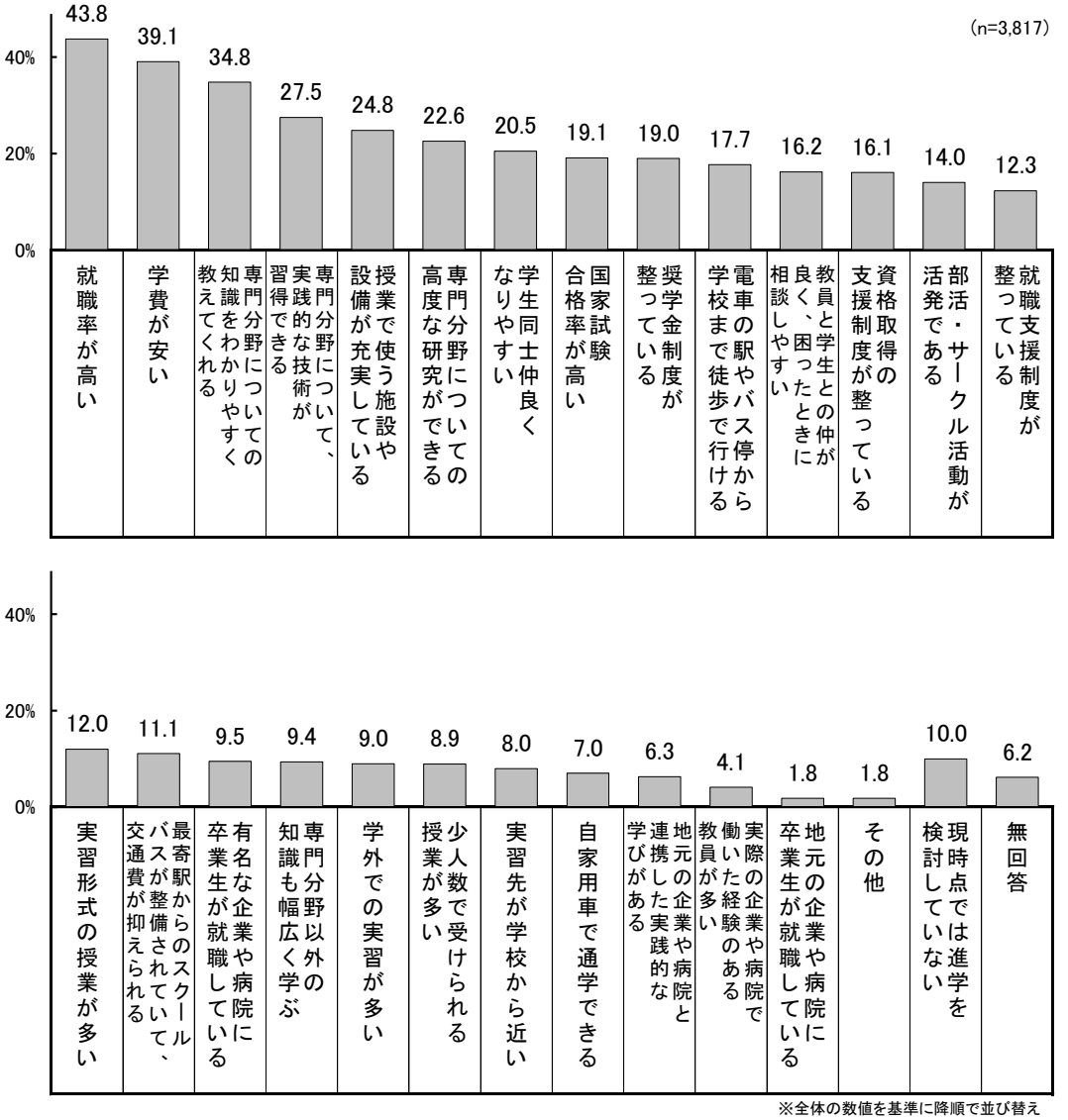


※各カテゴリー内で全体の数値を基準に降順で並び替え

進学先選択時の重視点

■進学先選択時の重視点

Q12.あなたは、進学先候補の学校を選ぶ際、どのような点を重視して選ぼうと思いますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



※全体の数値を基準に降順で並び替え

巻末資料

・調査票

調査票

藍野専門職大学（仮称、設置構想中）に関するアンケート

学校法人 藍野大学では、2020年4月に、「藍野専門職大学」（仮称）を新設することを構想しています。
このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、藍野専門職大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入要領

1. 回答は、**あてはまる番号 に「○」印**をつけてください。
2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
3. 記入は、必ず**鉛筆又はシャープペンシル**で濃く書いてください。
4. 下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。
   特に、**「○」印は、番号丸枠からはみ出さないように**つけてください。

ここに○印をつけてください
○ 医療技術

ID 10

良い記入例	悪い記入例			
○ 医療技術	9 医療技術	① 医療技術	0 医療技術	① 医療技術
② 看護学	② 看護学	② 看護学	② 看護学	② 看護学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別（1つに○）	① 男性　② 女性	学年（1つに○）	① 1年生　② 2年生　③ 3年生
在籍している高校名	高校所在地［　　］都・道・府・県 ① 国立　② 公立（府立/県立/市立）　③ 私立（←1つに○）［　　］高等学校		
所属クラス（1つに○）	① 文系クラス（文系コース）　③ コース選択はない ② 理系クラス（理系コース）　④ その他（具体的に：　　）		

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（いくつでも）

① 国公立大学に進学
② 私立大学に進学
③ 専門職大学に進学
④ 短期大学に進学
⑤ 専門学校・専修学校に進学
⑥ 就職
⑦ その他（　　）

Q2 あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。（いくつでも）
（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。）

① 医療技術・リハビリテーション学（理学療法、作業療法など含む）
② 看護学
③ スポーツ・体育・健康科学
④ 医・歯・薬学
⑤ 理学
⑥ 工学
⑦ 農・水産学
⑧ 文学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む）
⑨ 語学・国際関係学
⑩ 法学（政治学など含む）
⑪ 経済・経営・商学
⑫ 社会学
⑬ 教員養成・教育学
⑭ 生活科学（食物・栄養学、被服学、児童学など含む）
⑮ 芸術学（美術・デザイン、音楽など含む）
⑯ その他（　　）
⑰ まだ決めていない

調査票

◆「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）についてお聞きします。

学校法人 藍野大学では、2020年4月に、「藍野専門職大学」（仮称）を新設することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q 3 「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

			とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
例.	○○である。		①	○	③	④
A.	滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。	→	①	②	③	④
B.	専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。	→	①	②	③	④
C.	滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。	→	①	②	③	④
D.	滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。	→	①	②	③	④
E.	理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。	→	①	②	③	④
F.	臨床リハビリテーション学部 理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。	→	①	②	③	④
G.	臨床リハビリテーション学部 作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。	→	①	②	③	④

Q 4 あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）に興味をもちましたか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

① 興味をもった　② 興味をもたなかった

Q 5 あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

① 受験したいと思う　② 受験したいと思わない

Q 6 あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

① 臨床リハビリテーション学部 理学療法学科に入学したい
② 臨床リハビリテーション学部 作業療法学科に入学したい
③ 入学したい学科はこの中にはない

調査票

Q7 「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）について、もっと知りたい情報があれば、
どのようなことでもかまいませんので、ご自由にお書きください。

◆「専門職大学」という新しい学校制度についてお聞きします。

Q8 あなたは、このアンケートに回答する以前は、「専門職大学」という新しい学校制度について知っていましたか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

① 「専門職大学」について、大学や専門学校との違いなど、具体的な内容まで知っていた
② 大学や専門学校との違いなど具体的な内容は知らなかったが、「専門職大学」という名前は聞いたことがあった
③ 知らなかった

Q9 現時点で、あなたは、「専門職大学」に進学することにどの程度興味がありますか。
現在のあなたの気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

① 専門職大学を第一希望の進学先として考えたい
② 第一希望ではないが、進学先候補の1つとして検討したい
③ 専門職大学への進学には興味がない

◆あなた自身の進路選択についてお聞きします。

Q10 あなたは、高校卒業後の進路について考えたり悩んだりしたとき、誰に相談することが多いですか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（いくつでも）

① 高校の担任の先生
② 高校の進路指導担当の先生
③ 高校の部活の先生
④ ①～③以外の高校の先生
⑤ 父親
⑥ 母親
⑦ 年上のきょうだい
⑧ ⑤～⑦以外の家族・親戚
⑨ 高校や中学などの先輩
⑩ 同じ学年の友達
⑪ 塾・予備校の先生
⑫ その他
（具体的に：　　）

Q11 あなたが現在進学を検討している学校を知ったきっかけはなんですか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（いくつでも）

① インターネットで興味のあるキーワードを検索したら
その学校のホームページが出てきた
② 色々な学校の情報が載っている
インターネットの進学情報サイトを見て
③ インターネット上の広告を見て
④ 色々な学校の情報が載っている進学情報誌を見て
⑤ 自宅に届いたダイレクトメール（DM）や各学校の資料を見て
⑥ 高校の進路指導室などにおいてある各学校の
学校案内や資料を見て
⑦ 高校に掲示してあるポスターを見て
⑧ 塾においてある資料を見て
⑨ 高校の先生から聞いて
⑩ 保護者から聞いて
⑪ 塾の先生から聞いて
⑫ 高校や中学の先輩から聞いて
⑬ 同じ学年の友達から聞いて
⑭ ⑨～⑬以外の周囲の人から聞いて
（具体的に：　　）
⑮ その他
（具体的に：　　）
⑯ 現時点では進学を検討していない

調査票

Q12 あなたは、進学先候補の学校を選ぶ際、どのような点を重視して選ぼうと思いますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

① 専門分野についての高度な研究ができる
② 専門分野についての知識をわかりやすく教えてくれる
③ 学外での実習が多い
④ 少人数で受けられる授業が多い
⑤ 地元の企業や病院と連携した実践的な学びがある
⑥ 教員と学生との仲が良く、困ったときに相談しやすい
⑦ 就職率が高い
⑧ 有名な企業や病院に卒業生が就職している
⑨ 国家試験合格率が高い
⑩ 学生同士仲良くなりやすい
⑪ 学費が安い
⑫ 自家用車で通学できる
⑬ 最寄駅からのスクールバスが整備されていて、交通費が抑えられる
⑭ 専門分野について、実践的な技術が習得できる
⑮ 専門分野以外の知識も幅広く学ぶ
⑯ 実習形式の授業が多い
⑰ 授業で使う施設や設備が充実している
⑱ 実習先が学校から近い
⑲ 実際の企業や病院で働いた経験のある教員が多い
⑳ 就職支援制度が整っている
㉑ 地元の企業や病院に卒業生が就職している
㉒ 資格取得の支援制度が整っている
㉓ 部活・サークル活動が活発である
㉔ 奨学金制度が整っている
㉕ 電車の駅やバス停から学校まで徒歩で行ける
㉖ その他
(具体的に:)
㉗ 現時点では進学を検討していない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ***

資　　料　　２　－　２

資料２－２

「藍野専門職大学」（仮称）
設置に関するニーズ調査
結果報告書

【施設等職員対象調査】

平成30年９月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

施設等職員対象　調査概要

1. 調査目的

2020年4月開設予定の「藍野専門職大学」設置構想に関して、施設等職員からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		施設等職員対象調査
調査対象		施設等職員
調査エリア		滋賀県、京都府、兵庫県
調査方法		郵送にて配布・回収
調査対象数	依頼数	47施設　959枚
	回収数 ＜回収率＞	622人　＜64.9％＞
調査時期		2018年7月2日（月）～2018年8月22日（月）
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

社会人対象調査
・性別 ・年代 ・勤務地 ・現在の職種 ・最終学歴 ・「学びなおし」への関心 ・「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度 ・「藍野専門職大学」への受験意向 ・「藍野専門職大学」への入学意向

施設等職員対象　調査結果まとめ

施設等職員対象　調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」に対する社会人からの進学需要を確認するための調査として設計し、藍野専門職大学の主な学生募集エリアである滋賀県、京都府を中心とした近畿エリアの病院・施設等職員に調査を実施した。

- 本調査の回答者は622人。
- 回答者の性別は「男性」が33.1%、「女性」が65.9%。
- 回答者の年代は「30代」の30.5%が最も多く、次いで「20代」が25.9%、「40代」が22.7%と続く。
- 回答者の勤務地は、藍野専門職大学の所在地となる「滋賀県」が87.5%で最も多い。
- 回答者の職種は「介護福祉士」が26.2%と最も多く、次いで「介護職員」が25.1%と続く。
- 回答者の最終学歴は「四年制大学」が29.9%と最も多く、次いで「高等学校」が22.5%、「専門学校」が22.0%と多い。

「学びなおし」への関心

- 回答者で学びなおしに「関心がある」と答えた人は、59.2%である。

施設等職員対象　調査結果まとめ

「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

- 「藍野専門職大学」の特色（A～E）に対する魅力度（※）は、全ての項目で8割を超える。
- 「藍野専門職大学」の特色の中で、最も魅力度が高いのは、「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」の90.5％で、「とても魅力を感じる」の割合も5割を超える。

  次に、「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」が魅力度90.2％で続く。

- 「理学療法学科」の特色である「F. 臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。」に対する魅力度は87.8％である。
- 「作業療法学科」の特色である「G. 臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に対する魅力度は86.8％である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値＝数表中の「魅力を感じる・計」の値

施設等職員対象　調査結果まとめ

「藍野専門職大学」への受験意向

- 「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と答えた人は、37.0％（**230人**）である。

「理学療法学科」への入学意向

- 「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と答えた230人のうち、「臨床リハビリテーション学部　理学療法学科に入学したい」と入学意向を示した人は、60.4％（**139人**）であり、予定している入学定員80人を上回る入学意向者数がみられた。

以下は属性別の結果である。

◇年代別

- 「30代」の「理学療法学科」への入学意向は70.5％（78人中、**55人**）と、他の年代に比べて高い。

◇勤務地別

- 藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」勤務者からの入学意向は58.9％（207人中、**122人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇現在の職種別

- 現在の職種を「作業療法士」と答えた回答者からの入学意向は88.9％（9人中、**8人**）みられた。

◇最終学歴別

- 最終学歴を「短期大学」と答えた回答者からの入学意向は71.7％（46人中、**33人**）、「専門学校」と答えた回答者からの入学意向は60.0％（50人中、**30人**）、「高等学校」と答えた回答者からの入学意向は53.6％（56人中、**30人**）である。

施設等職員対象　調査結果まとめ

◇「学びなおし」への関心別

学びなおしに「関心がある」と答えた回答者からの入学意向は60.9％（184人中、112人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇「藍野専門職大学」の特色に対する魅力別

- 「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」に魅力を感じている回答者の入学意向は60.8％（227人中、138人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」に魅力を感じている回答者の入学意向は60.2％（221人中、133人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」に魅力を感じている回答者の入学意向は60.7％（224人中、136人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」に魅力を感じている回答者の入学意向は60.8％（217人中、132人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「E. 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。」に魅力を感じている回答者の入学意向は60.7％（214人中、130人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

施設等職員対象　調査結果まとめ

◇「理学療法学科」の特色に対する魅力別

- 「F. 臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。」に魅力を感じている回答者の入学意向は61.1％（221人中、**135人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

施設等職員対象　調査結果まとめ

「作業療法学科」への入学意向

- 「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」と答えた230人のうち、「臨床リハビリテーション学部　作業療法学科に入学したい」と入学意向を示した人は、30.0％（**69人**）であり、予定している入学定員40人を上回る入学意向者数がみられた。

以下は属性別の結果である。

◇勤務地別

- 藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」勤務者からの入学意向は30.9％（207人中、**64人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

◇現在の職種別

- 現在の職種を「教員」と答えた回答者からの入学意向は52.0％（25人中、**13人**）みられた。

◇最終学歴別

- 最終学歴を「高等学校」と答えた回答者からの入学意向は41.1％（56人中、**23人**）みられた。

◇「学びなおし」への関心別

- 学びなおしに「関心がある」と答えた回答者の入学意向は29.9％（184人中、**55人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

施設等職員対象　調査結果まとめ

◇「藍野専門職大学」の特色に対する魅力別

- 「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」に魅力を感じている回答者の入学意向は30.0％（227人中、**68人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」に魅力を感じている回答者の入学意向は30.8％（221人中、**68人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」に魅力を感じている回答者の入学意向は29.9％（224人中、**67人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」に魅力を感じている回答者の入学意向は30.0％（217人中、**65人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

- 「E. 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。」に魅力を感じている回答者の入学意向は30.4％（214人中、**65人**）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

施設等職員対象　調査結果まとめ

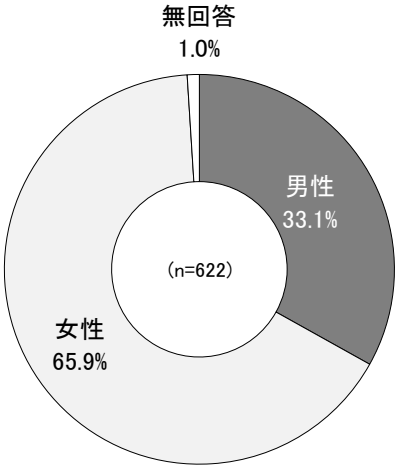
◇「作業療法学科」の特色に対する魅力別

- 「G. 臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に魅力を感じている回答者の入学意向は31.0%（216人中、67人）と、予定している入学定員数を上回る入学意向者数がみられた。

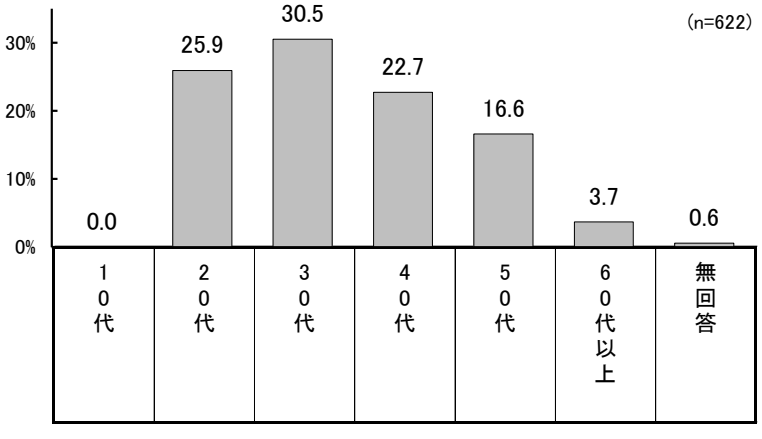
施設等職員対象　調査結果

回答者の属性（性別／年代／勤務地）

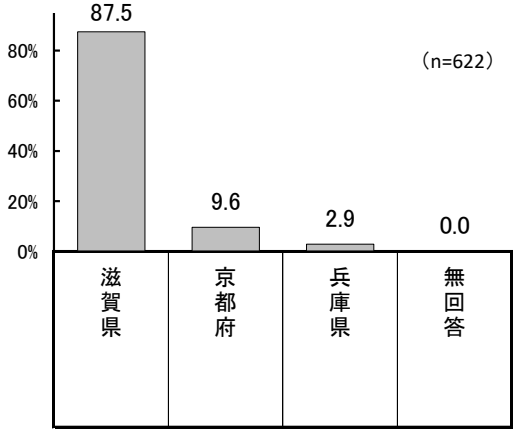
■性別



■年代

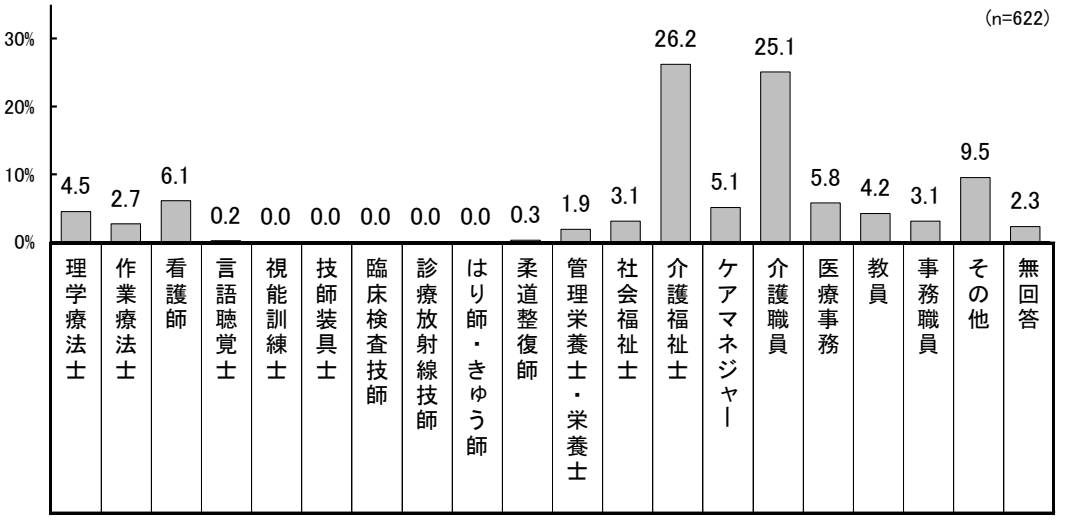


■勤務地

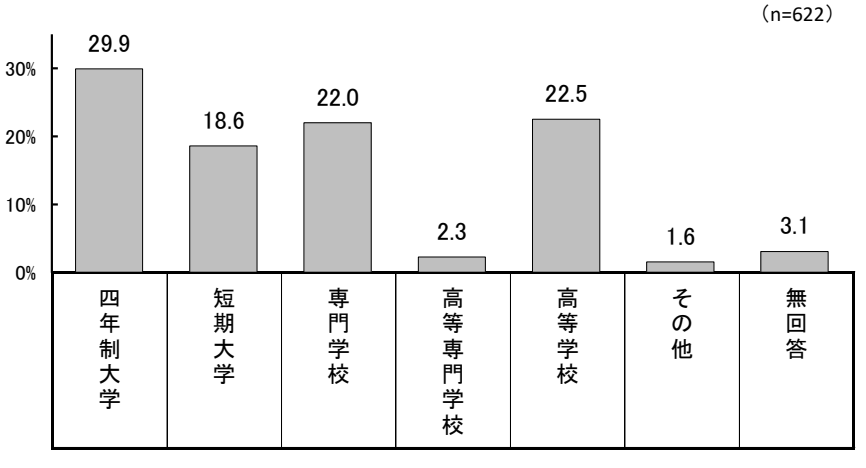


現在の職種／最終学歴

■現在の職種



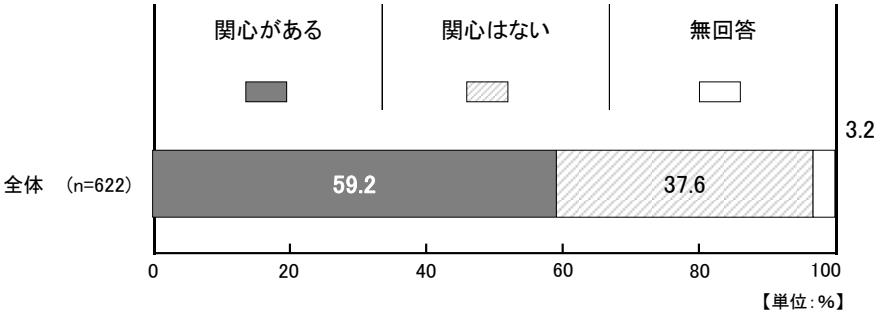
■最終学歴



「学びなおし」への関心

■「学びなおし」への関心

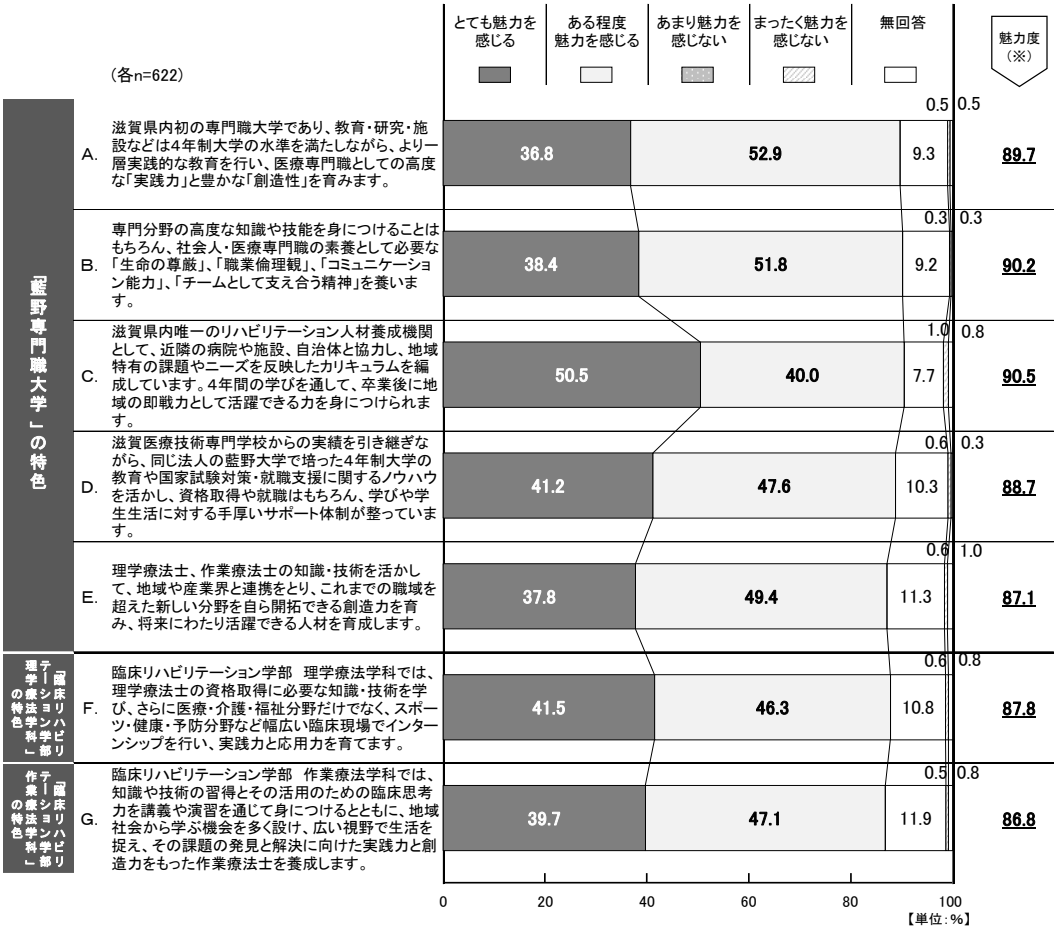
Q2. あなたは、資格取得や専門知識・スキルアップのために、大学や専門学校等に入学し、
「学びなおし」することに関心がありますか。（あてはまる番号1つに○）



「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

■「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

Q3.「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



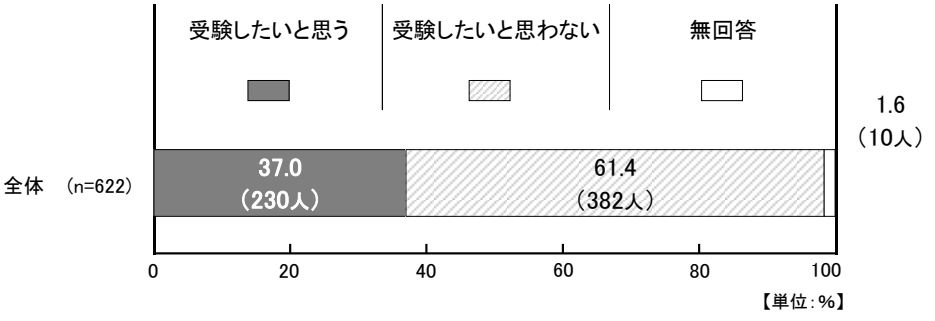
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「藍野専門職大学」への受験意向／入学意向

■「藍野専門職大学」への受験意向

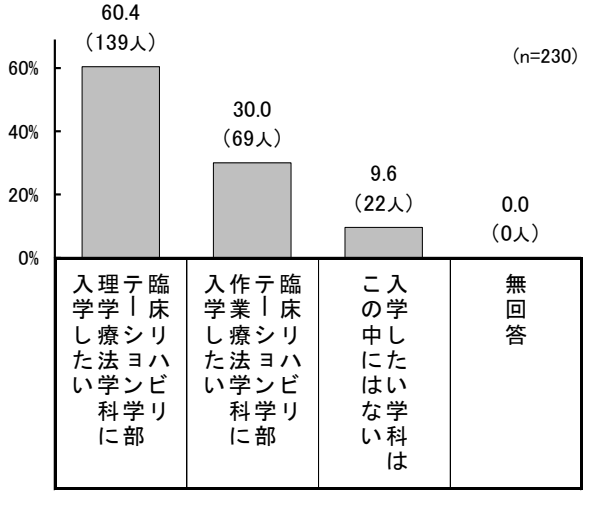
Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験したいと思いますか。
あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた230人のみ抽出

■「藍野専門職大学」への入学意向

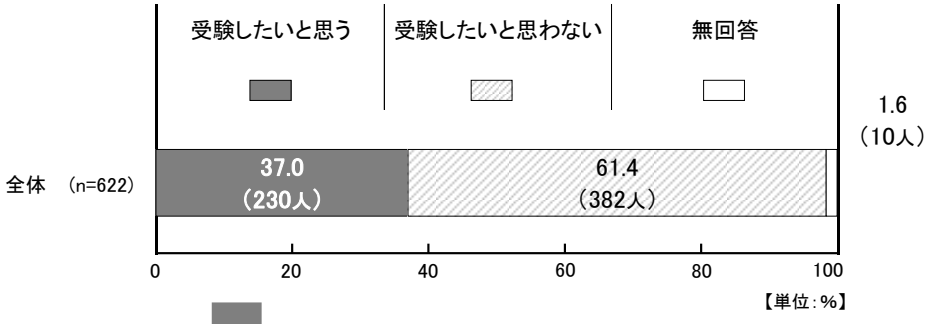
Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「藍野専門職大学」への受験意向／「理学療法学科」への入学意向

■「藍野専門職大学」への受験意向

Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験したいと思いますか。
あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた230人のみ抽出

■「理学療法学科」への入学意向

Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

＜属性別＞ ※Q4の「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」
かつ、Q5の「臨床リハビリテーション学部　理学療法学科に入学したい」と答えた139人の回答

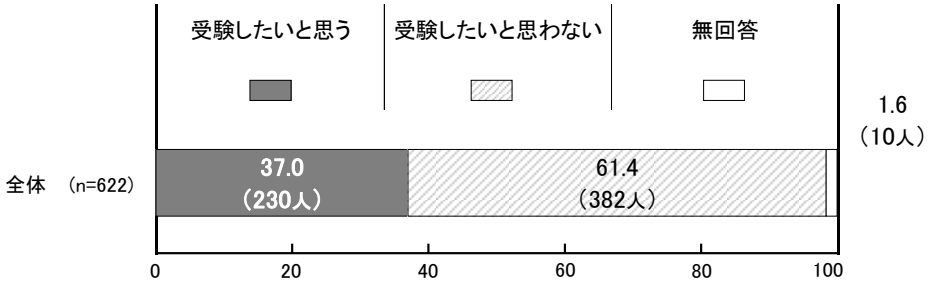
				入学意向者数
全体		(n=230)	60.4	139人
年代	20代	(n=62)	56.5	35人
	30代	(n=78)	70.5	55人
	40代	(n=45)	55.6	25人
	50代以上	(n=44)	54.5	24人
勤務地別	滋賀県	(n=207)	58.9	122人
	京都府	(n=18)	66.7	12人
現在の職種別	作業療法士	(n=9)	88.9	8人
	看護師	(n=12)	66.7	8人
	介護福祉士	(n=47)	61.7	29人
	ケアマネジャー	(n=15)	66.7	10人
最終学歴別	四年制大学	(n=69)	59.4	41人
	短期大学	(n=46)	71.7	33人
	専門学校	(n=50)	60.0	30人
	高等学校	(n=56)	53.6	30人
「学びなおし」への関心別	関心がある	(n=184)	60.9	112人
	関心はない	(n=42)	57.1	24人
藍野大学―専門職の特色魅力度別	特色A魅力あり	(n=227)	60.8	138人
	特色B魅力あり	(n=221)	60.2	133人
	特色C魅力あり	(n=224)	60.7	136人
	特色D魅力あり	(n=217)	60.8	132人
	特色E魅力あり	(n=214)	60.7	130人
各学科の特色魅力度別	特色F魅力あり	(n=221)	61.1	135人

0　20　40　60　80　100
【単位：%】

「藍野専門職大学」への受験意向／「作業療法学科」への入学意向

■「藍野専門職大学」への受験意向

Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験したいと思いますか。
あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

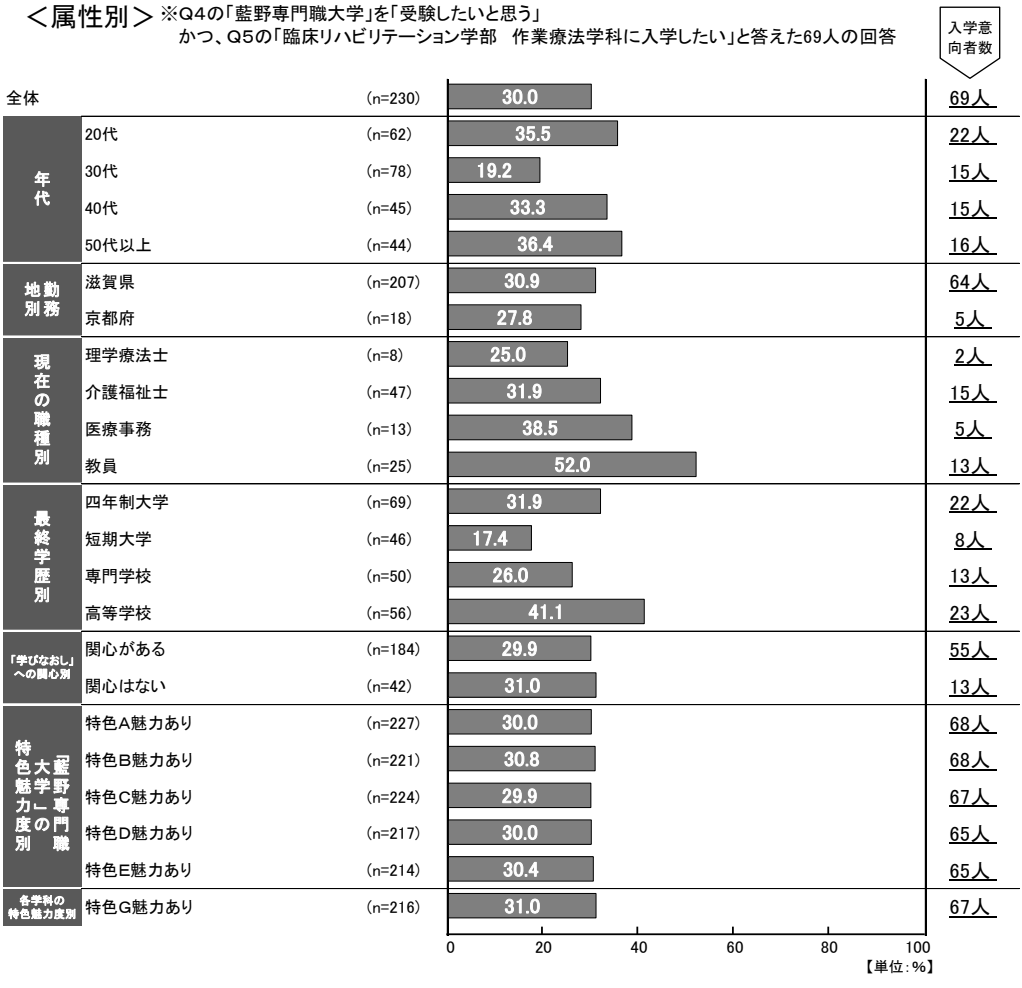


「受験したいと思う」と答えた230人のみ抽出

■「作業療法学科」への入学意向

Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

＜属性別＞ ※Q4の「藍野専門職大学」を「受験したいと思う」
かつ、Q5の「臨床リハビリテーション学部　作業療法学科に入学したい」と答えた69人の回答



巻末資料

・調査票

調査票

※こちらのアンケートは、貴施設の【職員の方】にご回答いただきますようお願いいたします。

各 位

『藍野専門職大学』(仮称、設置構想中)に関するアンケート

学校法人 藍野大学では、2020年4月に、現在の滋賀医療技術専門学校を改組・転換し、四年制の専門職大学である「藍野専門職大学」(仮称)を設置することを構想しています。
そこで、病院や医療・介護施設等に勤務されている皆様にアンケート調査を実施させていただき、構想中の「藍野専門職大学」(仮称)の内容をより充実したものにするための参考とさせていただきたいと考えております。
なお、この調査は無記名で行い、皆様の個人情報をお守りすることをお約束します。
ぜひ皆様の率直なご意見をお聞かせいただきますようアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「藍野専門職大学」(仮称、設置構想中)に関する内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。

Q1. はじめに、あなたご自身についてお答えください。

※回答から個人を特定することは一切ありません。

性別 (1つに○)	1. 男性　2. 女性
年代 (1つに○)	1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代　5. 50代　6. 60代以上
勤務地	(　　) 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県
現在の職種 (1つに○)	1. 理学療法士　7. 臨床検査技師　13. 介護福祉士 2. 作業療法士　8. 診療放射線技師　14. ケアマネジャー 3. 看護師　9. はり師・きゅう師　15. 介護職員 4. 言語聴覚士　10. 柔道整復師　16. 医療事務 5. 視能訓練士　11. 管理栄養士・栄養士　17. その他(　　) 6. 技師装具士　12. 社会福祉士
最後に卒業した学校 (1つに○)	1. 四年制大学　3. 専門学校　5. 高等学校 2. 短期大学　4. 高等専門学校　6. その他(　　)

Q2. あなたは、資格取得や専門知識・スキルアップのために、大学や専門学校等に入学し、「学びなおし」することに関心がありますか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 関心がある
2. 関心はない

次のページへ続く→

調査票

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

◆「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）についてお聞きします。

学校法人 藍野大学では、2020年4月に、現在の滋賀医療技術専門学校を改組・転換し、
四年制の専門職大学である「藍野専門職大学」（仮称）を設置することを構想しています。

Q3. 「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
回答方法例）A～Fそれぞれの特色について、あてはまる番号1つに○	→	(1)	2	3	4
A 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。	→	1	2	3	4
B 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。。	→	1	2	3	4
C 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。	→	1	2	3	4
D 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。	→	1	2	3	4
E 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。	→	1	2	3	4
F 臨床リハビリテーション学部 理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。	→	1	2	3	4
G 臨床リハビリテーション学部 作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。	→	1	2	3	4

Q4. あなたは、Q3のような特色をもつ「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験したいと思いますか。
あなたのお気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

1. 受験したいと思う
2. 受験したいと思わない

Q5. あなたは、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）を受験して合格したら、
どの学科に入学したいと思いますか。
あなたのお気持ちに一番近い番号1つに○をつけてください。（1つだけ）

1. 臨床リハビリテーション学部 理学療法学科に入学したい
2. 臨床リハビリテーション学部 作業療法学科に入学したい
3. 入学したい学科はこの中にはない

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

資　　料　　２　－　３

「藍野専門職大学」（仮称）
設置に関するニーズ調査
結果報告書

【病院・施設採用担当者対象調査】

平成30年９月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

病院・施設対象　調査概要

1. 調査目的

2020年4月開設予定の「藍野専門職大学」設置構想に関して、病院・施設等からの採用ニーズを把握する。

2. 調査概要

		病院・施設対象調査
調査対象		病院・施設の採用担当者
調査エリア		千葉県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、徳島県、愛媛県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	218病院・施設
	回収数(回収率)	119病院・施設 (54.6%)
調査時期		2018年7月2日(月)～2018年8月22日(水)
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

病院・施設 対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・主な業種 ・従業員数 ・各職種の従業員数 ・各職種の充足状況 ・「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度 ・「臨床リハビリテーション学部」の社会的必要性 ・「臨床リハビリテーション学部」卒業生に対する採用意向 ・「臨床リハビリテーション学部」卒業生の毎年の採用想定人数 ・従業員で各資格を取得したいと考えている人数 ・「臨床リハビリテーション学部」の進学推奨度

※調査実施時点では、学部名を「臨床リハビリテーション学部」とすることを検討していたため、本報告書内でも学部名は「臨床リハビリテーション学部」と記載している。
調査対象者に対しては、名称や内容は構想中のものであり、変更の可能性があることを明記した上で、(仮称)と表記して調査を行っており、また、学部名称の変更も「臨床リハビリテーション学部」から「リハビリテーション学部」と、学部名から想起される学問内容や職業イメージが大幅に変動するものではないことから、「リハビリテーション学部」の調査結果としての読み替えは可能と考える。

病院・施設対象　調査結果まとめ

病院・施設対象　調査結果まとめ

回答病院・施設（回答者）の属性

※本調査は、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」に対する人材需要を確認するための調査として設計し、「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」の卒業生就職先として想定される病院・施設の人事採用業務担当者を対象に調査を実施し、119病院・施設から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は34.5%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が43.7%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答病院・施設の本社所在地は、藍野専門職大学の所在地となる「滋賀県」が52.1%と最も多い。次いで「京都府」が27.7%、「大阪府」が5.9%である。
- 回答病院・施設の業種としては「病院」が39.5%と最も多く、次いで「診療所・クリニック」が33.6%、「社会福祉・介護事業」が26.1%と続く。
- 回答病院・施設の従業員数（正規社員）は、「100名～500名未満」が37.8%で最も多い。次いで「50名未満」が32.8%、「50名～100名未満」が16.0%である。
- 回答病院・施設の「理学療法士」の従業員数（正規社員）は、「1～4名」が29.4%で最も多い。次いで「20名以上」が25.2%、「5～9名」が19.3%である。
- 回答病院・施設の「作業療法士」の従業員数（正規社員）は、「1～4名」が33.6%で最も多い。次いで「0名」が26.9%、「20名以上」が13.4%である。

理学療法士、作業療法士の充足状況

- 回答病院・施設の「理学療法士」の充足状況は、「若干不足している」が55.5%で最も多い。また、「不足している」が19.3%、「非常に不足している」が0.8%であり、若干～非常に不足していると回答した病院・施設が75.6%を占める。
- 回答病院・施設の「作業療法士」の充足状況は、「若干不足している」が34.5%、「不足している」が24.4%、「非常に不足している」が13.4%であり、若干～非常に不足していると回答した病院・施設が72.3%を占める。

病院・施設対象　調査結果まとめ

「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

- 「藍野専門職大学」の特色（A～E）に対する魅力度（※）は、全ての項目で9割を超える。
- 「藍野専門職大学」の特色の中で、最も魅力度が高いのは、「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」が同率で96.6％である。

  また、「とても魅力を感じる」の割合でみると、全ての項目で4割を超えているが、特に「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」では52.1％と、最も高い。

- 「理学療法学科」の特色である「F. 臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。」に対する魅力度は90.8％である。
- 「作業療法学科」の特色である「G. 臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に対する魅力度は92.4％である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値＝数表中の「魅力を感じる・計」の値

病院・施設対象　調査結果まとめ

「理学療法学科」の社会的必要性

- 「理学療法学科」の社会的必要性についての評価は、90.8%（**108病院・施設**）と、多くの病院・施設がこれからの社会にとって必要な学科であると答えている。

「理学療法学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 「理学療法学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた病院・施設は、89.1%（**106病院・施設**）。予定している入学定員80名を上回る採用意向数がみられた。
- 「理学療法学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた106病院・施設へ「理学療法学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数の合計は189名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

「理学療法学科」卒業生に対する採用意向　属性別傾向

◇本社所在地別

- 藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」の病院・施設からの採用意向は、90.3%（62病院・施設中、**56病院・施設**）である。

◇業種別

- 「病院・診療所・クリニック」からの採用意向は89.7%（87病院・施設中、**78病院・施設**）、「社会福祉・介護事業」からの採用意向は87.1%（31病院・施設中、**27病院・施設**）と同程度みられる。

◇「理学療法士」の充足状況別

- 勤務している「理学療法士」が「不足している」病院・施設からの採用意向は、93.3%（90病院・施設中、**84病院・施設**）と高く、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

病院・施設対象　調査結果まとめ

◇「藍野専門職大学」の特色に対する魅力別

- 「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は90.4％（115病院・施設中、**104病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

- 「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は90.4％（115病院・施設中、**104病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

- 「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は90.9％（110病院・施設中、**100病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

- 「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は90.8％（109病院・施設中、**99病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

- 「E. 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は92.0％（112病院・施設中、**103病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

病院・施設対象　調査結果まとめ

◇「理学療法学科」の特色に対する魅力別

- 「F．臨床リハビリテーション学部　理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は91.7％（108病院・施設中、**99病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

◇「理学療法学科」の社会的必要性別

- 「理学療法学科」が社会的に「必要だと思う」と答えた病院・施設からの採用意向は94.4％（108病院・施設中、**102病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

病院・施設対象　調査結果まとめ

「作業療法学科」の社会的必要性

- 「作業療法学科」の社会的必要性についての評価は、94.1％（**112病院・施設**）と、多くの病院・施設がこれからの社会にとって必要な学科であると答えている。

「作業療法学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 「作業療法学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた病院・施設は、83.2％（**99病院・施設**）。予定している入学定員40名を2倍以上上回る採用意向数がみられた。
- 「作業療法学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた99病院・施設へ「作業療法学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、毎年の採用想定人数の合計は203名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

「作業療法学科」卒業生に対する採用意向　属性別傾向

◇本社所在地別

- 藍野専門職大学の所在予定地である「滋賀県」の病院・施設からの採用意向は、79.0％（62病院・施設中、**49病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

◇業種別

- 「病院・診療所・クリニック」からの採用意向は、82.8％（87病院・施設中、**72病院・施設**）で、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。また、「病院」からの採用意向に限ってみると、95.7％（47病院・施設中、**45病院・施設**）と特に高い。
- 「社会福祉・介護事業」からの採用意向は、87.1％（31病院・施設中、**27病院・施設**）である。

病院・施設対象　調査結果まとめ

◇「作業療法士」の充足状況別

- 勤務している「作業療法士」が「不足している」病院・施設からの採用意向は、90.7％（86病院・施設中、**78病院・施設**）と、予定している入学定員数を上回る採用意向数がみられた。

◇「藍野専門職大学」の特色に対する魅力別

- 「A. 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は84.3％（115病院・施設中、**97病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

- 「B. 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は85.2％（115病院・施設中、**98病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

- 「C. 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は83.6％（110病院・施設中、**92病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

- 「D. 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は82.6％（109病院・施設中、**90病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

病院・施設対象　調査結果まとめ

- 「E. 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は84.8％（112病院・施設中、**95病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

◇「作業療法学科」の特色に対する魅力別

- 「G. 臨床リハビリテーション学部　作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。」に魅力を感じている病院・施設からの採用意向は85.5％（110病院・施設中、**94病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

◇「作業療法学科」の社会的必要性別

- 「作業療法学科」が社会的に「必要だと思う」と答えた病院・施設からの採用意向は86.6％（112病院・施設中、**97病院・施設**）と、予定している入学定員数を2倍以上上回る採用意向数がみられた。

病院・施設対象　調査結果まとめ

各資格を取得したいと考えている従業員数（回答者の予想）

- 勤務先で「理学療法士」の資格を取得したいと考えている従業員が1名以上いると回答したのは40.3％。そのうち「5名以上」と回答した病院・施設は12.6％みられた。
- 勤務先で「作業療法士」の資格を取得したいと考えている従業員が1名以上いると回答したのは30.2％。そのうち「5名以上」と回答した病院・施設は10.9％みられた。

「藍野専門職大学 臨床リハビリテーション学部」への進学推奨度

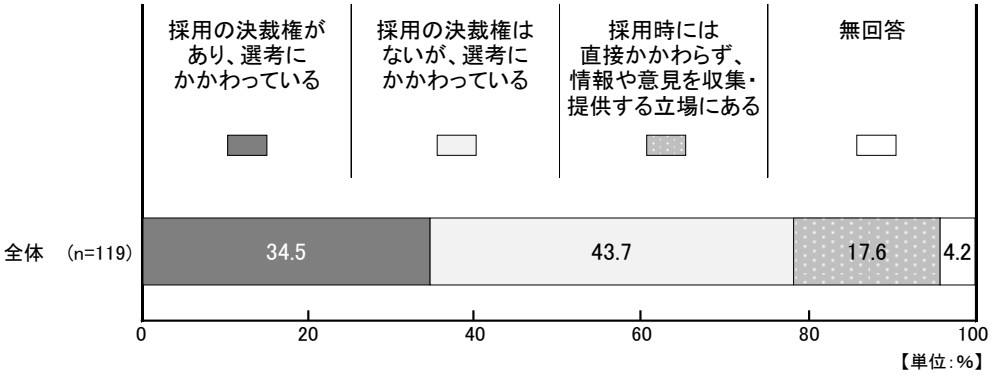
- 勤務先従業員に対して「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」の「理学療法学科」への進学を「薦めたいと思う」と回答した病院・施設は70.6％。
- 勤務先従業員に対して「藍野専門職大学　臨床リハビリテーション学部」の「作業療法学科」への進学を「薦めたいと思う」と回答した病院・施設は68.9％。

病院・施設対象　調査結果

回答病院・施設（回答者）の属性
（人事採用への関与度／本社所在地）

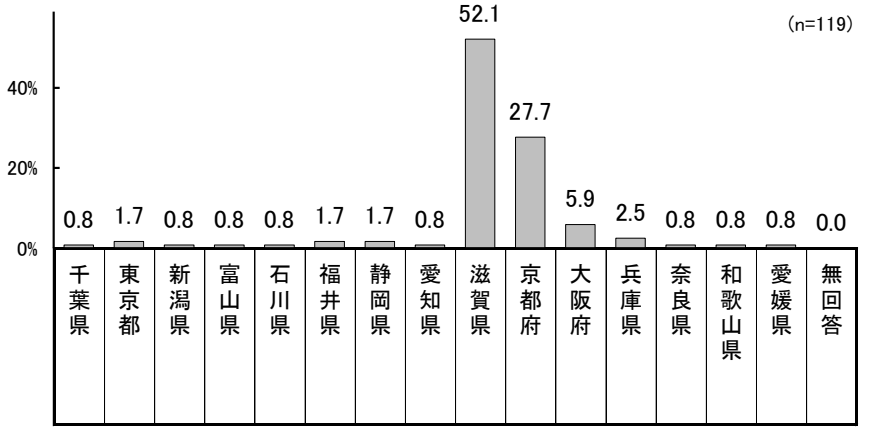
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。（あてはまる番号1つに○）



■本社所在地

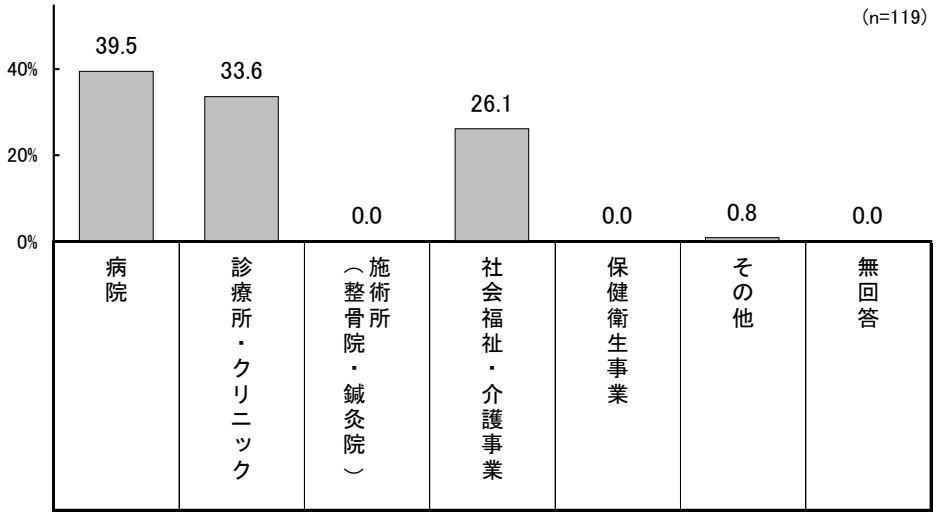
Q2. 貴施設の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えください。



回答病院・施設(回答者)の属性
(主な業種／従業員数)

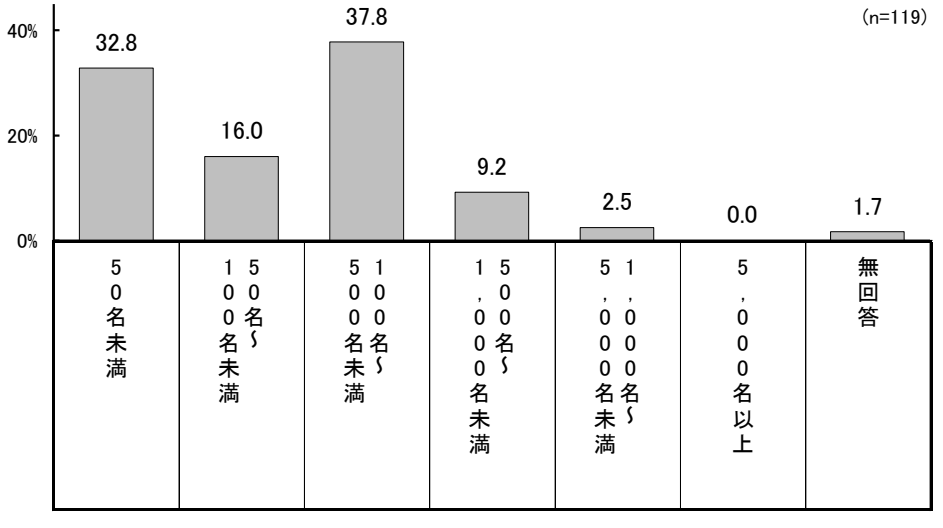
■主な業種

Q3. 貴施設の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

Q4.貴施設の従業員数(正規職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

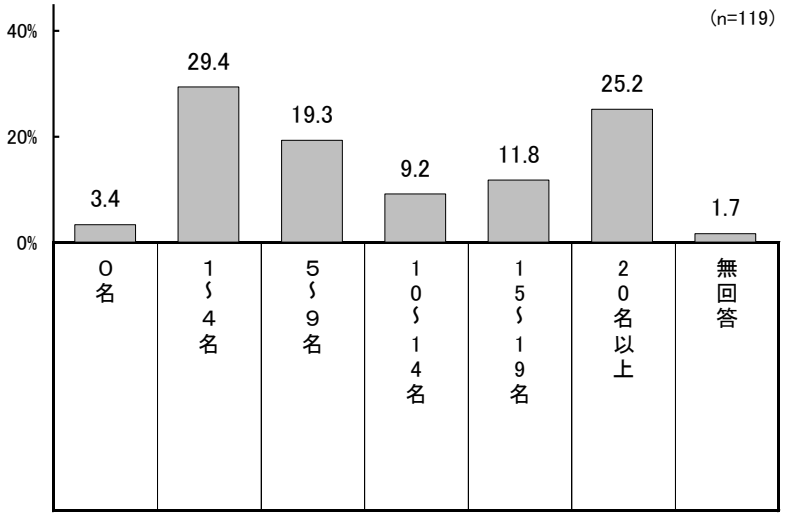


「理学療法士」の従業員数／「理学療法士」の充足状況

■「理学療法士」の従業員数

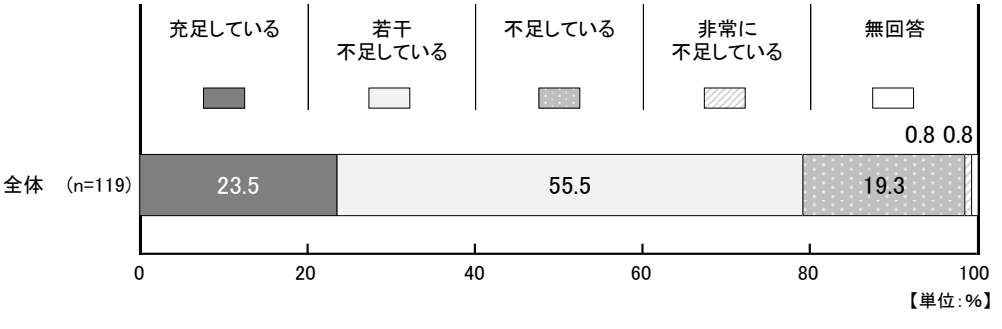
Q5. 貴施設で、現在下記の職種として勤務されている方の人数をお教えください。

総数	2,222人
平均	19.0人



■「理学療法士」の充足状況

Q6. 貴施設における、以下の職種として勤務されている方の充足状況をお教えください。（それぞれあてはまる番号1つに○）

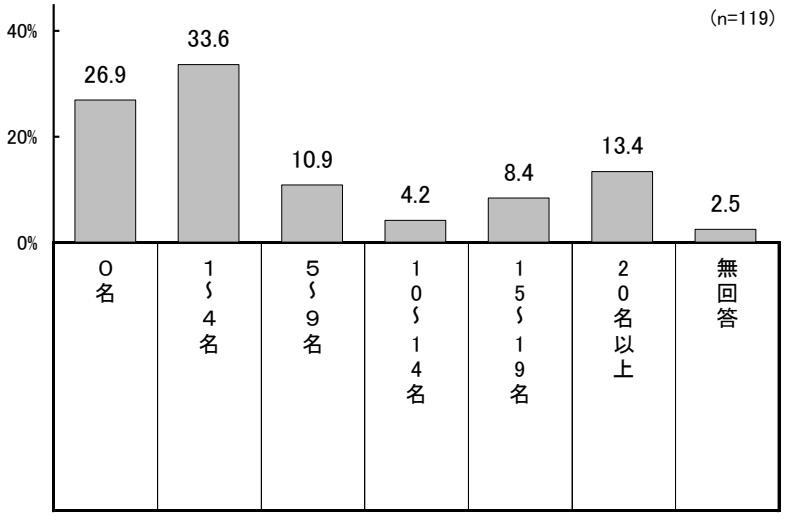


「作業療法士」の従業員数／「作業療法士」の充足状況

■「作業療法士」の従業員数

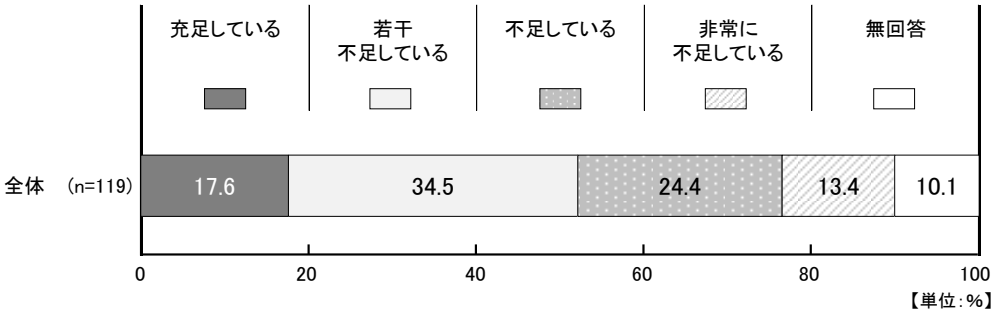
Q5. 貴施設で、現在下記の職種として勤務されている方の人数をお教えください。

総数	985人
平均	8.5人



■「作業療法士」の充足状況

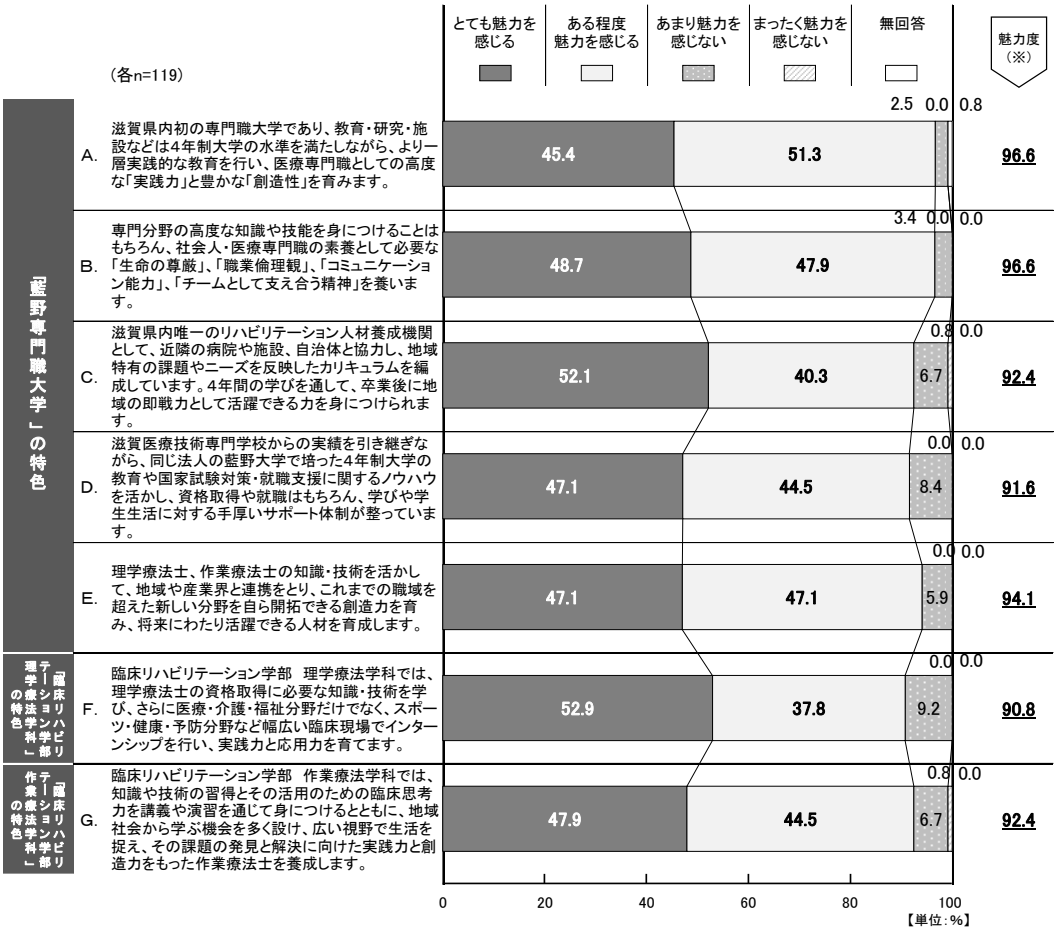
Q6. 貴施設における、以下の職種として勤務されている方の充足状況をお教えください。（それぞれあてはまる番号1つに○）



「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

■「藍野専門職大学」の特色に対する魅力度

Q7.「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
貴院・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

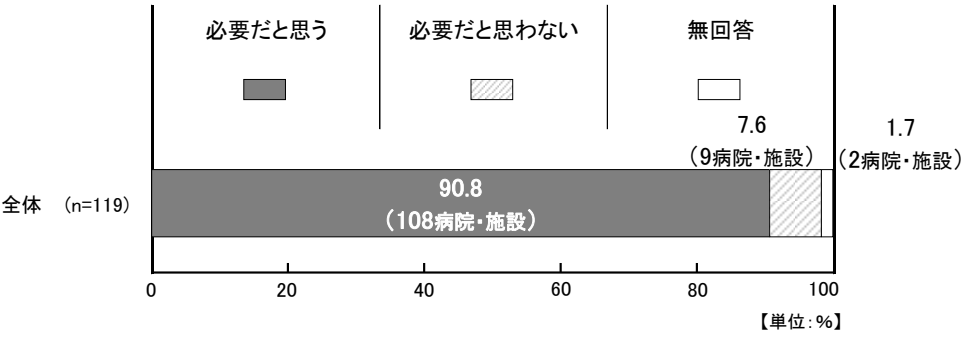


※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる 」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「理学療法学科」の社会的必要性／「理学療法学科」卒業生に対する採用意向／「理学療法学科」卒業生の毎年の採用想定人数

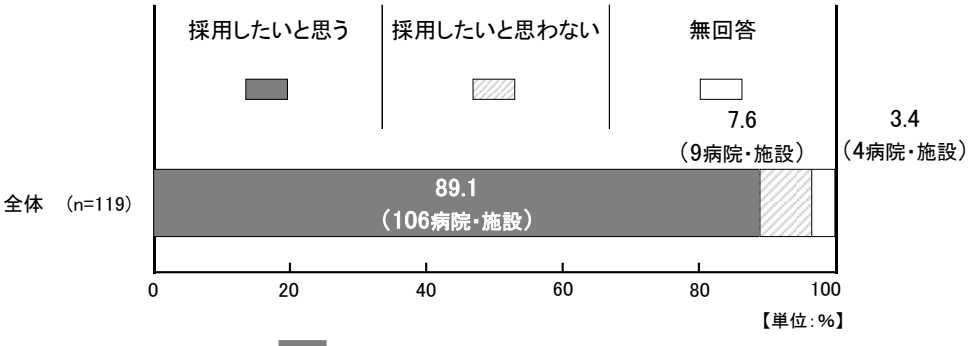
■「理学療法学科」の社会的必要性

Q8. 貴施設（ご回答者）は、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



■「理学療法学科」卒業生に対する採用意向

Q9. 貴施設（ご回答者）では、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



「理学療法学科」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた106病院・施設のみ抽出

■「理学療法学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科の卒業生を「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1．採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定		毎年の採用想定人数を示した病院・団体数および採用想定人数の計（※）
全体	106	%	34.0%	15.1%	5.7%	3.8%	6.6%	1.9%	30.2%		
		病院・施設数	36	16	6	4	7	2	32	⇒	103
		名	36	32	18	16	35	20	32		189

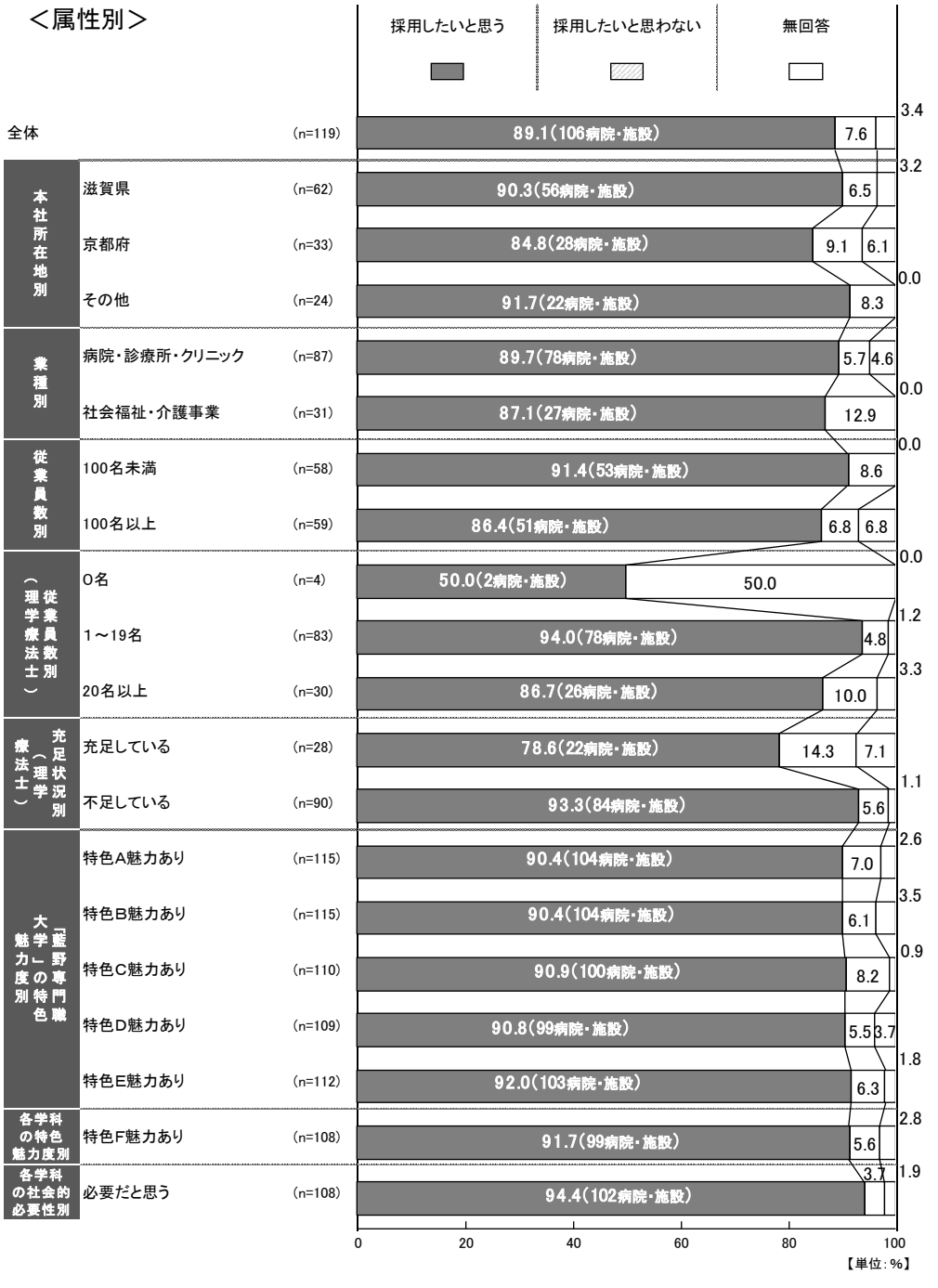
※ 毎年の採用想定人数・計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名、「人数は未確定」＝1名　を代入し合計値を算出

「理学療法学科」卒業生に対する採用意向 ＜属性別＞

■「理学療法学科」卒業生に対する採用意向

Q9. 貴施設（ご回答者）では、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

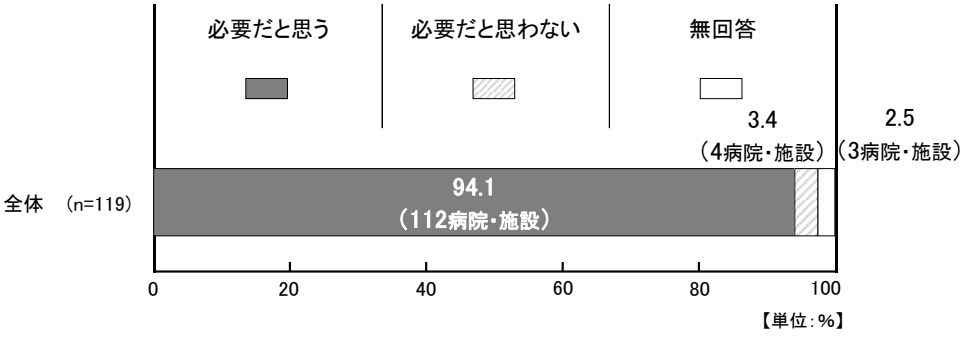
＜属性別＞



「作業療法学科」の社会的必要性／「作業療法学科」卒業生に対する採用意向／「作業療法学科」卒業生の毎年の採用想定人数

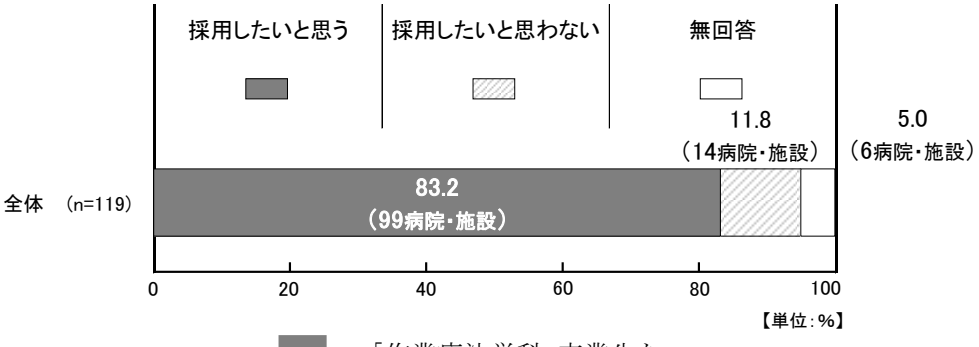
■「作業療法学科」の社会的必要性

Q8. 貴施設（ご回答者）は、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



■「作業療法学科」卒業生に対する採用意向

Q9. 貴施設（ご回答者）では、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



「作業療法学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた99病院・施設のみ抽出

■「作業療法学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q10. Q9でいずれかの学科の卒業生を「1．採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1．採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定		毎年の採用想定人数を示した病院・団体数および採用想定人数（※）・計
全体	99	%	31.3%	13.1%	4.0%	3.0%	6.1%	6.1%	32.3%		
		病院・施設数	31	13	4	3	6	6	32	⇒	95
		名	31	26	12	12	30	60	32		203

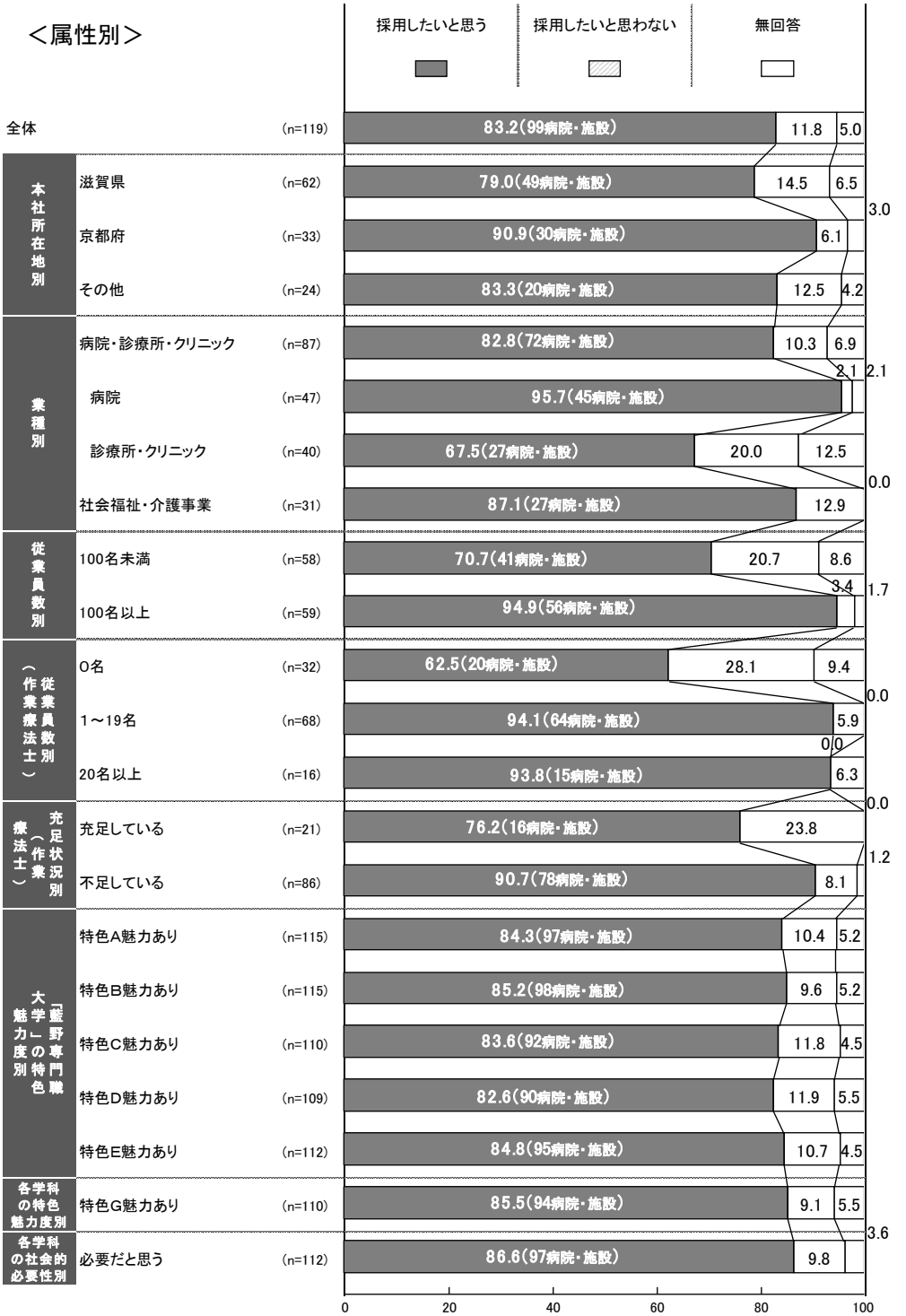
※ 毎年の採用想定人数・計　「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名、「人数は未確定」＝1名　を代入し合計値を算出

「作業療法学科」卒業生に対する採用意向 ＜属性別＞

■「作業療法学科」卒業生に対する採用意向

Q9. 貴施設（ご回答者）では、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

＜属性別＞

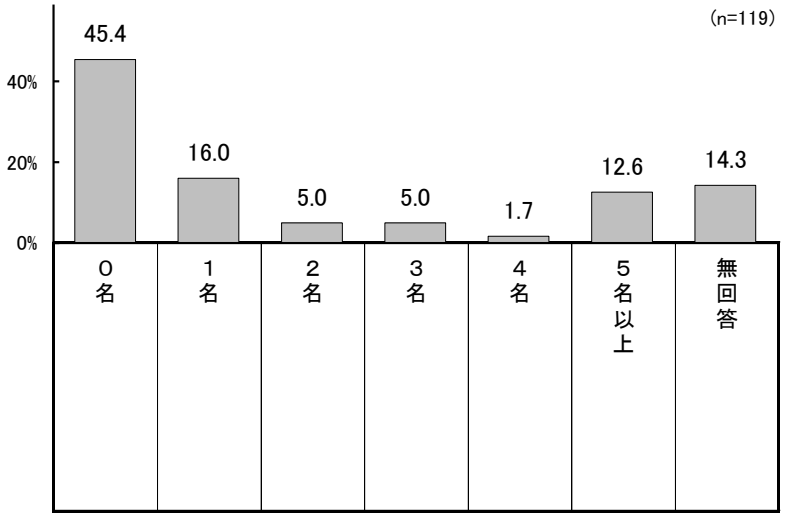


従業員で「理学療法士」の資格を取得したいと考えている人数／「理学療法学科」の進学推奨度

■従業員で「理学療法士」の資格を取得したいと考えている人数

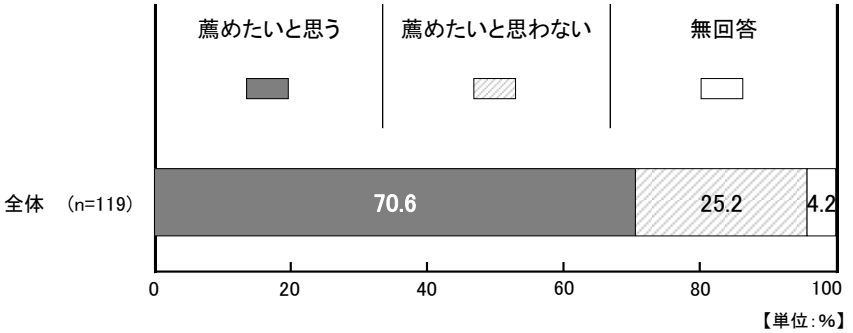
Q11. 貴施設で働く方で、これから以下の資格を取得したいと考えている人は何人程度いると思いますか。
それぞれの資格について、ご回答者ご自身がわかる範囲で人数をお書きください。

総数	257人
平均	2.5人



■「理学療法学科」の進学推奨度

Q12. ご回答者ご自身は、貴施設で働く方に、「藍野専門職大学」(仮称、設置構想中)の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」(いずれも仮称、設置構想中)への進学を薦めたいと思いますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



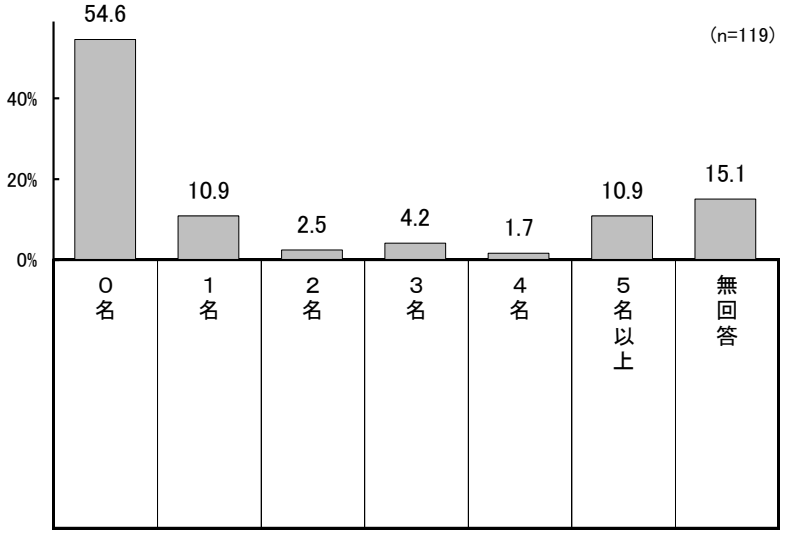
【単位:%】

従業員で「作業療法士」の資格を取得したいと考えている人数／「作業療法学科」の進学推奨度

■従業員で「作業療法士」の資格を取得したいと考えている人数

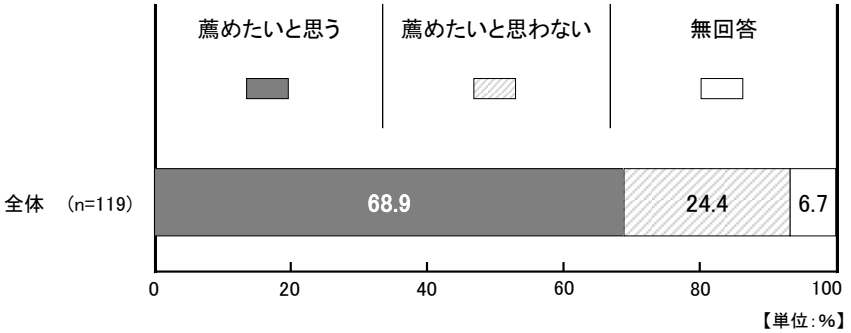
Q11. 貴施設で働く方で、これから以下の資格を取得したいと考えている人は何人程度いると思いますか。
それぞれの資格について、ご回答者ご自身がわかる範囲で人数をお書きください。

総数	172人
平均	1.7人



■「作業療法学科」の進学推奨度

Q12. ご回答者ご自身は、貴施設で働く方に、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）への進学を薦めたいと思いますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



【単位：%】

巻末資料

・調査票

調査票

※こちらのアンケートは、貴施設の【採用ご担当者様】にご回答いただきますようお願いいたします。

採用ご担当者様

『藍野専門職大学』(仮称、設置構想中) 採用に関するアンケート

学校法人 藍野大学では、2020年4月に、現在の滋賀医療技術専門学校を改組・転換し、四年制の専門職大学である「藍野専門職大学」(仮称)を設置することを構想しています。
このアンケートは、採用ご担当者様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただくものです。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「藍野専門職大学」(仮称、設置構想中)に関する内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。

はじめに、貴施設についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴施設の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えください。

本社(本部)所在地 [　　] 都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴施設の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 病院
2. 診療所・クリニック
3. 施術所(整骨院・鍼灸院)
4. 社会福祉・介護事業
5. 保健衛生事業
6. その他 (　　)

Q4. 貴施設の従業員数(正規職員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

1. 50名未満
2. 50名～100名未満
3. 100名～500名未満
4. 500名～1,000名未満
5. 1,000名～5,000名未満
6. 5,000名以上

Q5. 貴施設で、現在下記の職種として勤務されている方の人数をお教えください。

A. 理学療法士 → [　　] 人

B. 作業療法士 → [　　] 人

次のページへ続く→

調査票

Q6. 貴施設における、以下の職種として勤務されている方の充足状況をお教えください。
（それぞれあてはまる番号1つに○）

A. 理学療法士

→　1. 充足している　2. 若干不足している　3. 不足している　4. 非常に不足している

B. 作業療法士

→　1. 充足している　2. 若干不足している　3. 不足している　4. 非常に不足している

※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

◆「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）についてお聞きします。

学校法人 藍野大学では、2020年4月に、現在の滋賀医療技術専門学校を改組・転換し、四年制の専門職大学である「藍野専門職大学」（仮称）を設置することを構想しています。

Q7. 「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。
貴施設（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
回答方法例）A～Fそれぞれの特色について、あてはまる番号1つに○	→	(1)	2	3	4
A 滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。	→	1	2	3	4
B 専門分野の高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。	→	1	2	3	4
C 滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。	→	1	2	3	4
D 滋賀医療技術専門学校からの実績を引き継ぎながら、同じ法人の藍野大学で培った4年制大学の教育や国家試験対策・就職支援に関するノウハウを活かし、資格取得や就職はもちろん、学びや学生生活に対する手厚いサポート体制が整っています。	→	1	2	3	4
E 理学療法士、作業療法士の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの職域を超えた新しい分野を自ら開拓できる創造力を育み、将来にわたり活躍できる人材を育成します。	→	1	2	3	4
F 臨床リハビリテーション学部 理学療法学科では、理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学び、さらに医療・介護・福祉分野だけでなく、スポーツ・健康・予防分野など幅広い臨床現場でインターンシップを行い、実践力と応用力を育てます。	→	1	2	3	4
G 臨床リハビリテーション学部 作業療法学科では、知識や技術の習得とその活用のための臨床思考力を講義や演習を通じて身につけるとともに、地域社会から学ぶ機会を多く設け、広い視野で生活を捉え、その課題の発見と解決に向けた実践力と創造力をもった作業療法士を養成します。	→	1	2	3	4

調査票

Q8. 貴施設（ご回答者）は、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【理学療法学科】　→　1. 必要だと思う　　2. 必要だと思わない

【作業療法学科】　→　1. 必要だと思う　　2. 必要だと思わない

Q9. 貴施設（ご回答者）では、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【理学療法学科】　→　1. 採用したいと思う　　2. 採用したいと思わない

【作業療法学科】　→　1. 採用したいと思う　　2. 採用したいと思わない

Q10. Q9でいずれかの学科の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。「1. 採用したいと思う」と回答された学科を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。現時点でのあなたご自身のお考えに一番近いものをご回答ください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	1名	2名	3名	4名	5名～9名	10名以上	人数は未確定
【理学療法学科】　→	1	2	3	4	5	6	7
【作業療法学科】　→	1	2	3	4	5	6	7

Q11. 貴施設で働く方で、これから以下の資格を取得したいと考えている人は何人程度いると思いますか。それぞれの資格について、ご回答者ご自身がわかる範囲で人数をお書きください。

A. 理学療法士　→　［　　］人程度

B. 作業療法士　→　［　　］人程度

Q12. ご回答者ご自身は、貴施設で働く方に、「藍野専門職大学」（仮称、設置構想中）の臨床リハビリテーション学部「理学療法学科」「作業療法学科」（いずれも仮称、設置構想中）への進学を薦めたいと思いますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

【理学療法学科】　→　1. 薦めたいと思う　　2. 薦めたいと思わない

【作業療法学科】　→　1. 薦めたいと思う　　2. 薦めたいと思わない

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

資　　料　　２　－　４

充実の国家試験対策・就職サポート

学校法人 藍野大学は1968年に藍野病院附属准看護学院を開校して以来、8,485人※もの国家試験合格者を育ててきました。現在では看護学科、理学療法学科、作業療法学科、臨床工学科を擁する藍野大学で近畿圏有数の合格実績を誇っています。これまでに培ってきた50年の実績とノウハウを活かし、新学部・新学科でも万全の国家試験対策を行います。

※2018年3月時点

藍野大学

国家試験合格者数

●理学療法学科※1 ●作業療法学科※2

近畿圏第1位

※1 厚生労働省発表（2017年度実績）
※2 藍野医療福祉専門学校時代より通算
2017年9月発行「日本作業療法士協会誌」第66号

就職率

●理学療法学科	●作業療法学科
100%	100%
★2017年度実績	★2017年度実績

滋賀医療技術専門学校は、1996年に開校し、20有余年に渡り、医療専門課程（理学療法学科・作業療法学科）において高度専門士および専門士の養成を行ってきました。これまでの卒業生は980名にのぼり、地元滋賀県をはじめ、全国で高度なリハビリテーションの知識や技術をもって活躍しています。

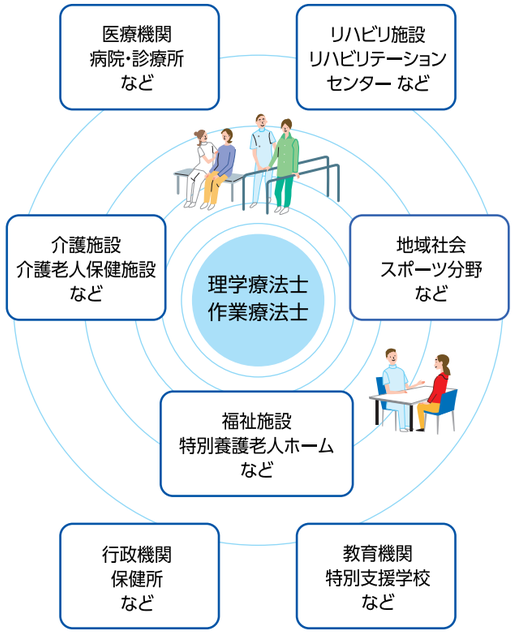
国家試験合格率

●理学療法学科	●作業療法学科
97.8%	86.7%
★2017年度実績（全国平均81.4%）	★2017年度実績（全国平均77.6%）

就職率

●理学療法学科	●作業療法学科
100%	100%
★2017年度実績	★2017年度実績

卒業後の活躍フィールド



■ 入学金を含めた初年度納入金（予定）

1,600,000円

※学費は予定であり、今後変更になる場合もあります。

■ 近隣の類似する学部・学科

■ 参考（初年度納入金）※

佛教大学	保健医療技術学部 理学療法学科 作業療法学科	1,950,000円
大和大学	保健医療学部 保健医療学科 理学療法学専攻・作業療法学専攻	1,880,000円
森ノ宮医療大学	保健医療学部 理学療法学科 作業療法学科	1,830,000円
京都橘大学	健康科学部 理学療法学科 作業療法学科	1,730,000円

※他大学はいずれも2017年度実績。
委託徴収金を除く学納金のみ。

■ キャンパス・アクセス（予定）

JR能登川駅（琵琶湖線）よりスクールバスで約30分
滋賀県東近江市北坂町967

学校法人 藍野大学
EDUCATIONAL FOUNDATION AINO UNIVERSITY
〒567-0011 大阪府茨木市高田町1番22号
TEL：072(621)3764 FAX：072(621)3756
URL：http://www.aino.ac.jp
■お問い合わせ
TEL：0749(46)2311（専門職大学設置準備室）

新しいリハビリのカタチを創造する

滋賀県唯一のリハビリテーション人材養成機関

藍野専門職大学 臨床リハビリテーション学部
理学療法学科・作業療法学科
（仮称・設置構想中）

入学定員 理学療法学科：80名（予定）、作業療法学科：40名（予定）

2020年4月
開設予定
（設置構想中）

専門職大学って？

産業の構造が急激に転換する今、より高度な「実践力」と新たなモノやサービスを創り出せる「創造力」を備えた人材の育成が強く求められています。そうしたニーズに応え、新たに開設されるのが「専門職大学」です。産業界との密接な連携によって、実践的な職業教育を行い、専門職業人材を養成します。

既存の大学と、どう違う？

既存の大学
▶専門教育・教養教育と学術研究を行う
▶学問的な色彩が強い

専門職大学
▶卒業単位の3～4割以上が実習で、より実践的な教育を行う
▶特定の職種における高度な「実践力」や豊かな「創造性」を養う

専門学校と、どう違う？

専門学校
▶大学制度に位置付くものではなく、自由度の高い制度が特色
▶社会のニーズに対応しながら、多様で実践的な教育を行う

専門職大学
▶大学制度の中に位置付けられ、大学として必要な水準のものが求められる
▶卒業者には「学士（専門職）」の学位が授与される

学校法人 藍野大学
EDUCATIONAL FOUNDATION AINO UNIVERSITY

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

2020年4月、滋賀県下唯一の理学療法士・作業療法士の養成機関として

藍野専門職大学 臨床リハビリテーション学部 理学療法学科・作業療法学科(仮称・設置構想中)を開設します

すでに「超高齢社会」に突入している日本。医療や介護の需要はさらに増えることが見込まれます。
高齢者が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、
良好な居住環境と在宅ケアを組み合わせて生活を支える「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。
また、医療の高度化に伴って、社会で強く求められているのが、
より深い学問的知識を背景とした高度かつ最良の医療を提供する医療従事者です。
こうした社会的要請に応え、学校法人藍野大学は2020年4月、滋賀県下唯一の理学療法士・作業療法士の養成施設である滋賀医療技術専門学校を「藍野専門職大学(仮称)」に改組することを構想しています。
これまでに培ってきた教育研究資源を活かし、より高度かつ実践的な職業教育を展開し、
社会課題の解決につながるような医療を提供できるリハビリテーション専門職を養成します。

藍野大学　医療保健学部
(大阪府)
●看護学科
●理学療法学科
●作業療法学科
●臨床工学科
藍野大学大学院
●看護学研究科

藍野専門職大学
臨床リハビリテーション学部
理学療法学科
作業療法学科
(仮称)(滋賀県東近江市)
2020年4月開設予定
(設置構想中)

学校法人 藍野大学
EDUCATIONAL FOUNDATION AINO UNIVERSITY

藍野大学短期大学部
(大阪府)
●第一看護学科
●第二看護学科
●専攻科

藍野高等学校
(大阪府)
●衛生看護科

人間性と創造性に優れた実践的な理学療法士・作業療法士を養成

学部の特色

1.豊かな人間性の育み

専門的な高度な知識や技能を身につけることはもちろん、社会人・医療専門職の素養として必要な「生命の尊厳」、「職業倫理観」、「コミュニケーション能力」、「チームとして支え合う精神」を養います。

2.高度な実践力と創造力の育み

滋賀県内初の専門職大学であり、教育・研究・施設などは4年制大学の水準を満たしながら、より一層実践的な教育を行い、医療専門職としての高度な「実践力」と豊かな「創造性」を育みます。

3.地域のニーズに対応した即戦力を育成

滋賀県内唯一のリハビリテーション人材養成機関として、近隣の病院や施設、自治体と協力し、地域特有の課題やニーズを反映したカリキュラムを編成しています。4年間の学びを通して、卒業後に地域の即戦力として活躍できる力を身につけられます。

学科の特色

理学療法学科(仮称)

●多様化した社会のニーズに対応できる「プロ意識の高い」人材を育成する

理学療法士の資格取得に必要な知識・技術を学ぶだけでなく、神経筋骨格障害・内部障害・スポーツ障害・地域理学療法・予防理学療法・リハビリテーション工学の6つの専門分野から選択した臨床現場でインターンシップを行うなど、実践力と応用力を育てます。

さらに、理学療法の知識・技術を活かして、地域や産業界と連携をとり、これまでの医療、介護の枠を超えた新しい分野を開拓する創造力を育みます。

理学療法士とは

理学療法士は、障がいのある方を社会復帰させる、リハビリテーション専門家の一員です。「起きる、歩く」などの基本動作能力や、身体機能を向上させるからだのスペシャリストです。近年は健康維持目的の予防医学、障害予防やコンディショニング目的のスポーツ分野など活動領域は拡大しています。

作業療法学科(仮称)

●地域共生社会の実現に貢献できる実践志向型の人材を育成する

作業療法士に必要な幅広い教養や医療・福祉の基礎知識、作業療法の専門知識・技術に加え、多様な障がいに対応するための応用力と実践力、臨床思考力を身につけます。

さらに講義・演習に加えて、早期より学外にて地域における作業療法の関わりを学ぶ機会を設け、保健・医療・福祉の広い視野を育むとともに、地域での学びを通して得た課題に対する解決方法を導くための創造力を身につけます。

作業療法士とは

作業療法士は、健康な人も障がいのある人も全ての人が自分らしい生活を送れるように支援していく専門家です。作業療法は病気や障がいでなく、対象者の生き方、それを作る生活行為に重点をおいたリハビリテーションを行います。

学びのステップ

科学的思考力と専門的な知識・技術を身につけるとともに、幅広い教養を育み、豊かな人間性や医療専門職としての使命感・責任感を養います。

また、専門分野に関連した知識・技術を学び、職業の幅広い応用力を身につけ、課題解決や新しい発想を生み出す創造力を育み、実践していく能力を高めます。

	1年次／基礎 幅広い教養と倫理観の育み、医療、理学療法・作業療法の基礎知識を学ぶ	2年次／専門知識と技術 専門的な知識と技術を学ぶとともに応用能力を高める	3年次／臨床体験の実践 蓄積された専門知識・技術を病院・施設で実践する	4年次／創造力の育み・キャリア展開 関連の職業分野などの教育を通して、専門性・応用性・創造性を高める
共通科目	学びの基盤、生物学Ⅰ、生物学Ⅱ、英語Ⅰ リハビリテーション概論、解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 生理学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、体表解剖触診学 など	内科学Ⅰ・Ⅱ、神経内科学Ⅰ・Ⅱ、整形外科学Ⅰ・Ⅱ 小児科学、老年医学、運動学Ⅲ、臨床運動学演習 栄養学 など	多職種連携論 地域包括ケア論 福祉用具論 など	シンメディカル論、住環境コーディネーター論 マーケティング論、災害支援論、子育て支援論、起業論 メンタルヘルスマネージメント論、キャリア発達論 など
理学療法学科(仮称) 専門科目	基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、姿勢動作観察基礎 臨床推論基礎、理学療法評価学 見学実習Ⅰ・Ⅱ など	理学療法評価学演習Ⅰ、画像評価学、運動療法学 運動器障害系理学療法学演習Ⅰ、スポーツ障害系理学療法演習 見学実習Ⅲ、地域リハビリテーション実習 など	臨床技能論、徒手理学療法学演習、地域理学療法学 基礎理学療法研究法、評価実習 総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ など	神経筋骨格障害応用演習・実習、内部障害応用演習・実習 スポーツ障害応用演習・実習、障害者スポーツ論演習、地域理学療法応用演習・実習 予防理学療法応用演習・実習、リハビリテーション工学応用演習・実習 など
作業療法学科(仮称) 専門科目	作業療法学総論Ⅰ・Ⅱ、基礎作業学 基礎作業学演習Ⅰ・Ⅱ 作業療法臨床実習Ⅰ など	身体機能障害評価学Ⅰ・Ⅱ、作業分析学Ⅰ・Ⅱ、日常生活活動演習 地域社会共生論Ⅰ、精神障害作業療法学Ⅰ 生活行為向上マネジメント論、地域生活作業療法演習 など	中枢神経疾患作業療法学、家族支援論、発達障害作業療法学Ⅱ 老年期障害作業療法学Ⅱ、地域生活精神障害作業療法演習 地域生活身体障害作業療法演習、作業療法臨床実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ など	地域作業療法臨床実習、地域社会共生論演習Ⅱ 老年期障害作業療法演習、運動器疾患作業療法演習 精神障害作業療法演習、リハビリテーション総合特論Ⅰ・Ⅱ など

修業年限：　4年(両学科共通)
学　　位：　理学療法学科(仮称)
理学療法学士(専門職)予定
作業療法学科(仮称)
作業療法学士(専門職)予定

取得可能な資格(予定)：
理学療法学科(仮称)
理学療法士国家試験受験資格
作業療法学科(仮称)
作業療法士国家試験受験資格

※設置構想中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

資　　料　　3

資料３

報道発表

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

平成２９年１２月２２日

平成２９年度学校基本調査（確定値）の公表について

文部科学省は，学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として，標記調査を昭和２３年度より毎年実施しています。
今般，平成２９年度の結果を確定値としてとりまとめたので，公表します。

１　調査内容
（１）調査期日：平成２９年５月１日現在
（２）調査対象：幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，大学，短期大学，高等専門学校，専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会
（３）調査項目：学校数，在学者数，教員数，卒業者数，進学者数，就職者数等

２　調査結果の主な概要（カッコ書きのカタカナは次ページ以降の図表とリンク。）
（１）在学者数等（P.1 の表 1，P.2 の表 2 及び P.3 の図 1 を参照。）
在学者総数は減少。
・幼保連携型認定こども園，義務教育学校，中等教育学校，特別支援学校，各種学校，大学，大学院の在学者数等は増加。
①　幼保連携型認定こども園は５０万６千人で，前年度より１０万８千人増加（ア）。
②　義務教育学校は２万２千人で，前年度より１万人増加（イ）。
③　大学は２８９万１千人で，前年度より１万７千人増加（ウ）。

（２）高等学校卒業者（中等教育学校後期課程卒業者を含む）の進学率
（P.4 の表 3，P.5 の図 3 及び P.6 の図 5 を参照。）
－大学進学率が上昇－
①　大学・短大進学率（現役）は５４．８％（エ）（前年度同率）。
②　大学（学部）進学率（現役）は４９．６％（オ）（前年度より０．３ポイント上昇）で過去最高。
③　専門学校進学率（現役）は１６．２％（カ）（前年度より０．１ポイント低下）。
④　大学・短大進学率（過年度卒含む）は５７．３％（前年度より０．５ポイント上昇）で過去最高。
⑤　大学（学部）進学率（過年度卒含む）は５２．６％（前年度より０．６ポイント上昇）で過去最高。
⑥　専門学校進学率（過年度卒含む）は２２．４％（前年度より０．１ポイント上昇）。
⑦　高等教育機関進学率（過年度卒含む）は８０．６％（前年度より０．６ポイント上昇）で過去最高。

資　　料　　4

藍野専門職大学の設置に係る要望

平素は、滋賀県政の推進に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
文部科学省におかれましては、学校教育、社会教育など教育行政の充実・発展等に日々御尽力いただいていることに、心から敬意を表します。

さて、本県では、今後、急速な高齢化が見込まれる中、医療と介護がより一層連携し、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築と地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築を図る必要があります。
特にリハビリテーション専門職については、機能回復を目指した医学的リハビリテーションだけにとどまらず、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域の実情に合わせ、障害福祉、教育、就労、地域づくりなど、人々の暮らしに関わる様々な領域における活動が期待されているところです。
しかしながら、本県において2025年に3,000人必要と推計されるリハビリテーション専門職は、平成28年度には約1,900人と全国と比較しても少なく、その確保が喫緊の課題となっています。

このような中、本県内における唯一のリハビリテーション専門職の養成機関である滋賀医療技術専門学校が22年間の人材養成の実績をもとに専門職大学化を目指しておられることは、本県の地域包括ケアシステムの構築等に必要となるリハビリテーション専門職の確保に大きく貢献するものと考えています。

藍野専門職大学の設置の認可に係る判断に当たっては、本県の実情についてご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成３０年１０月２２日

文部科学大臣
柴　山　昌　彦　様

滋賀県知事　三日月大造

資　　料　　5

東企第４５２号
平成３０年１０月２３日

文部科学大臣　柴　山　昌　彦　様

滋賀県東近江市長　小　椋　正　清

藍野専門職大学リハビリテーション学部設置に係る要望について

東近江市は、これまで滋賀医療技術専門学校からの実習の受入れや同校への市職員の講師派遣、協働による介護予防関連の研究事業への取組など同校と連携を図りながら介護事業等を進めてまいりました。

本市の平成２７年国勢調査における高齢者人口は、２８，２１４人で高齢化率は２４．７％と全国水準より低いものの高齢化は確実に進行しており、２０２５年には２８．０％に達すると見込まれています。

長い高齢期をいきいきと過ごすためには、住み慣れた地域で生きがいを持って暮らすことが重要です。また、加齢とともに心身機能の低下は避けられませんが、可能な限り健康寿命を延ばすことや、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる支援やサービス体制の充実等が必要と考えます。

そこで本市では、誰もが可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられ、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスが切れ目なく包括的に確保されるよう、地域包括ケアシステムの実現に向け必要な取組を進めてまいりました。

専門的知識と技能を身につけたリハビリテーション専門職は、多職種連携や地域住民等との協働により地域をサポートする人材として非常に重要な役割を担っています。本市が地域包括ケアシステムの取組を展開するに当たっては、安定的な福祉医療人材の確保が大きな課題となっています。

県内唯一のリハビリテーション専門職の養成機関である滋賀医療技術専門学校が２０年にわたるリハビリテーション人材の養成実績を背景に専門職大学化を目指しておられることは、地域を基盤とした包括的な支援体制を構築することに大きく貢献するものと期待しております。

本市といたしましても、藍野専門職大学リハビリテーション学部の設置認可を強く要望致しますとともに、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

資　　料　　6

文部科学大臣　柴山 昌彦　殿

藍野専門職大学リハビリテーション学部の設置に係る要望書

謹啓

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、滋賀県における理学療法士は、平成８年に現在の滋賀医療技術専門学校が開学した当時150名会員でしたが、その後多くの卒業生が県内に就職し、現在の1,000名まで在籍者が増えました。しかしながら、滋賀県の理学療法士数は、現在の近畿圏域ではもっとも少ない県となっており、今後、後期高齢者人口の急増が見込まれる中で、本県における理学療法士の需要は益々増加することが予想されています。

したがって、理学療法士および作業療法士といったリハビリテーション専門職を養成する高等教育機関の設置が本士会にとって急務であると考えております。そうした中で、本県内における唯一のリハビリテーション専門職の養成機関である滋賀医療技術専門学校が、高等教育機関として専門職大学を目指しておられることについて、本士会と致しましても、藍野専門職大学リハビリテーション学部としての設置認可を強く要望致します。

謹白

２０１８（平成３０）年１０月１５日
公益社団法人　滋賀県理学療法士会
会　　長　　平岩　康之

資　　料　　7

文部科学大臣　殿

藍野専門職大学リハビリテーション学部設置に係る要望

文部科学省におかれましては、平素より教育行政の充実・発展にご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、現在わが国は世界的にも類をみない超高齢化社会に突入し、総務省統計局による推計では、65歳以上の高齢化率は2025年には30.0％に達すると見込まれ、滋賀県においても2025年には27.5％、2045年には34.3％に達すると予測されております。滋賀県ではこの高齢化社会に伴う多様な課題に対して、医療、介護、予防、生活支援の連携したサービス提供体制等、地域共生社会の実現に向けて継続的かつ包括的なケアシステムの構築が進められております。

しかしながら滋賀県の医療・介護提供体制の現実は、2025年にはリハビリテーション専門職が3000人必要であるとされているなか、2018年の時点でリハビリテーション専門職は1908人であり、特に作業療法士に関しては453人と全国平均と比較しても少なく人材の確保が課題となっております。また現在の医療・介護の現状を鑑みると、社会から求められるニーズは多様化し、より高度な知識と技能が作業療法に求められていると同時に、地域包括ケアの推進やチーム医療の実現等に貢献できる作業療法士の養成も急務となっております。

このような背景の中での藍野専門職大学リハビリテーション学部の開設は、滋賀県下及び地域における作業療法士の求人の増加に伴う人材不足など社会的ニーズに即したものであります。また滋賀県の目指す地域共生社会・地域包括ケアシステムの構築にむけた作業療法士の養成としても、作業療法士に必要な高度な技術や知識の修得に加え、地域課題の解決に向けた創造的思考力を育むことを目的とした教育は望ましい事であると考えております。よって本会は藍野専門職大学リハビリテーション学部の設置認可を強く要望いたします。

２０１８年１０月２２日

一般社団法人　滋賀県作業療法士会

会長